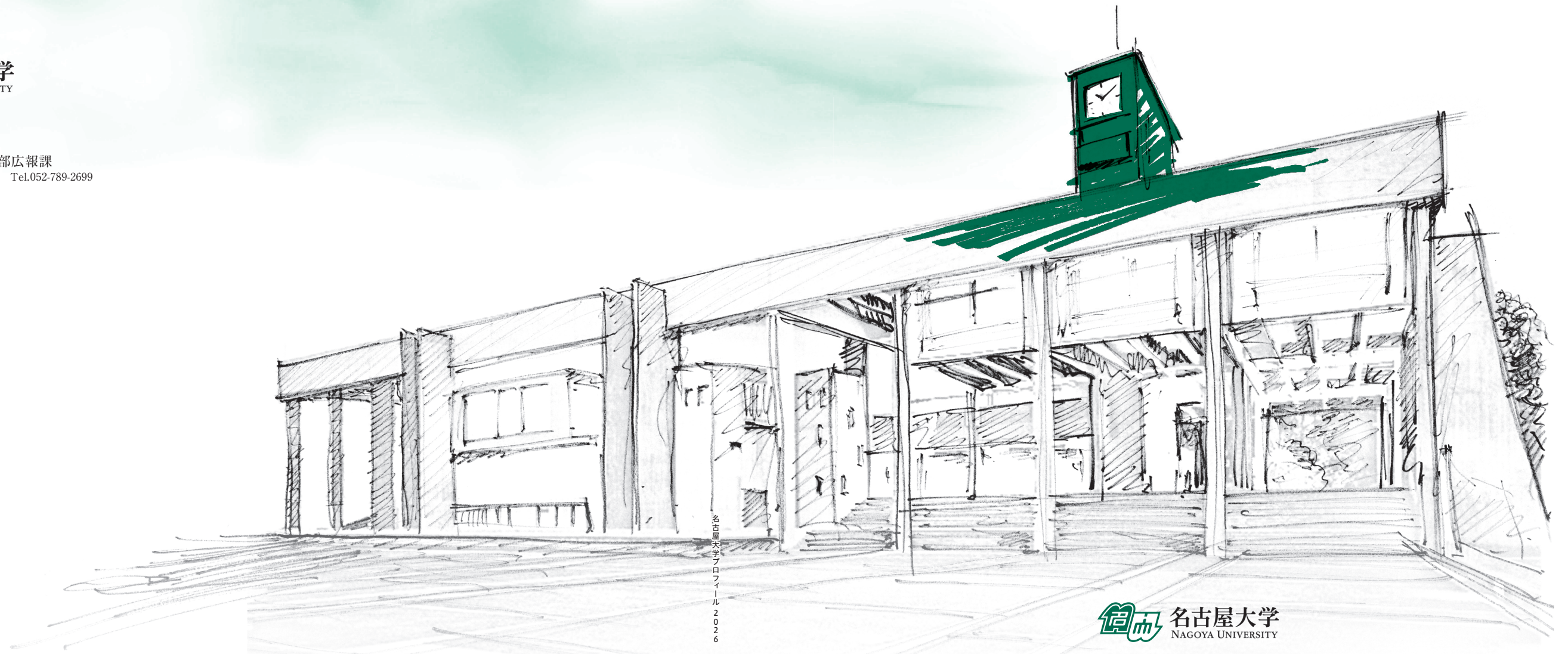


NAGOYA UNIVERSITY

PROFILE 2026
名古屋大学プロフィール



発行年月／2026年7月
企画編集／名古屋大学総務部広報課
〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel.052-789-2699



Contents

- 02 総長メッセージ
- 04 Nextビジョン2027
- 14 数字で見る名古屋大学
- 16 沿革・歴代総長
- 18 ノーベル賞・文化勲章等 各賞受賞者

- 20 組織
- 22 役職員
- 24 教育研究組織
- 30 役員・教職員数

- 34 学生数
- 35 入学者数
- 37 卒業・学位授与者数
- 38 卒業・修了後の進路

- 40 主な教育・研究プログラム
- 43 国際交流
- 48 社会との連携

- 50 財政
- 50 外部資金等
- 53 諸施設
- 55 土地及び建物

- 57 キャンパスマップ
- 60 海外拠点一覧・キャンパス所在地
- 62 アクセスマップ

名古屋大学学術憲章

名古屋大学は、学問の府として、大学固有の役割とその歴史的、社会的使命を確認し、その学術活動の基本理念をここに定める。

名古屋大学は、自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。とりわけ、人間性と科学の調和的発展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する。このために、以下の基本目標および基本方針に基づく諸施策を実施し、基幹的総合大学としての責務を持続的に果たす。

1. 研究と教育の基本目標

- (1) 名古屋大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。
- (2) 名古屋大学は、自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てる。

2. 社会的貢献の基本目標

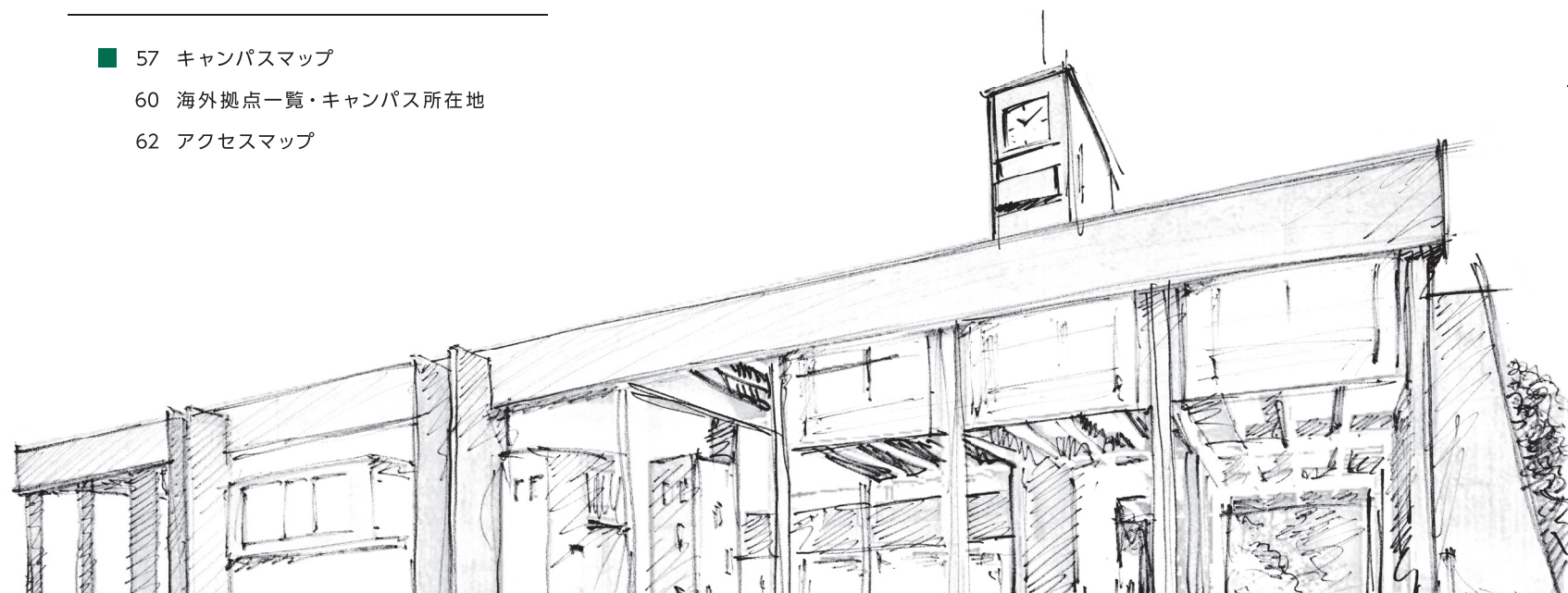
- (1) 名古屋大学は、先端的な学術研究と、国内外で指導的役割を果たしうる人材の養成とを通じて、人類の福祉と文化の発展ならびに世界の産業に貢献する。
- (2) 名古屋大学は、その立地する地域社会の特性を生かし、多面的な学術研究活動を通じて地域の発展に貢献する。
- (3) 名古屋大学は、国際的な学術連携および留学生教育を進め、世界とりわけアジア諸国との交流に貢献する。

3. 研究教育体制の基本方針

- (1) 名古屋大学は、人文と社会と自然の諸現象を俯瞰的立場から研究し、現代の諸課題に応え、人間性に立脚した新しい価値観や知識体系を創出するための研究体制を整備し、充実させる。
- (2) 名古屋大学は、世界の知的伝統の中で培われた知的資産を正しく継承し発展させる教育体制を整備し、高度で革新的な教育活動を推進する。
- (3) 名古屋大学は、活発な情報発信と人的交流、および国内外の諸機関との連携によって学術文化の国際的拠点を形成する。

4. 大学運営の基本方針

- (1) 名古屋大学は、構成員の自律性と自発性に基づく探究を常に支援し、学問研究の自由を保障する。
- (2) 名古屋大学は、構成員が、研究と教育に関わる理念と目標および運営原則の策定や実現に、それぞれの立場から参画することを求める。
- (3) 名古屋大学は、構成員の研究活動、教育実践ならびに管理運営に関して、主体的に点検と評価を進めるとともに、他者からの批判的評価を積極的に求め、開かれた大学を目指す。



総長メッセージ



名古屋大学は、
自由闊達な学風の下、真理を探究する研究力を磨き、
勇気ある知識人を育成し、社会・人類課題の解決に貢献します

名古屋大学総長 杉山 直

名古屋大学は1871年に創設された仮病院・仮医学校に源流をもち、1939年には医学部と理工学部を設置する帝国大学として発足し、1949年に新制名古屋大学として再出発しました。

戦後すぐ、国を立て直さなければならなかった当時の名古屋大学は、総合大学として誕生したばかりで、選りすぐりの「活きの良い」若手研究者たちが集い、さながら梁山泊のような様相であったと想像されます。そこでは、自由闊達な学風が生まれ、世界に類のない質が高くオリジナルな研究が展開されていきました。この若い息吹がその次の世代に伝わり、6人のノーベル賞受賞者に代表される研究成果へと結実し、世界トップレベルの研究大学へのあゆみを進めてきました。同時に、産業集積地である東海地方を代表する大学として産業界にも数多の人材を送り出し、イノベーションを牽引してきました。

現在では9学部、13研究科を擁する日本を代表する総合研究大学へと成長した名古屋大学ですが、一方で国立大学をめぐる環境は、2004年の法人化以降目まぐるしく変わっていきま

す。名古屋大学は、世界と伍して、国際的に卓越した教育研究、社会実装を推進する3類型の大学となり、2018年には、世界最高水準の教育研究活動の展開が相当程度見込まれる国立大学として、指定国立大学法人に選ばれています。

現状に甘んじることなく、産業集積地の旗艦大学としての責務を果たし、さらに発展していくために、2020年には岐阜大学と法人統合を果たし、東海国立大学機構を発足させ、2022年度には、「教育・人材育成」「研究・価値創造」「社会連携・産学連携」「国際展開」の4つの事業を強力に推進するため「Nextビジョン2027」を策定しました。

キャンパスに世界中から優れた研究者や学生が集い、名古屋大学からも世界中に人材が飛躍していくというダイナミックな交流が展開されること、基礎的研究面でのインパクト(アカデミック・インパクト)と社会への発信・人類課題解決へのインパクト(ソーシャル・インパクト)の最大化を目指して、絶えることのない挑戦を続けていきます。

計画・方針等

第4期
中期目標・
中期計画



名古屋大学の
教育を支える
3つの方針



名古屋大学のNextビジョン2027と戦略

ー世界と伍する研究大学を目指しますー

名古屋大学は、自由闊達な学風の下、研究と教育を通じて人々の幸福に貢献することを目指して、2027年までのビジョンと戦略を策定しました。

ミッション

自由闊達な学風の下、研究と教育を通じて新たな価値を創造し
人々の幸福に貢献する。

- 創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。
- 自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てる。
- 先端的な学術研究と、国内外で指導的役割を果たしうる人材の養成とを通じて、人類の福祉と文化の発展ならびに世界の産業に貢献する。
- 立地する地域社会の特性を生かし、多面的な学術研究活動を通じて地域の発展に貢献する。
- 国際的な学術連携および留学生教育を進め、世界とりわけアジア諸国との交流に貢献する。
- 東海国立大学機構とともに、知とイノベーションのコモンズとして国立大学の新たな形を追求し続ける。

強み

- ノーベル賞に代表される尖った研究力(国際高等研究機構)
- ものづくりの拠点 東海地域の立地に基づいた産学官連携の推進(未来社会創造機構)
- 社会課題解決のための独立研究科の設置(国際開発研究科・環境学研究科)
- アジアサテライトキャンパスを中心としたアジア展開
- リーディング・卓越大学院に代表される博士教育(博士課程教育推進機構)
- He For Sheを代表とする女性活躍

Nextビジョン2027

世界屈指の研究大学へ、
進化し続け未来を拓く
名古屋大学

学び働くことに
誇りと喜びを感じる
名古屋大学

4つの戦略

[戦略] 1 教育・人材育成

高大接続から大学院、学び直しまでシームレスに紡ぐ
国際通用性のある教育・人材育成教育

- 1 国際通用性のある新たな教養基礎教育の確立
- 2 国内外から多様で優れた学生を獲得、積極的な交流を通じインクルーシブなキャンパスを実現
- 3 既存の学問領域の枠にはまらない大学院学位プログラムの設置
- 4 博士人材育成に向けた積極的経済支援とキャリア形成サポートの充実
- 5 リカレント・リスキリング教育の充実、拡大



[戦略] 2 研究・価値創造

世界トップ研究者が集う知の梁山泊が生み出す
知的成果の創出と価値化

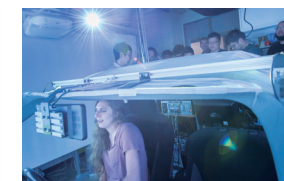
- 1 知の地平線を広げ、新たな「知」を集積する基礎研究と、集積された知を価値化し、社会実装・社会変革につなげる応用研究の両輪で生み出す世界屈指の研究成果
- 2 名古屋大学の研究者を核に卓越教授など国内外のトップ研究者が集う中核的研究拠点の形成と若手中心萌芽的拠点の積極的育成
- 3 大学院後期課程から博士研究員(新たなポストドクポジション)、若手教員、PIまで、シームレスに支援する若手支援総合パッケージ構築
- 4 支援スタッフ増員とコアファシリティの整備(機器共用)による研究専念環境構築
- 5 多様な研究者がアンダーワンルーフで集い連携し、融合研究を育み新たな分野を創造



[戦略] 3 社会連携・産学連携

世界有数の産業集積地に根ざし、新たな価値を創造し
グローバル/ローカル課題の解決に貢献

- 1 スタートアップ共成長パッケージに基づく、未来創造マインドの醸成と起業支援による新たな産業エコシステムの創成
- 2 大学の総合知を結集したカーボン・ニュートラル実現をはじめとするグローバル課題の解決
- 3 パートナー企業との戦略的連携、ディープテックベンチャーによる社会課題解決の加速とグローバル展開



[戦略] 4 国際展開

ニューノーマル時代の新たな国際展開

- 1 戦略的パートナー大学との連携で進める世界トップレベルの国際共同研究、頭脳循環促進、国際共修、スタートアップ推進
- 2 グローバル・マルチキャンパスを活用したテラーメイド型留学、国際プログラムなどによる双方向の留学生数の飛躍的増加
- 3 国際広報の強化による研究成果の積極的な海外への発信とレピュテーションの向上

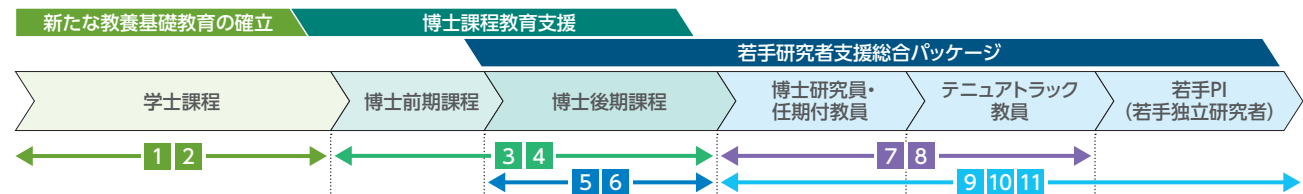


大学運営方針

- 1 総長・執行部と部局長・部局構成員との対話と改革理念の共有を通じた大学将来像の共有
- 2 トータルバジェットに基づいた資源の戦略的配分と事業ポートフォリオ
名古屋大学基金をコアとしたエンダウメントの醸成
- 3 執行部、教員、職員、学生すべてについて多様性(女性、外国人など)と包摂性による組織活性化を確保

グローバル社会とアカデミアに貢献する人材を育成・支援する、総合的な取り組み

名古屋大学では、国内外から優秀な人材を惹きつけ、育成し、社会に輩出するため、新たな教養基礎教育の確立と、大学院教育から若手研究者支援までシームレスに続く総合的な育成・支援パッケージを構築することで、世界基準の研究者育成の取り組みを展開しています。



新たな教養基礎教育の確立

学士課程

名古屋大学では、高度で幅広い教養を育むための教養教育と、飽くことなき探求心の涵養と新たな知の主体的創造につながる専門教育との二本柱からなる体系的な教育課程により、学生を育てます。特色ある取り組みとして、**1** ディープテック・シリアルイノベーションセンターではすべての学生にアントレプレナーシップ教育を提供することをミッションとして、学部生向けのカリキュラムを整備しています。**2** 数理・データ科学・人工知能教育研究センターでは、学部・研究科等と連携し、数理・データ科学・AI分野の人材育成を推進しています。

博士課程教育支援

社会に貢献できる専門家として活躍するには、専門領域の深い学識と卓越した能力に加えて、関係者との協働ネットワークを創造発展させる「PhDスキル」が不可欠です。文部科学省の大型教育研究プロジェクトをテコに大学院生への経済的支援、多様な専門家や人々と交流・協働する中で高いスキルが培われる環境・制度を整えています。

3 博士課程教育推進機構

博士前期課程

博士後期課程

世界屈指の水準の博士課程教育を実現し、学界のみならず、産業界、国際機関等、国内外のあらゆるところで活躍し得る博士人材の育成を目的とし、6件の博士課程教育リーディングプログラムで培った知見や成果を全学に展開するため設置されました。



全学共通科目(プロフェッショナルリテラシー)の全学展開／トランスファブルスキルの各種取組の実施／企業と博士人材の交流会等キャリア支援の実施／卓越大学院プログラム(4プログラム)採択／科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業の採択・実施／次世代研究者挑戦的研究プログラムの採択・実施／教育プログラム履修生の授業料免除

4 卓越大学院プログラム

博士前期課程

博士後期課程

博士課程教育リーディングプログラムの後継として卓越大学院プログラムを4プログラム展開しています。全プログラム合計で300名を超える大学院生が、経済支援を受けながら、研究に加え、企画力や統率力などのトレーニングにも取り組み、海外大学での研修、異なる専門の大学院生との協働、企業との共同研究、スタートアップ研修起業の訓練、海外インターンシップなどを実践。有力企業の専門家との交流や協働も日常的に行われています。



トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム(2018年度～)／未来エレクトロニクス創成加速大学院コース(2018年度～※2025年度より名称変更)／情報・生命医学科学コンボリューション グローカルアライアンス卓越大学院プログラム(2019年度～)／ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム(2020年度～)

若手研究者支援総合パッケージ

名古屋大学では、国からの支援に加え、給与支給、授業料免除、民間からの奨学金制度などを導入・活用するとともに、独自の施策として若手研究者のポストを用意するなど、世界で戦える研究者の育成と支援を推進しています。

5 東海国立大学機構メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業

博士後期課程

JST「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の支援により、東海国立大学機構メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業を展開しています。
I. 未来社会革新加速、II. 物質・生命融合、III. 情報・生命・医学融合、IV. ライフスタイル革命学際、V. アジア・環太平洋未来創造、VI. グローカル課題解決推進、VII. 学際的基盤研究の7分野の大学院生(合計649名)を対象に、経済支援とカリキュラムを提供し、将来の知識基盤社会を先導する博士人材育成を目的としています。専門の異なる博士課程学生や価値観の異なるメンター、さらにはロール・モデルとなる社会で活躍する博士人材などとの交流の機会を設けることで、自身の発想に基づく新たな研究展開や融合研究の創出を促します。

7 研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業(JSPS)

博士研究員・任期付教員

テニュアトラック教員

学振特別研究員(PD、RPD、CPD)が安心して自身の研究に専念できる環境を整備することで、研究者としての基盤構築を支援しています。



9 世界的課題を解決する知の「開拓者」育成事業(T-GEx)

博士研究員・任期付教員

テニュアトラック教員

若手PI(若手独立研究者)

T-GExは、2021年度科学技術人材育成費補助事業「世界で活躍できる研究者戦略育成事業」に採択されたプログラムです。大型の国際的・学際的研究プロジェクトを牽引するPI(Principal Investigator)を目指す研究者や、産学連携や起業を国内外で活発に展開する高度人材を目指す研究者への支援を通じ、次世代に対するロール・モデルを輩出し、人材育成の好循環をつくり出します。



研究環境構築支援／研究費支援／異分野・異業種の研究者とのネットワークの機会提供／メンター、アドバイザー、URAによる支援

6 東海国立大学機構 名古屋大学 次世代AI人材育成事業(TokAI BOOST)

博士後期課程

JST「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業次世代AI人材育成プログラム(博士後期課程学生支援)」の支援プロジェクトであるTokAI BOOSTは、近年急速に発展する人工知能(AI)の新たなパラダイムシフトを先取りし、かつこれまでの個別研究分野から学際的なデータ駆動型研究・教育変革・産業応用を先導できる人材の育成を目的としています。

8 Young Leaders Cultivation Program(YLC)

博士研究員・任期付教員

テニュアトラック教員

次世代を牽引する研究者を組織的に育成するため、すべての学問分野を対象に、博士号取得後8年未満の将来有望な若手研究者を毎年8名程度、特任助教(YLC 教員)として採用しています。任期は5年間で、必要に応じて教育体験を積みながら、自律的に研究に専念できる環境を整えています。また、YLCセミナーやYLC教員同士の共同研究プログラムを通じて、分野を超えた学際的な研究シーズの発掘を支援しています。

10 創発的研究支援事業

博士研究員・任期付教員

テニュアトラック教員

若手PI(若手独立研究者)

2020年度よりスタートしたJSTが実施する創発的研究支援事業として、計88名(2025年12月末現在)の研究提案が採択されています。これは研究提案の採択数として全国の大学の中で累積4位の実績を誇っています。

年間700万円の研究費支援／人件費・研究環境構築支援(最大7年間)／活発な学術交流を促進するため創発の場の支援

11 若手新分野創成研究ユニット(B-3)

博士研究員・任期付教員

テニュアトラック教員

若手PI(若手独立研究者)

特任・PDを含む若手研究者の育成と視野拡大を支援することにより、若手研究者による新分野の創成を目指しています。

研究費支援(100万円上限)／ユニット構成研究者の雇用支援(1名)／研究環境構築支援

低温プラズマ科学が提案する、 人類課題へのソリューション



名古屋大学 低温プラズマ科学研究センター (cLPS: Center for Low-temperature Plasma Sciences, Nagoya University) は、本学が1961年以来築いてきたプラズマ研究の歴史を背景に、2019年4月、プラズマ関連センターを統合し設立されました。国際的かつ学際的な研究者を結びつける分野横断的な研究ネットワークの中心として、世界トップクラスの研究成果を発信しています。

世界屈指の「プラズマ科学プラットフォーム」 から生まれるイノベーション

名古屋大学
低温プラズマ科学研究センター
センター長
大野 哲靖 教授



名古屋大学の英知が集結した4つの研究部門

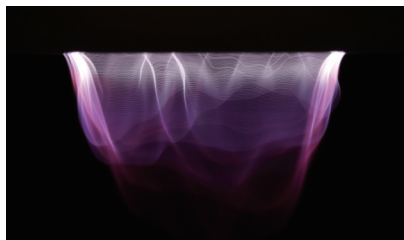
私のプラズマ科学は、宇宙空間のプラズマを実験室内で再現しようと自ら装置を設計・製作し、プラズマを発生させ、それを計測することから始まりました。プラズマ研究の面白さは、研究者が自分だけのプラズマをつくり、それをさまざまな物質と反応させ、解析することから新しい科学が生まれることを体感できることです。低温プラズマの基礎科学から応用・社会実装までを一体的に推進する当センターは、まさにプラズマ研究の宝庫です。150台を超える独自のプラズマ装置と世界最高水準のプラズマ計測技術を活かした産学官連携による加工技術、材料やデバイス・装置のイノベーションが次々と生まれています。この恵まれた環境のもと、先進半導体製造の生命線である超微細加工に必要な革新的な低温プラズマ加工技術の実現を担う半導体プロセス科学部門、プラズマ活性溶液を使ったプラズマ医療の構築や、低温プラズマを活用した農漁業への貢献を目指すプラズマバイオ部門、エネルギー・環境分野への応用技術を開発するグリーンDXプラズマ部門、遠隔実験・自動化・AI解析を統合したデータ駆動型研究基盤の確立に取り組むプラズマ科学部門が、専門性を活かしつつ分野横断的に連携し、世界に誇る研究成果を創出しています。

国際的かつ学際的な研究拠点として 人類社会への貢献を目指す

国際的な広がりを見せる低温プラズマ科学のコミュニティにあって、当センターは国際会議ISPlasma/IC-PLANTSを毎年開催し、世界の

トップレベルの研究者・技術者とともに、産学が融合した国際的な議論を重ねています。加えて、企業との共創の場「グリーン・DXプラズマコンソーシアム」を立ち上げ、環境・エネルギー分野を中心に、幅広い産業分野と共創体制を構築することで研究成果の社会実装を加速しています。さらに新たな挑戦として、2025年度からは、低温プラズマ学と遺伝学・農学を融合した「学際領域展開ハブ」の形成を進め、国内の主要大学・研究機関と連携し、プラズマによるストレス制御と生物の環境応答を結びつけた新しい学問領域の創出に取り組んでいます。これらの国際連携や産学連携の活動を支えているのは、URAなどの優れたスタッフであることも強調したい点です。

世界的に低温プラズマ分野では激しい競争が展開されていますが、研究が進めば進むほど未知の世界が無限に広がるような魅力があります。当センターは、これからも低温プラズマ技術を基盤とした先端産業が集積する「東海プラズマバレー」を世界に発信するイノベーションの拠点として、岐阜大学 工学部附属プラズマ応用研究センターとともに発展していくことを使命とし、半導体、エネルギー、環境、食料、医療といった人類社会が直面する課題の解決に挑み続けていきます。



独自の高電子密度低温大気圧プラズマ源を開発し、半導体の微細加工、医療応用、農業応用に向けた研究を展開しています

産学連携を推進・サポートするURA



リョウ ショーハ
廖 婕如
企画・プロジェクト
推進部門 URA
(台湾出身)

台湾にある外資系企業での経験を活かし、台湾の大学・研究機関・半導体企業との連携構築や研究活動の支援、国際共同研究ネットワークの拡大に取り組んでいます。未来を支えるのは低温プラズマ科学です。これからも国際研究拠点形成に向けて、分野の壁や国境の壁を越えた連携を広げていきたいと思っています。

世界に発信する研究成果

次世代の半導体プラズマプロセスの実現を目指す

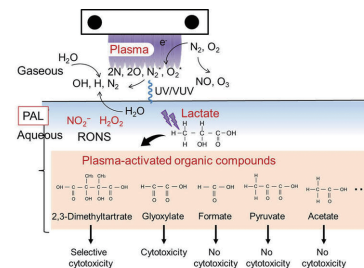
半導体プラズマプロセス分野の最前線では、超微細加工に欠かせない原子レベルの加工技術、3D積層構造の高精度なエッチング・成膜技術などの次世代量産化技術の実装に向けた開発競争が繰り広げられています。当センターでは、最先端のさらにその先を切り拓く低温プラズマ科学を探索しつつ、新しいプラズマプロセス装置の開発や計測・分析技術の進化、プラズマ科学を中心とした学際的な研究を支える若手研究者の育成、研究コミュニティの拡大などを推進しています。

今後、半導体分野におけるプラズマ技術の開発競争は、AI、次世代通信技術の普及などを見越して、これまで以上に激化していきます。当センターは、低温プラズマ研究の世界的な拠点であり、基礎研究から装置開発、デバイス開発、材料開発といった量産技術研究までをワンストップで完結できる国内唯一の共同利用・共同研究拠点です。これからも産学連携と世界の研究者との共創の輪を拡大しつつ、多くの優れた研究者とともに国内外のプラズマ研究をリードしていきます。



プラズマ医療とプラズマバイオの核心に迫る

名古屋大学は、2013年に世界に先駆けて大気圧低温プラズマを照射した「プラズマ活性溶液」が、がん細胞を死滅させることを報告しました。以来、治療困難な卵巣がんを対象として、プラズマ活性乳酸リンゲル液を使ったがん治療の研究を推進してきました。この間、プラズマと反応して生じた短寿命の活性種が溶液中の物質と反応して新たな有機物が生成されるメカ



ニズムや、プラズマ活性溶液の研究が大きく進展しました。さらに、プラズマ照射によって生まれた有機化合物の同定に加え、その薬理効果や抗腫瘍効果を体系的に研究する「プラズマファーマシー」と呼ばれる研究分野を立ち上げるなど、研究分野は広がっています。

プラズマがん治療に特化した国際会議では、プラズマ活性溶液に関する発表が増加するなど、国内外において「プラズマ活性溶液といえば名古屋大学だ」と認められるようになってきました。これからもプラズマ医療の発展のため、プラズマと生命科学との関係を解き明かしていきたいと思っています。

活躍する注目の研究者達

原子レベルの加工精度が拓く次世代半導体

OSONIO Airah Peraro 半導体プロセス科学部門 特任助教(フィリピン出身)

原子レベルの精度でパターン転写を実現するプラズマ支援原子層エッチング手法の研究に取り組んでいます。開放的な研究環境のもと、将来の三次元微細構造デバイスを生む革新的な技術を開発したいと思っています。



最先端エッチング技術の実装化を目指す

NGUYEN Thi Thuy Nga 半導体プロセス科学部門 特任准教授(ベトナム出身)

室温下において、高密度蒸気プラズマエッチングおよびナノミスト原子層エッチングを含むウェットライク(プラズマ)エッチング技術の概念を提唱し、その実証を行いました。これにより、有害な薬品を使用することなく、原子レベルでの精密加工を実現しつつ、エネルギー消費の低減を達成しました。



プラズマ医療を一日も早く届けるために

中村 香江 プラズマバイオ部門 准教授

プラズマ技術が、がん細胞の排除と正常組織の再生促進という相反する機能を持つことを明らかにできました。現在、日本初のヒトにおける安全性を評価する特定臨床研究を名古屋大学医学部附属病院で進めています。



がん治療に貢献する新たなデリバリー技術の確立を目指す

MIRON Camelia プラズマバイオ部門 特任准教授(ルーマニア出身)

プラズマ活性溶液によるがん治療を発展させるため、天然高分子キトサンをプラズマによって活性化したキトサン(PAC)を開発し、さらに将来的な医療への展開が期待されるPACを用いたドラッグデリバリー技術の研究を進めています。



アントレプレナーシップに満ちた 大学と社会づくりを目指して

名古屋大学では、学内において正課のアントレプレナーシップ教育を展開するとともに、東海地区の大学コンソーシアムによる教育・起業家育成プログラムを展開するTongali*との連携や、東海国立大学機構、地域の他大学、自治体、産業界、金融界などとのネットワークを利活用し、スタートアップ創出と育成、スタートアップ・エコシステム構築を推進しています。これからも名古屋大学の強みである産学官のネットワークを活かし、イノベーション創出に貢献していきます。

*Tongali：Tokai Network for Global Leading Innovation
東海地区29大学2機関による東海地区産学連携大学コンソーシアム



日本スタートアップがしやすい大学を目指して

次世代を育むアントレプレナーシップ教育の展開

課題を発見し、他者と協働しながら解決へと導く力は、社会に出るすべての学生にとって重要な素養です。名古屋大学では、チャレンジ精神や創造性、協調力、リーダーシップといった資質の育成を「アントレプレナーシップ教育」と位置づけ、2023年4月に設置したディープテック・シリアルイノベーションセンター(D-center)を中心に、全学的に取り組んでいます。

さらに、実践的なワークショップやアイデアピッチコンテストなど、個人やチームのアイデアを具体的な事業へとつなげる機会を、他大学も参加するTongaliプログラムとして展開しています。2024年度は114のプログラムを実施し、延べ9,126名の学生が受講しました。



「？」を「！」にする、アイデアピッチコンテスト

現在では、その対象を学部生・大学院生・ポストドクターから小中高生へと広げ、早い段階から挑戦する姿勢を育む取り組みを進めています。あわせて、研究者の起業支援や起業環境の整備にも注力するなど、東海圏におけるスタートアップ・エコシステムの形成に貢献しています。

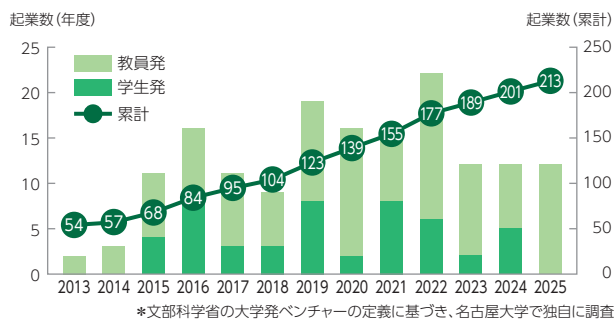
名古屋大学の強みを活かしたスタートアップの創出

アントレプレナーシップ教育の展開やディープテック起業に向けた学内シーズの掘り起こしから、起業・成長・国際展開までを視野に入れた一貫した支援の提供などにより、名古屋大学発ベンチャーの累積起業数は213社と、有望な企業を数多く創出してきました。

中でも、AI・半導体、合成生物学・バイオ、フードテックなどを担うディープテック企業の成長にはめざましいものがあります。

例えば、AI分野において、株式会社ティアフォーは、「自動運転の民主化」をビジョンに掲げ、自動運転用オープンソースソフトウェア「Autoware」の開発を主導。「Autoware」を活用したソフトウェア

名古屋大学発ベンチャー起業数*の推移

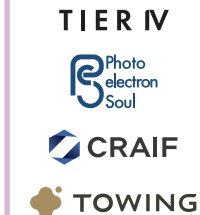


プラットフォームを基盤に自動運転における各種サービスを展開しています。半導体分野では、名古屋大学の素粒子・加速度物理と半導体材料工学が融合したディープテックの代表格である株式会社Photo electron Soulが、GaN結晶を基盤に光電子ビームを実装。幅広い産業への応用が期待されています。

バイオAI分野では、Craif株式会社が尿中マイクロRNA解析技術により、最大10種のがんリスクをAIで高い精度で評価する製品を展開し、バイオ×AIデータ解析×医療の分野融合型ディープテックとして成長を続けています。フードテック分野では、学生発ベンチャーとしてスタートした株式会社TOWINGが、アマゾンの奇跡の土「テラ・プレタ」に近い環境をつくり出し、持続可能な農業を実現。さらに宇宙農業までを見据えて国際展開を図り、成長を続けています。

なお、大学とベンチャー企業との関係を明確にし、研究成果の社会発信や起業意欲の向上、さらには連携強化を図る目的で、大学発ベンチャーの称号認定制度を設け、大学ホームページ上で公表しています。2025年12月末現在、大学発ベンチャー82社、学生ベンチャー4社を認定しています。*

*名古屋大学発
ベンチャー称号授与制度



スタートアップ・エコシステムの構築に貢献

研究成果の社会実装と成長を支援するファンドの運用

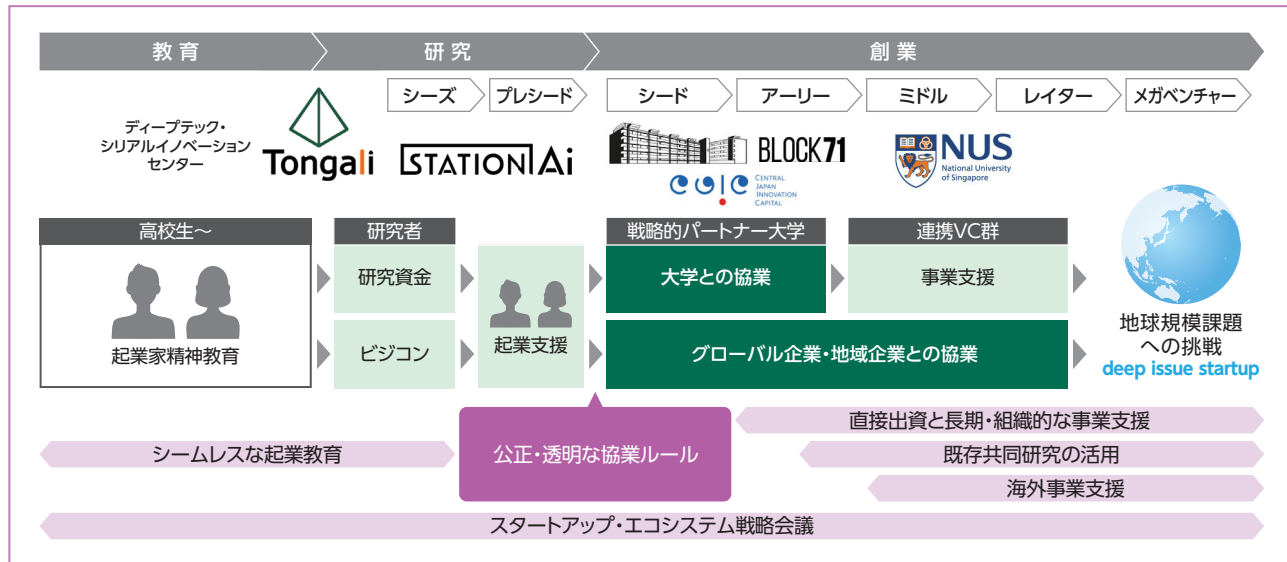
大学の基礎研究と事業化の間に存在する“ギャップ”を埋めることを目的とした支援制度として、GAPファンドプログラムを2020年度から実施し、大学研究者に開発資金を提供するとともに顧客開発、市場探索、ビジネスモデル構築などのインキュベーションプログラムを通じて研究成果の社会実装を一貫して後押ししています。現在、東海地域の15大学、大学共同利用機関法人自然科学研究機構、STATION Ai株式会社を含む17機関が連携し、基礎研究を社会的価値へと転換する仕組みとして、地域を越えた連携のもと、大学発スタートアップ創出を加速させています。

また、起業後にスタートアップが持続的に成長していくためにはリスクマネーの確保と継続的な支援が重要です。名古屋大学では、「名古屋大学・東海地区広域大学向けベンチャーファンド」を組成し、第1号を25億円(2016年)、第2号を20億円(2019年)で創設し、リスクマネーの供給を通じて、大学発スタートアップに対する成長を後押ししてきました。さらに、東海国立大学機構の孫会社として、独自のベンチャーキャピタルである株式会社Central Japan Innovation Capital(CJIC)を2024年11月に設立し、33億円でファーストクローズを実現しました。これにより、大学発スタートアップへの投資と伴走支援を継続的に行う体制を強化しています。

起業を支える制度基盤の確立

名古屋大学では、起業を後押しするための関係諸規程を整備・明確化し、その内容をTongaliプラットフォームの各参画機関とも共有しています。学術研究・産学官連携推進本部内の知財・技術移転部門においては、共同研究やライセンス契約を円滑に推進する体制に加え、適切な利益相反マネジメント体制を構築し、研究者が安心して挑戦できる環境を整えています。2025年には、起業後の成長支援を一層強化するため、東海国立大学機構内に「スタートアップ統括室」を新設し、創業前後を通じて一貫した支援を行う体制を整備し、制度整備と実践支援を両輪として推進することで、大学発スタートアップが継続的に生まれ、成長できる基盤を構築しています。

■スタートアップ共成長パッケージ ～「支援」から「協業」への転換～



産学共創を生むイノベーション拠点の形成

2005年、名古屋大学ではスタートアップなど、大学発ベンチャーの成長を支援するインキュベーション施設を設置しました。アーリーステージの多様なニーズに応えた、事業開発や大学との共同研究を円滑に進める環境を整え、事業化に専念できる空間として運営しています。

2022年には、「100年先の未来を豊かにするために、常識にとらわれないエネルギーとテクノロジーが集まるIdeaの実験区」をコンセプトとする「Idea Stoa」を設置。新たなイノベーションが生まれ、育つ場となることを目指しています。さらに2024年には、Tokai Open Innovation Complex (TOIC名古屋サイト)を創設しました。起業支援に加え、産学交流や共同研究を一体的に推進することで、企業、ベンチャー、行政、研究者、学生など多様なステークホルダーが交わるオープンな共創空間を形成し、新たなイノベーションの創出を加速させています。



TOIC名古屋サイトで多様な人々と出会い、新しいイノベーションを育む

東海地域におけるスタートアップ・エコシステムの形成

名古屋大学は愛知県が鶴舞に設立した日本最大のスタートアップ拠点「STATION Ai」との連携を強力に推進しています。また、Central Japan Startup Ecosystem Consortium(愛知県、名古屋市、浜松市、一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学、静岡県、岐阜県、三重県)に参加して、スタートアップの創出・育成・支援を推進する広域体制のもと、世界に伍するスタートアップ・エコシステムの形成に取り組んでいます。

今後も名古屋大学は、アントレプレナーシップの醸成と起業家創出を軸に、東海圏の持続可能な成長と新たな産業創出へとつなげていきます。



2024年9月STATION Ai株式会社と施設・設備利用に関する基本合意書を締結

グローバル・コモンズを目指す 名古屋大学の世界戦略

名古屋大学では、世界の大学・研究機関との連携を戦略的に展開することで、国際的な科学技術・学術の環境変化や高等教育の動向にも柔軟に対応した研究と教育の実現を目指しています。また、真に学生本位で、学修成果が得られる質の高い教育、国際通用性のある教育の実践・改善とともに、国際競争力を強化するため、ジョイント・ディグリープログラム(JDP)*の推進、海外からの留学生・研究者の増加、国際共同研究の拡充などさまざまな取り組みを展開しています。

*ジョイント・ディグリープログラム(JDP)：外国の大学と共同で単一の学位(ディグリー)を授与する制度

独自の強みを活かした国際展開

世界と伍する研究大学への飛躍を目指した グローバル・マルチキャンパス構想

名古屋大学では学術憲章に、「国際的な学術連携および留学生教育を進め、世界ととりわけアジア諸国との交流に貢献する」「活発な情報発信と人的交流、および国内外の諸機関との連携によって学術文化の国際的拠点を形成する」と定め、独自の活動を展開しています。



シンガポール国立大学とのさらなる連携の推進

2022年には「グローバル・マルチキャンパス(GMC)構想」がスタートし、名古屋大学がこれまで蓄積してきた海外大学などとのネットワークと海外拠点の展開の実績をもとに、アジア・欧州・北米の3極から有力大学を戦略的パートナー大学(SPU)と位置づけ、現地に名古屋大学の拠点となるキャンパスを設置して、組織的かつ双方向の連携活動を推進しています。本構想に基づき、2023年3月にはアメリカ・ノースカロライナ州立大学、同年7月にはシンガポール国立大学、2026年4月にはイギリス・エディンバラ大学、ドイツ・フライブルク大学にキャンパスを設置しました。



2025年5月 ノースカロライナ州立大学の学生23名を6週間受け入れ

現在、このキャンパスを活用したさまざまな留学プログラムを構築、個々の学修状況に合わせて対応できる「テラーメイド型留学」を目指し、学部から大学院までシームレスなグローバル人材育成を促進

しています。併せて、SPUとの連携を中心に、世界トップレベルの国際共同研究、頭脳循環促進、国際共修、スタートアップの推進など、世界標準の教育・研究の実現を目指しており、国際広報の強化による研究成果の積極的な海外への発信とレピュテーションの向上なども含め、幅広い視点でのグローバル化を進めています。

JDPのフロントランナーとして積み上げてきた実績

名古屋大学では、2015年に医学系研究科において我が国初めてのJDPを開設して以来、4つの研究科で合計7つのJDPを開設しています*。JDPでは連携先大学と共同して博士後期課程、または医学博士課程のJDPを構築し、学生は1つの研究テーマを設定し、双方の大学の2人以上の指導教員から指導を受け、研究を行います。学位論文その他の修了要件を満たした学生には、双方の大学が連名で単一の学位を授与します。JDPを通じて学生は海外有名大学を含む2つの大学・研究室に在籍することで、1つのテーマを多面的な観点から検討・議論し、同時に異なる文化、宗教、生活様式を体験することが可能で、問題を解決するコミュニケーション能力とマネジメント能力も身につけることもできます。JDPを通し、国際共同研究、共著論文が増加し、世界的に著名な研究室への就職という実績もあげています。



2023年11月 フライブルク大学と
戦略的パートナー大学として協定更新

*ジョイント・ディグリープログラム



相手国	相手大学	研究科名	分野／課程
オーストラリア	アデレード大学	医学系研究科	医学／博士
イギリス	エディンバラ大学	理学研究科	理学／博士
スウェーデン	ルンド大学	医学系研究科	医学／博士
タイ	カセサート大学	生命農学研究科	農学／博士
ドイツ	フライブルク大学	医学系研究科	医学／博士
オーストラリア	西オーストラリア大学	生命農学研究科	農学／博士
タイ	チュロンコン大学	工学研究科	工学／博士

英語力向上に貢献する国際プログラム群(G30)

国際プログラム群(G30)は、英語のみで学位が取得できる秋入学の国際プログラム群です。国籍に関係なく、外国の教育制度に基づいた教育を受けてきた学生を対象に2011年に開講されました。現在は6学部(10プログラム)、8研究科(博士前期課程11プログラム・博士後期課程7プログラム)で実施しています。日本国籍の学生を含め、学部では毎年約50名の学生を世界中から受け入れています。

留学生に対しては日本語授業の受講が必須で、ニーズや目的に応じて日本語強化のサポートも行っています。一方、日本人学生にとっては留学生と英語で共修することにより学内留学を経験することになります。学部卒業生の4分の1は世界トップレベル大学大学院へ、3割は本学大学院へ進学しています。

GLOBAL 30



多様なキャリアパスを歩むG30の修了生

アジア戦略の展開

名古屋大学では、SPUとの国際教育・研究・産学官連携を推進するグローバル・マルチキャンパス推進機構の中に、アジアサテライトキャンパス学院(ASCI)、法政国際教育協力研究センター(CALE)、日本法教育研究センター(CJL)などを置き、学生および教職員に一層質の高い国際的な交流活動の機会を提供することを目指しています。

ASCIでは、アジア諸国の国家中枢人材養成プログラムを実施



2025年10月 ウズベキスタン政府主催の第5回日本ウズベキスタン学長会議に日本側幹事校として参画

しています。この取り組みは、アジア諸国から優秀な人材を受け入れ、サテライトキャンパスと本邦キャンパスとの連携により研究指導を行うハイブリッド型博士課程プログラムで、学生は長期に職場を離れることなく博士の学位を取得できます。これまで、教育発達科学、法学、医学系、工学、生命農学、国際開発、環境学の7研究科が、9か国から学生を受け入れ、その修了生が各国の要職に就き、国家中枢人材として活躍しています。CALEでは、アジア4か国のトップ大学と連携してCJLを設立し、日本語による日本法教育を実施しています。優秀な学生は名古屋大学など日本の大学院に留学し、修了後は母国政府、大学、法律事務所、日系企業などで活躍しています。

また、Young Leaders' Program(YLP:医療行政コース)では、アジア13か国の医療政策、公的医療機関の管理、公衆衛生において指導的役割を果たす行政官を受け入れ、医療行政、医療経済、医療統計などの知識・技術について、修士課程1年をかけて修得できます。修了生はASCIで博士号取得も可能で、世界の保健、医療活動に貢献しています。



2025年5月 フィリピン大学機構とMOAを締結

さらに、ASCIやCJL、YLPを修了した方々は、アジア各地に展開する海外同窓会18支部の支部長や、各国の要職(ベトナム副首相、駐日ベトナム大使、王立プノンペン大学長など)、大学教授などに就任し、名古屋大学とアジアをつなぐ人材として教育・研究・社会連携の面でめざましい貢献をしています。これからも、修了生とのネットワークを強化することで地球規模課題対応のためのパートナーシップを強化していきます。



数字で見る名古屋大学

NU in NUMBERS

創基

1871年 

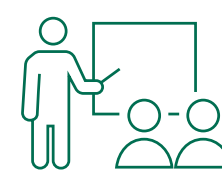
令和8年5月1日現在

創立

1939年 

令和8年5月1日現在

学部

9学部 

令和8年5月1日現在

大学院

13研究科 

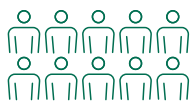
令和8年5月1日現在

学生数

学部学生 9,506名
※科目等履修生、聴講生、研究生等は除く
大学院学生 6,526名
※研究生は除く

令和8年5月1日現在

教員数

   学生10に対し
教員1
教員数 1,604名
※任期付正職員除く

令和8年5月1日現在

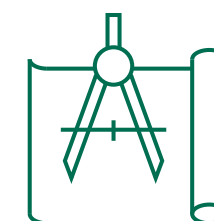
土地面積

バンテリンドームナゴヤ
約65個分 

3,122,736 m²

令和8年4月1日現在

各キャンパス土地面積



東山

697,470 m²

鶴舞

89,137 m²

大幸

48,463 m²

令和8年4月1日現在

建物面積


829,242 m²

令和8年4月1日現在

財政

収入 148,589 百万円
支出 137,451 百万円

決算額（令和7年度）

蔵書数


3,408,689 冊

令和8年4月1日現在

2020-2024
TOP10%論文数

2,765本 

令和2年～令和6年

2024年度
若手研究者支援創発的研究支援事業

全国4位
94採択

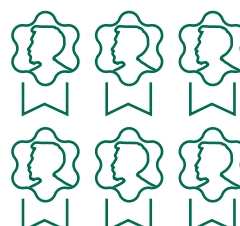


留学生数

2,571名 

令和7年度

ノーベル賞受賞者

6名 

令和8年5月1日現在

就職率

97.1% 

令和8年5月1日現在

名大発ベンチャー企業数

213社 

※文部科学省の大学発ベンチャーの定義による
起業累積数（令和7年度末現在）

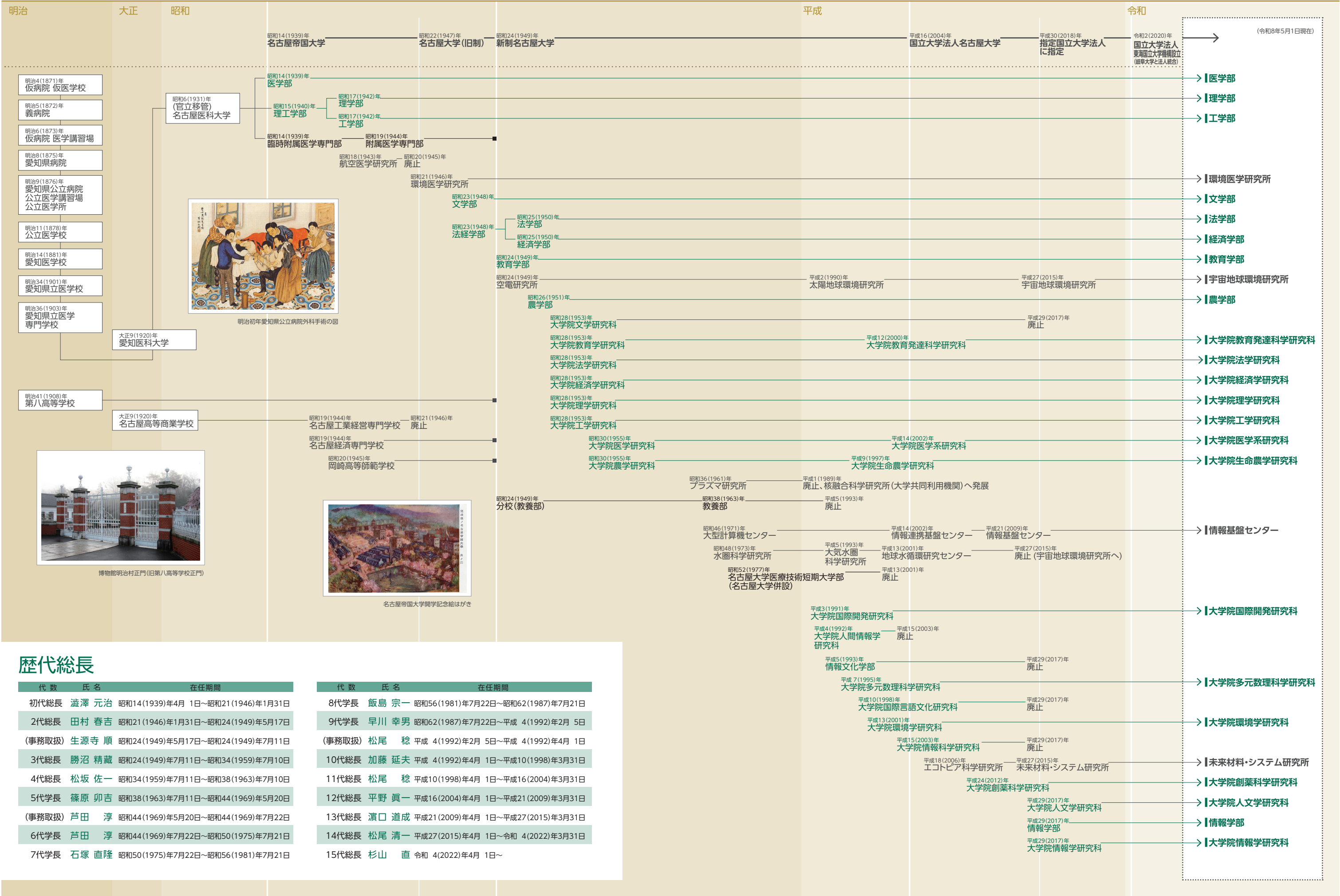
沿革

前身校期

帝国大学(旧制大学)期

新制大学期

国立大学法人期



ノーベル賞・文化勲章等 各賞受賞者

ノーベル化学賞

受賞年	氏 名	受賞対象研究	備考
2001(平成13)年	野依 良治	キラル触媒による不斉水素化反応の研究	理学研究科教授 (受賞時)
2008(平成20)年	下村 脩	緑色蛍光たんぱく質GFPの発見と開発	理学博士 (名古屋大学)、元理学部助教授

ノーベル物理学賞

受賞年	氏 名	受賞対象研究	備考
2008(平成20)年	小林 誠	フオークが自然界に少なくとも三世代以上ある事を预言する、対称性の破れの起源の発見	理学博士 (名古屋大学)
	益川 敏英		理学博士 (名古屋大学)、元理学部助手
2014(平成26)年	赤崎 勇	明るく省エネルギーの白色光原を可能にした高輝度の青色発光ダイオードの発明	工学博士 (名古屋大学)、元工学部教授
	天野 浩		工学博士 (名古屋大学)、工学研究科教授 (受賞時)

フィールズ賞

受賞年	氏 名	備考
1990(平成2)年	森 重文	元理学部教授

ガードナー国際賞

受賞年	氏 名	備考
2020(令和2)年	竹市 雅俊	理学部卒業、理学研究科修士課程修了

ガウス賞

受賞年	氏 名	備考
2006(平成18)年	伊藤 清	元理学部助教授

チャーン賞

受賞年	氏 名	備考
2018(平成30)年	柏原 正樹	元理学部助教授

京都賞

受賞年	氏 名	備考
1998(平成10)年	伊藤 清	元理学部助教授
2009(平成21)年	赤崎 勇	工学博士 (名古屋大学)、元工学部教授
2018(平成30)年	柏原 正樹	元理学部助教授

日本国際賞

受賞年	氏 名	備考
2005(平成17)年	竹市 雅俊	理学部卒業、理学研究科修士課程修了
2019(平成31)年	岡本 佳男	元工学研究科教授、特別招へい教授 (受賞時)

文化勲章

決定年	氏 名	専 門	所属(在籍時)
昭和29年	勝沼 精藏	血液学・航空医学	医学部・総長
昭和38年	久野 寧	生理学	医学部
昭和59年	高橋 信次	放射線医学	医学部
平成12年	野依 良治	反応有機化学	理学研究科
平成19年	中西 香爾	有機化学	理学部
平成20年	伊藤 清	数学	理学部
平成20年	小林 誠	素粒子物理学	理学研究科
平成20年	下村 脩	海洋生物学	理学部
平成20年	益川 敏英	素粒子物理学	理学部
平成21年	飯島 澄男	材料科学	理学部
平成23年	赤崎 勇	半導体電子工学	工学部
平成26年	天野 浩	電子・電気材料工学	未来材料・システム研究所
令和 3年	岡崎 恒子	分子生物学	理学部
令和 3年	森 重文	数学	理学部
令和 7年	山本 尚	有機化学・合成化学・生体関連化学	工学研究科

文化功労者

決定年	氏 名	専 門	所属(在籍時)
昭和29年	勝沼 精藏	血液学・航空医学	医学部・総長
昭和30年	澁澤 元治	電気工学	総長
昭和37年	柴田 雄次	無機化学	理学部
昭和38年	久野 寧	生理学	医学部
昭和54年	高橋 信次	放射線医学	医学部
平成 2年	平田 義正	天然物化学	理学部
平成 2年	森 重文	数学	理学部
平成10年	野依 良治	有機化学	理学研究科
平成11年	中西 香爾	有機化学	理学部
平成13年	岸 義人	天然物有機化学	農学部
平成13年	小林 誠	素粒子物理学	理学研究科
平成13年	益川 敏英	素粒子物理学	理学部
平成14年	塩野谷祐一	経済哲学	経済学部
平成15年	伊藤 清	数学	理学部
平成16年	赤崎 勇	半導体電子工学	工学部
平成16年	竹市 雅俊	発生生物学	理学研究科
平成20年	下村 脩	海洋生物学	理学部
平成21年	杉浦 昌弘	植物分子生物学・植物ゲノム科学	遺伝子実験施設
平成22年	田中 靖郎	X線天文学・学術振興	理学部
平成26年	小池 和男	労働経済学	経済学部
平成26年	天野 浩	電子・電気材料工学	未来材料・システム研究所
平成27年	岡崎 恒子	分子生物学	理学部
平成28年	篠崎 一雄	植物分子生物学	遺伝子実験施設
平成30年	山本 尚	有機化学・合成化学・生体関連化学	工学研究科
令和元年	近藤 孝男	時間生物学	理学研究科

日本学士院賞等

►恩賜賞

受賞年	氏 名	所属(在籍時)
昭和 2年	柴田 雄次	理学部
昭和16年	久野 寧	医学部
昭和25年	坂田 昌一	理学部
昭和26年	外山 修之	工学部
昭和31年	志方 益三	農学部
昭和35年	山崎 一雄	理学部
昭和42年	吉田 耕作	理学部

►日本学士院賞

受賞年	氏 名	所属(在籍時)
大正15年	勝沼 精藏	医学部・総長
昭和 8年*	小口 忠太	医学部
昭和15年	石田 元季	愛知医科大学予科 (医学部の前身)
昭和25年	名倉 重雄	医学部
昭和29年	中山 正	理学部
昭和29年	小野 勝次	理学部
昭和32年	野田 稲吉	工学部
昭和33年	松村 博司	文学部
昭和33年	菅原 健	理学部
昭和38年	関口春次郎	工学部
昭和41年	鶴高 重三	農学部
昭和43年	宮川 正澄	医学部
昭和51年	山本 時男	理学部
昭和52年	高橋 信次	医学部
昭和52年	平田 義正	理学部
昭和52年	香川 毓美	工学部
昭和52年	永澤 満	工学部
昭和55年	阿閉 吉男	文学部
昭和57年	八木 國夫	医学部
平成 2年	森 重文	理学部
平成 3年	塩野谷祐一	経済学部

►日本学士院エジンバラ公賞

受賞年	氏 名	所属(在籍時)
平成28年	松岡 信	生物機能開発利用研究センター

紫綬褒章

受章年	氏 名
昭和32年	増井 清
昭和46年	山本 時男
昭和48年	上田 良二
昭和48年	伏見 康治
昭和49年	高木健太郎
昭和50年	山本 賢三
昭和51年	末松 玄六
昭和52年	榊 米一郎
昭和52年	芦田 淳
昭和53年	石井 義郎
昭和54年	磯野 謙治
昭和60年	大澤 文夫
昭和60年	福井 崇時
昭和61年	早川 幸男
平成 2年	齋藤 哲夫
平成 3年	赤澤 堯
平成 3年	井村 徹
平成 4年	山田 和生
平成 5年	樋口 敬二
平成 5年	大西 英爾

受章年	氏 名
平成 7年	永津 俊治
平成 9年	赤崎 勇
平成10年	飯田 経夫
平成11年	泉 有亮
平成11年	杉山 達夫
平成12年	岡崎 恒子
平成12年	岩原 弘育
平成13年	山下 興亜
平成13年	永井 美之
平成14年	岡本 佳男
平成14年	三田 一郎
平成14年	山本 尚
平成15年	板倉 文忠
平成18年	道家 紀志
平成19年	福井 康雄
平成20年	磯部 稔
平成21年	上村 大輔
平成22年	生田 幸士
平成23年	近藤 孝男
平成24年	松本 邦弘

受章年	氏 名
平成24年	村瀬 洋
平成25年	河本 邦仁
平成26年	佐藤 健一
平成27年	小澤 正直
平成27年	福田 敏男
平成28年	篠原 久典
平成28年	松岡 信
平成29年	八島 栄次
平成29年	森 郁恵
平成29年	貝淵 弘三
令和 2年	高橋 雅英
令和 3年	馬場 嘉信
令和 4年	堀 勝
令和 5年	榊原 均
令和 6年	鳥居 啓子
令和 7年	社本 英二

受賞年	氏 名	所属(在籍時)
昭和45年	中村 榮孝	文学部
昭和52年	高橋 信次	医学部
昭和53年	伊藤 清	理学部
平成 2年	中西 香爾	理学部
平成11年	岸 義人	農学部
平成26年	赤崎 勇	工学部

注 恩賜賞は日本学士院賞を受賞した研究のうち特に優れた者に重ねて授与される。

受賞年	氏 名	所属(在籍時)
平成 3年	早川 幸男	理学部・学長
平成 4年	大澤 省三	理学部
平成 4年	石崎 宏矩	理学部
平成 6年	井村 徹	工学部
平成 7年	野依 良治	理学研究科
平成 8年	竹市 雅俊	理学研究科
平成 9年	山寺 秀雄	理学部
平成14年	佐藤 彰一	文学研究科
平成19年	山本 尚	工学研究科
平成20年	永井 美之	医学部
平成20年	藤吉 好則	理学部
平成21年	安藤 隆穂	経済学研究科
平成24年	中西 聡	経済学研究科
平成25年	巽 和行	物質科学国際研究センター
平成26年	近藤 孝男	理学研究科
平成26年	岡本 佳男	工学研究科
平成28年	宮本 憲一	経済学部
令和 5年	篠崎 一雄	遺伝子実験施設
令和 6年	上田 龍三	医学系研究科
令和 7年	吉田 久美	情報学研究科
令和 8年	西川 博嘉	医学系研究科

注 *は東京御成婚記念賞受賞。

組 織

令和8年度名古屋大学組織図



注 *1は教育関係共同利用拠点として、文部科学省より認定。
*2は共同利用・共同研究拠点として、文部科学省より認定。
*3は国際共同利用・共同研究拠点として、文部科学省より認定。

役職員

名古屋大学

総長、副総長等

総長	杉山 直
副総長（統括・医学系連携担当）	門松 健治
副総長（財務・施設・DO・広報ブランディング担当）	木村 彰吾
副総長（研究・情報系戦略（研究）担当）	山中 宏二
副総長（教育・留学生・情報システム（DU）・情報系戦略（教育／その他）担当）	寺崎 一郎
副総長（国際・計画・評価・IR・人文社会系改革担当）	周藤 芳幸
副総長（産学官連携・スタートアップ担当）	小橋 眞
副総長（学生支援・入試・図書館・附属学校担当）	加藤久美子
副総長（法務・リスク管理・公正研究・内部統制・監査担当）	矢野 昌浩
副総長（男女共同参画・多様性・人権担当）	永田 雅子
審議役（スタートアップ担当）	武田 一哉
参与	小川 宏嗣*
参与	徳川 義崇*
参与	國枝 秀世*
参与	Tim Warner*
参与	渡部美由紀*
参与	川北 一人*

注　＊は学外非常勤。

総長補佐・副総長補佐

総長補佐（NU-Tech担当）	神山 知久
総長補佐（名古屋大学シンガポールキャンパス担当）	今泉 寛
総長補佐（GaNプロジェクト研究開発推進・半導体戦略担当）	須田 淳
総長補佐（総長戦略室担当）	長野 方星
副総長補佐（研究戦略・研究人材社会連携担当）	榎本 篤
副総長補佐（研究戦略・研究人材育成担当）	山口 茂弘
副総長補佐（全学技術センター・機器共用システム改革担当）	大槻 主税
副総長補佐（G30プログラム担当）	笠原 次郎
副総長補佐（情報基盤整備担当）	森 健策
副総長補佐（情報連携戦略担当）	青木 学聡
副総長補佐（BOOST担当）	井手 一郎
副総長補佐（教育の質保証・認証評価（教育関連部分）・教学IR担当）	安部有紀子
副総長補佐（国際連携（教育）担当）	原 進
副総長補佐（SPU担当）	園田 正
副総長補佐（国際戦略・国際広報担当）	リンリー マシュー
副総長補佐（国際連携（交流）担当）	井上 直子
副総長補佐（計画・評価担当）	中村 光
副総長補佐（計画・評価担当）	邊見 久
副総長補佐（産学官共創（情報系他）担当）	松田 圭悟
副総長補佐（産学官共創（工学系）担当）	宇佐美徳隆
副総長補佐（入試・高大連携担当）	石井 秀司
副総長補佐（キャリア支援担当）	土井 康裕
副総長補佐（男女共同参画・多様性担当）	山崎真理子
副総長補佐（多様性（障害者）担当）	工藤 晋平
副総長補佐（人権担当）	高橋 祐介
副総長補佐（人権担当）	池田 素子
副総長補佐（人権担当）	福澤 直樹

東海国立大学機構

役員等

機構長	松尾 清一
大学総括理事・副機構長（岐阜大学長）	吉田 和弘
大学総括理事・副機構長（名古屋大学総長）	杉山 直
理事	リム リーフ
理事	永田 雅子
理事	木村 彰吾
理事・事務局長	寺門 成真
理事	鈴木 武*
理事	松川 禮子*
監事	西田 裕**
監事	中谷 聡子*
監事	山田 英脩*
副理事（岐阜大学医学部附属病院長）	清水 雅仁
副理事（名古屋大学医学部附属病院長）	丸山 彰一
機構長補佐	王 志剛
機構長補佐	大藪 千穂
機構長補佐	神原 信志
機構長補佐	杉山 誠
機構長補佐	益子 典文
機構長補佐	秋山 治彦
機構長補佐	門松 健治
機構長補佐	寺崎 一郎
機構長補佐	山中 宏二
機構長補佐	周藤 芳幸
機構長補佐	小橋 眞
機構長補佐	加藤久美子
機構長補佐	矢野 昌浩
参与	上月 正博*
参与	武田修三郎*
参与	星屋 秀幸*
参与	加藤 智子*
参与	財満 鎮明*
参事	木全 誠一*

注　＊は学外非常勤。＊は学外。

教育研究評議会評議員

機構長	松尾 清一
総長	杉山 直
総括副総長	門松 健治
理事（副総長）	木村 彰吾
副総長	寺崎 一郎
人文学研究科長	星野 幸代
教育発達科学研究科長	服部 美奈
法学研究科長	横溝 大
経済学研究科長	花園 誠
情報学研究科長	石川 佳治
理学研究科長	田中健太郎
医学系研究科長	勝野 雅央
工学研究科長	鈴木 達也
生命農学研究科長	中國 幹生
国際開発研究科長	島田 弦
多元数理科学研究科長	大平 徹
環境学研究科長	谷川 寛樹
創薬科学研究科長	山本 芳彦
教養教育院長	北 栄輔
高等研究院長	榊原 均
環境医学研究所長	林 良敬
未来材料・システム研究所長	内山 知実
宇宙地球環境研究所長	堀川 和夫
医学部附属病院長	丸山 彰一
ジェンダーダイバーシティセンター長	山崎真理子
総合保健体育科学センター長	石田 浩司
連合I群選出評議員（教育基盤連携本部）	加藤 真紀
連合II群選出評議員（情報連携推進部長）	森 健策
評議会選出評議員	池田 素子
評議会選出評議員	河野 莊子
評議会選出評議員	竹本さやか
評議会選出評議員	本田 育美
評議会選出評議員	宮地 朝子
評議会選出評議員	山本 英子
評議会選出評議員	王 謙

トヨタ自動車株式会社 相談役	内山田 竹志
学校法人トヨタ学園監事・東邦瓦斯株式会社社外取締役 等	浜田 道代
科学技術振興機構社会技術研究開発センター長、	日比谷潤子
国際基督教大学名誉教授	
ソフトバンク株式会社代表取締役 社長執行役員 CEO	宮川 潤一
株式会社十六銀行 特別顧問	村瀬 幸雄
フライブルク大学学長	Kerstin Krieglstein
東海国立大学機構大学総括理事・副機構長、岐阜大学長	吉田 和弘
東海国立大学機構大学総括理事・副機構長、名古屋大学総長	杉山 直
東海国立大学機構長	松尾 清一

運営方針会議構成員

トヨタ自動車株式会社 相談役	内山田 竹志
学校法人トヨタ学園監事・東邦瓦斯株式会社社外取締役 等	浜田 道代
科学技術振興機構社会技術研究開発センター長、	日比谷潤子
国際基督教大学名誉教授	
ソフトバンク株式会社代表取締役 社長執行役員 CEO	宮川 潤一
株式会社十六銀行 特別顧問	村瀬 幸雄
フライブルク大学学長	Kerstin Krieglstein
東海国立大学機構大学総括理事・副機構長、岐阜大学長	吉田 和弘
東海国立大学機構大学総括理事・副機構長、名古屋大学総長	杉山 直
東海国立大学機構長	松尾 清一

経営協議会委員

► 外部委員	令和8年5月1日現在
岐阜県副知事	足立 葉子
三井物産株式会社社外取締役	石黒不二代
株式会社十八楼 取締役女将	伊藤 知子
岐阜薬科大学名誉教授・元学長	稲垣 隆司
愛知県副知事	江口 幸雄
株式会社ナベヤ 代表取締役社長	岡本 知彦
日本アイ・ピー・エム株式会社 名誉相談役	橋本 孝之
東京海上日動火災保険株式会社 相談役	広瀬 伸一

（五十音順）

機構長	松尾 清一
大学総括理事・副機構長	吉田 和弘
大学総括理事・副機構長	杉山 直
理事	リム リーフ
理事	永田 雅子
理事	木村 彰吾
機構長補佐	杉山 誠

部局長等

名古屋大学	人文学研究科長・文学部長 附属人類文化遺産デフスト学研究センター長 附属超域文化社会センター長 附属人文知共創センター長 教育発達科学研究科長・教育学部長 附属中学校長 附属高等学校長 法学研究科・法学部 経済学研究科・経済学部 情報学研究科・情報学部 理学研究科・理学部 医学系研究科・医学部 工学研究科・工学部 生命農学研究科・農学部 国際開発研究科 多元数理科学研究科 環境学研究科 創薬科学研究科 教養教育院 博士課程教育推進機構 アジアサテライトキャンパス学院 環境医学研究所 未来材料・システム研究所 宇宙地球環境研究所	星野 幸代 周藤 芳幸 河西 秀哉 中村 靖子 服部 美奈 高井 次郎 高井 次郎 横溝 大 花園 誠 清水 克俊 石川 佳治 高田 広章 勝岡田 弘 北 栄輔 田中健太郎 五島 剛太 金田 英宏 木下 尊 勝野 雅央 久場 博司 近藤 豊 丸山 彰一 鈴木 達也 野々村 拓 鳥本 司 中國 幹生 山本 一清 西島 謙一 島田 弦 大平 徹 谷川 寛樹 渡辺 俊樹 加藤 博和 山本 芳彦 北 栄輔 寺崎 一郎 山内 章 林 良敬 益谷 央豪 内山 知実 天野 浩 栗原 真人 堀川 和夫 大塚 雄一 三好 由純 高橋 暢宏 柴田 理尋 打田 直行 斎藤 進 北 栄輔 北原 宏 吉田 英一 金子 一史 村上 正子 榊原 均 高嶋 圭史 齋谷 威 大嶋 篤典 池田 匡志 古村 彰記 山崎真理子 大野 哲靖 大野 哲靖 井手 一郎 門松 健治 佐藤ちひろ 宇治原 徹 富田 賢吾 社本 英二 寺崎 一郎 加藤久美子 森 健策 石田 浩司 山中 宏二 榊原 均 吉村 崇 飯橋 徹 山中 宏二 小橋 眞 河口 信夫 長谷川泰久 齋藤 永宏 清中 茂樹 丸山 彰一 則永 行庸
人文学研究科・文学部	人文学研究科長・文学部長 附属人類文化遺産デフスト学研究センター長 附属超域文化社会センター長 附属人文知共創センター長 教育発達科学研究科長・教育学部長 附属中学校長 附属高等学校長 法学研究科・法学部 経済学研究科・経済学部 情報学研究科・情報学部 理学研究科・理学部 医学系研究科・医学部 工学研究科・工学部 生命農学研究科・農学部 国際開発研究科 多元数理科学研究科 環境学研究科 創薬科学研究科 教養教育院 博士課程教育推進機構 アジアサテライトキャンパス学院 環境医学研究所 未来材料・システム研究所 宇宙地球環境研究所	星野 幸代 周藤 芳幸 河西 秀哉 中村 靖子 服部 美奈 高井 次郎 高井 次郎 横溝 大 花園 誠 清水 克俊 石川 佳治 高田 広章 勝岡田 弘 北 栄輔 田中健太郎 五島 剛太 金田 英宏 木下 尊 勝野 雅央 久場 博司 近藤 豊 丸山 彰一 鈴木 達也 野々村 拓 鳥本 司 中國 幹生 山本 一清 西島 謙一 島田 弦 大平 徹 谷川 寛樹 渡辺 俊樹 加藤 博和 山本 芳彦 北 栄輔 寺崎 一郎 山内 章 林 良敬 益谷 央豪 内山 知実 天野 浩 栗原 真人 堀川 和夫 大塚 雄一 三好 由純 高橋 暢宏 柴田 理尋 打田 直行 斎藤 進 北 栄輔 北原 宏 吉田 英一 金子 一史 村上 正子 榊原 均 高嶋 圭史 齋谷 威 大嶋 篤典 池田 匡志 古村 彰記 山崎真理子 大野 哲靖 大野 哲靖 井手 一郎 門松 健治 佐藤ちひろ 宇治原 徹 富田 賢吾 社本 英二 寺崎 一郎 加藤久美子 森 健策 石田 浩司 山中 宏二 榊原 均 吉村 崇 飯橋 徹 山中 宏二 小橋 眞 河口 信夫 長谷川泰久 齋藤 永宏 清中 茂樹 丸山 彰一 則永 行庸
教育発達科学研究科・教育学部	教育発達科学研究科長・教育学部長 附属中学校長 附属高等学校長 法学研究科・法学部 経済学研究科・経済学部 情報学研究科・情報学部 理学研究科・理学部 医学系研究科・医学部 工学研究科・工学部 生命農学研究科・農学部 国際開発研究科 多元数理科学研究科 環境学研究科 創薬科学研究科 教養教育院 博士課程教育推進機構 アジアサテライトキャンパス学院 環境医学研究所 未来材料・システム研究所 宇宙地球環境研究所	星野 幸代 周藤 芳幸 河西 秀哉 中村 靖子 服部 美奈 高井 次郎 高井 次郎 横溝 大 花園 誠 清水 克俊 石川 佳治 高田 広章 勝岡田 弘 北 栄輔 田中健太郎 五島 剛太 金田 英宏 木下 尊 勝野 雅央 久場 博司 近藤 豊 丸山 彰一 鈴木 達也 野々村 拓 鳥本 司 中國 幹生 山本 一清 西島 謙一 島田 弦 大平 徹 谷川 寛樹 渡辺 俊樹 加藤 博和 山本 芳彦 北 栄輔 寺崎 一郎 山内 章 林 良敬 益谷 央豪 内山 知実 天野 浩 栗原 真人 堀川 和夫 大塚 雄一 三好 由純 高橋 暢宏 柴田 理尋 打田 直行 斎藤 進 北 栄輔 北原 宏 吉田 英一 金子 一史 村上 正子 榊原 均 高嶋 圭史 齋谷 威 大嶋 篤典 池田 匡志 古村 彰記 山崎真理子 大野 哲靖 大野 哲靖 井手 一郎 門松 健治 佐藤ちひろ 宇治原 徹 富田 賢吾 社本 英二 寺崎 一郎 加藤久美子 森 健策 石田 浩司 山中 宏二 榊原 均 吉村 崇 飯橋 徹 山中 宏二 小橋 眞 河口 信夫 長谷川泰久 齋藤 永宏 清中 茂樹 丸山 彰一 則永 行庸
法学研究科・法学部	法学研究科長・法学部長 経済学研究科長・経済学部長 附属国際経済政策研究センター長 情報学研究科長・情報学部長 附属組込みシステム研究センター長 附属グローバルメディア研究センター長 附属価値創造教育研究センター長 理学研究科長・理学部長 附属国海美験所長 附属南半球宇宙観測研究センター長 附属ニューロサイエンス研究センター長 医学系研究科長・医学部長 附属医学教育研究支援センター長 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター長 工学研究科長・工学部長 附属フライト総合工学教育研究センター長 附属クロスリエン지니어リング研究センター長 生命農学研究科長・農学部長 附属フィールド科学教育研究センター長 附属鳥類バイオサイエンス研究センター長 国際開発研究科長 多元数理科学研究科長 環境学研究科長 附属地震火山研究センター長 附属持続的共発展教育研究センター長 創薬科学研究科長 教養教育院長 博士課程教育推進機構長 アジアサテライトキャンパス学院 環境医学研究所長 附属疾患ゲノム医科学研究センター長 未来材料・システム研究所長 附属未来エレクトロニクス集積研究センター長 附属高度計測技術実践センター長 宇宙地球環境研究所長 附属国際連携研究センター長 附属統合データサイエンスセンター長 附属飛翔体観測推進センター長 アイトーパ総合センター長 遠伝実験施設長 物質科学国際研究センター長 高等教育研究センター長 農学国際教育研究センター長 博物館長 心の発達支援研究実践センター長 法政国際教育協力研究センター長 生物機能開発利用研究センター長 シノクロトロン光研究センター長 滅亡連携研究センター長 細胞生理学研究センター長 脳とこころの研究センター長 ナショナルコンボジットセンター長 ジェンダーダイバーシティセンター長 低温プラズマ科学研究センター長 数理・データ科学・人工知能教育研究センター長 糖鎖生命コア研究所統括所長 糖鎖生命コア研究所長 ディープテック・シリカインノベーションセンター長 安全科学教育研究センター長 X-Manufacturing研究教育センター長 言語教育センター長 デジタル人文社会科学研究推進センター長 情報基盤センター長 総合保健体育科学センター長 国際高等研究機構長 高等研究院長 トランスフォーマティブ生命分子研究所長 素粒子宇宙起源研究所長 学際総合物質科学研究機構長 未来社会創造機構長 モビリティ社会科学研究所長 ナノライフシステム研究所長 マテリアルインノベーション研究所長 量子化学イノベーション研究所長 予防早期疾患創成センター長 脱炭素社会創造センター長 グローバル・マルチキャンパス推進機構 全学技術センター 学術研究・産学官連携推進本部長 情報連携推進本部長 環境安全衛生推進本部長 防災推進本部長 キャンパスマネジメント推進本部長 教育基盤連携本部長 附属図書館長 学生支援本部長 施設・環境計画推進室長 核燃料管理施設長 ハラスメント相談センター長 災害対策室長 PhD登龍門推進室長 動物実験支援センター長 障害者支援室長 IR戦略室長 Development Office室長 Development Office基金担当課長 総長戦略本部長	星野 幸代 周藤 芳幸 河西 秀哉 中村 靖子 服部 美奈 高井 次郎 高井 次郎 横溝 大 花園 誠 清水 克俊 石川 佳治 高田 広章 勝岡田 弘 北 栄輔 田中健太郎 五島 剛太 金田 英宏 木下 尊 勝野 雅央 久場 博司 近藤 豊 丸山 彰一 鈴木 達也 野々村 拓 鳥本 司 中國 幹生 山本 一清 西島 謙一 島田 弦 大平 徹 谷川 寛樹 渡辺 俊樹 加藤 博和 山本 芳彦 北 栄輔 寺崎 一郎 山内 章 林 良敬 益谷 央豪 内山 知実 天野 浩 栗原 真人 堀川 和夫 大塚 雄一 三好 由純 高橋 暢宏 柴田 理尋 打田 直行 斎藤 進 北 栄輔 北原 宏 吉田 英一 金子 一史 村上 正子 榊原 均 高嶋 圭史 齋谷 威 大嶋 篤典 池田 匡志 古村 彰記 山崎真理子 大野 哲靖 大野 哲靖 井手 一郎 門松 健治 佐藤ちひろ 宇治原 徹 富田 賢吾 社本 英二 寺崎 一郎 加藤久美子 森 健策 石田 浩司 山中 宏二 榊原 均 吉村 崇 飯橋 徹 山中 宏二 小橋 眞 河口 信夫 長谷川泰久 齋藤 永宏 清中 茂樹 丸山 彰一 則永 行庸
経済学研究科・経済学部	経済学研究科長・経済学部長 附属国際経済政策研究センター長 情報学研究科長・情報学部長 附属組込みシステム研究センター長 附属グローバルメディア研究センター長 附属価値創造教育研究センター長 理学研究科長・理学部長 附属国海美験所長 附属南半球宇宙観測研究センター長 附属ニューロサイエンス研究センター長 医学系研究科長・医学部長 附属医学教育研究支援センター長 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター長 工学研究科長・工学部長 附属フライト総合工学教育研究センター長 附属クロスリエン지니어リング研究センター長 生命農学研究科長・農学部長 附属フィールド科学教育研究センター長 附属鳥類バイオサイエンス研究センター長 国際開発研究科長 多元数理科学研究科長 環境学研究科長 附属地震火山研究センター長 附属持続的共発展教育研究センター長 創薬科学研究科長 教養教育院長 博士課程教育推進機構長 アジアサテライトキャンパス学院 環境医学研究所長 附属疾患ゲノム医科学研究センター長 未来材料・システム研究所長 附属未来エレクトロニクス集積研究センター長 附属高度計測技術実践センター長 宇宙地球環境研究所長 附属国際連携研究センター長 附属統合データサイエンスセンター長 附属飛翔体観測推進センター長 アイトーパ総合センター長 遠伝実験施設長 物質科学国際研究センター長 高等教育研究センター長 農学国際教育研究センター長 博物館長 心の発達支援研究実践センター長 法政国際教育協力研究センター長 生物機能開発利用研究センター長 シノクロトロン光研究センター長 滅亡連携研究センター長 細胞生理学研究センター長 脳とこころの研究センター長 ナショナルコンボジットセンター長 ジェンダーダイバーシティセンター長 低温プラズマ科学研究センター長 数理・データ科学・人工知能教育研究センター長 糖鎖生命コア研究所統括所長 糖鎖生命コア研究所長 ディープテック・シリカインノベーションセンター長 安全科学教育研究センター長 X-Manufacturing研究教育センター長 言語教育センター長 デジタル人文社会科学研究推進センター長 情報基盤センター長 総合保健体育科学センター長 国際高等研究機構長 高等研究院長 トランスフォーマティブ生命分子研究所長 素粒子宇宙起源研究所長 学際総合物質科学研究機構長 未来社会創造機構長 モビリティ社会科学研究所長 ナノライフシステム研究所長 マテリアルインノベーション研究所長 量子化学イノベーション研究所長 予防早期疾患創成センター長 脱炭素社会創造センター長 グローバル・マルチキャンパス推進機構 全学技術センター 学術研究・産学官連携推進本部長 情報連携推進本部長 環境安全衛生推進本部長 防災推進本部長 キャンパスマネジメント推進本部長 教育基盤連携本部長 附属図書館長 学生支援本部長 施設・環境計画推進室長 核燃料管理施設長 ハラスメント相談センター長 災害対策室長 PhD登龍門推進室長 動物実験支援センター長 障害者支援室長 IR戦略室長 Development Office室長 Development Office基金担当課長 総長戦略本部長	星野 幸代 周藤 芳幸 河西 秀哉 中村 靖子 服部 美奈 高井 次郎 高井 次郎 横溝 大 花園 誠 清水 克俊 石川 佳治 高田 広章 勝岡田 弘 北 栄輔 田中健太郎 五島 剛太 金田 英宏 木下 尊 勝野 雅央 久場 博司 近藤 豊 丸山 彰一 鈴木 達也 野々村 拓 鳥本 司 中國 幹生 山本 一清 西島 謙一 島田 弦 大平 徹 谷川 寛樹 渡辺 俊樹 加藤 博和 山本 芳彦 北 栄輔 寺崎 一郎 山内 章 林 良敬 益谷 央豪 内山 知実 天野 浩 栗原 真人 堀川 和夫 大塚 雄一 三好 由純 高橋 暢宏 柴田 理尋 打田 直行 斎藤 進 北 栄輔 北原 宏 吉田 英一 金子 一史 村上 正子 榊原 均 高嶋 圭史 齋谷 威 大嶋 篤典 池田 匡志 古村 彰記 山崎真理子 大野 哲靖 大野 哲靖 井手 一郎 門松 健治 佐藤ちひろ 宇治原 徹 富田 賢吾 社本 英二 寺崎 一郎 加藤久美子 森 健策 石田 浩司 山中 宏二 榊原 均 吉村 崇 飯橋 徹 山中 宏二 小橋 眞 河口 信夫 長谷川泰久 齋藤 永宏 清中 茂樹 丸山 彰一 則永 行庸
情報学研究科・情報学部	情報学研究科長・情報学部長 附属組込みシステム研究センター長 附属グローバルメディア研究センター長 附属価値創造教育研究センター長 理学研究科長・理学部長 附属国海美験所長 附属南半球宇宙観測研究センター長 附属ニューロサイエンス研究センター長 医学系研究科長・医学部長 附属医学教育研究支援センター長 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター長 工学研究科長・工学部長 附属フライト総合工学教育研究センター長 附属クロスリエン지니어リング研究センター長 生命農学研究科長・農学部長 附属フィールド科学教育研究センター長 附属鳥類バイオサイエンス研究センター長 国際開発研究科長 多元数理科学研究科長 環境学研究科長 附属地震火山研究センター長 附属持続的共発展教育研究センター長 創薬科学研究科長 教養教育院長 博士課程教育推進機構長 アジアサテライトキャンパス学院 環境医学研究所長 附属疾患ゲノム医科学研究センター長 未来材料・システム研究所長 附属未来エレクトロニクス集積研究センター長 附属高度計測技術実践センター長 宇宙地球環境研究所長 附属国際連携研究センター長 附属統合データサイエンスセンター長 附属飛翔体観測推進センター長 アイトーパ総合センター長 遠伝実験施設長 物質科学国際研究センター長 高等教育研究センター長 農学国際教育研究センター長 博物館長 心の発達支援研究実践センター長 法政国際教育協力研究センター長 生物機能開発利用研究センター長 シノクロトロン光研究センター長 滅亡連携研究センター長 細胞生理学研究センター長 脳とこころの研究センター長 ナショナルコンボジットセンター長 ジェンダーダイバーシティセンター長 低温プラズマ科学研究センター長 数理・データ科学・人工知能教育研究センター長 糖鎖生命コア研究所統括所長 糖鎖生命コア研究所長 ディープテック・シリカインノベーションセンター長 安全科学教育研究センター長 X-Manufacturing研究教育センター長 言語教育センター長 デジタル人文社会科学研究推進センター長 情報基盤センター長 総合保健体育科学センター長 国際高等研究機構長 高等研究院長 トランスフォーマティブ生命分子研究所長 素粒子宇宙起源研究所長 学際総合物質科学研究機構長 未来社会創造機構長 モビリティ社会科学研究所長 ナノライフシステム研究所長 マテリアルインノベーション研究所長 量子化学イノベーション研究所長 予防早期疾患創成センター長 脱炭素社会創造センター長 グローバル・マルチキャンパス推進機構 全学技術センター 学術研究・産学官連携推進本部長 情報連携推進本部長 環境安全衛生推進本部長 防災推進本部長 キャンパスマネジメント推進本部長 教育基盤連携本部長 附属図書館長 学生支援本部長 施設・環境計画推進室長 核燃料管理施設長 ハラスメント相談センター長 災害対策室長 PhD登龍門推進室長 動物実験支援センター長 障害者支援室長 IR戦略室長 Development Office室長 Development Office基金担当課長 総長戦略本部長	星野 幸代 周藤 芳幸 河西 秀哉 中村 靖子 服部 美奈 高井 次郎 高井 次郎 横溝 大 花園 誠 清水 克俊 石川 佳治 高田 広章 勝岡田 弘 北 栄輔 田中健太郎 五島 剛太 金田 英宏 木下 尊 勝野 雅央 久場 博司 近藤 豊 丸山 彰一 鈴木 達也 野々村 拓 鳥本 司 中國 幹生 山本 一清 西島 謙一 島田 弦 大平 徹 谷川 寛樹 渡辺 俊樹 加藤 博和 山本 芳彦 北 栄輔 寺崎 一郎 山内 章 林 良敬 益谷 央豪 内山 知実 天野 浩 栗原 真人 堀川 和夫 大塚 雄一 三好 由純 高橋 暢宏 柴田 理尋 打田 直行 斎藤 進 北 栄輔 北原 宏 吉田 英一 金子 一史 村上 正子 榊原 均 高嶋 圭史 齋谷 威 大嶋 篤典 池田 匡志 古村 彰記 山崎真理子 大野 哲靖 大野 哲靖 井手 一郎 門松 健治 佐藤ちひろ 宇治原 徹 富田 賢吾 社本 英二 寺崎 一郎 加藤久美子 森 健策 石田 浩司 山中 宏二 榊原 均 吉村 崇 飯橋 徹 山中 宏二 小橋 眞 河口 信夫 長谷川泰久 齋藤 永宏 清中 茂樹 丸山 彰一 則永 行庸
理学研究科・理学部	理学研究科長・理学部長 附属国海美験所長 附属南半球宇宙観測研究センター長 附属ニューロサイエンス研究センター長 医学系研究科長・医学部長 附属医学教育研究支援センター長 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター長 工学研究科長・工学部長 附属フライト総合工学教育研究センター長 附属クロスリエン지니어リング研究センター長 生命農学研究科長・農学部長 附属フィールド科学教育研究センター長 附属鳥類バイオサイエンス研究センター長 国際開発研究科長 多元数理科学研究科長 環境学研究科長 附属地震火山研究センター長 附属持続的共発展教育研究センター長 創薬科学研究科長 教養教育院長 博士課程教育推進機構長 アジアサテライトキャンパス学院 環境医学研究所長 附属疾患ゲノム医科学研究センター長 未来材料・システム研究所長 附属未来エレクトロニクス集積研究センター長 附属高度計測技術実践センター長 宇宙地球環境研究所長 附属国際連携研究センター長 附属統合データサイエンスセンター長 附属飛翔体観測推進センター長 アイトーパ総合センター長 遠伝実験施設長 物質科学国際研究センター長 高等教育研究センター長 農学国際教育研究センター長 博物館長 心の発達支援研究実践センター長 法政国際教育協力研究センター長 生物機能開発利用研究センター長 シノクロトロン光研究センター長 滅亡連携研究センター長 細胞生理学研究センター長 脳とこころの研究センター長 ナショナルコンボジットセンター長 ジェンダーダイバーシティセンター長 低温プラズマ科学研究センター長 数理・データ科学・人工知能教育研究センター長 糖鎖生命コア研究所統括所長 糖鎖生命コア研究所長 ディープテック・シリカインノベーションセンター長 安全科学教育研究センター長 X-Manufacturing研究教育センター長 言語教育センター長 デジタル人文社会科学研究推進センター長 情報基盤センター長 総合保健体育科学センター長 国際高等研究機構長 高等研究院長 トランスフォーマティブ生命分子研究所長 素粒子宇宙起源研究所長 学際総合物質科学研究機構長 未来社会創造機構長 モビリティ社会科学研究所長 ナノライフシステム研究所長 マテリアルインノベーション研究所長 量子化学イノベーション研究所長 予防早期疾患創成センター長 脱炭素社会創造センター長 グローバル・マルチキャンパス推進機構 全学技術センター 学術研究・産学官連携推進本部長 情報連携推進本部長 環境安全衛生推進本部長 防災推進本部長 キャンパスマネジメント推進本部長 教育基盤連携本部長 附属図書館長 学生支援本部長 施設・環境計画推進室長 核燃料管理施設長 ハラスメント相談センター長 災害対策室長 PhD登龍門推進室長 動物実験支援センター長 障害者支援室長 IR戦略室長 Development Office室長 Development Office基金担当課長 総長戦略本部長	星野 幸代 周藤 芳幸 河西 秀哉 中村 靖子 服部 美奈 高井 次郎 高井 次郎 横溝 大 花園 誠 清水 克俊 石川 佳治 高田 広章 勝岡田 弘 北 栄輔 田中健太郎 五島 剛太 金田 英宏 木下 尊 勝野 雅央 久場 博司 近藤 豊 丸山 彰一 鈴木 達也 野々村 拓 鳥本 司 中國 幹生 山本 一清 西島 謙一 島田 弦 大平 徹 谷川 寛樹 渡辺 俊樹 加藤 博和 山本 芳彦 北 栄輔 寺崎 一郎 山内 章 林 良敬 益谷 央豪 内山 知実 天野 浩 栗原 真人 堀川 和夫 大塚 雄一 三好 由純 高橋 暢宏 柴田 理尋 打田 直行 斎藤 進 北 栄輔 北原 宏 吉田 英一 金子 一史 村上 正子 榊原 均 高嶋 圭史 齋谷 威 大嶋 篤典 池田 匡志 古村 彰記 山崎真理子 大野 哲靖 大野 哲靖 井手 一郎 門松 健治 佐藤ちひろ 宇治原 徹 富田 賢吾 社本 英二 寺崎 一郎 加藤久美子 森 健策 石田 浩司 山中 宏二 榊原 均 吉村 崇 飯橋 徹 山中 宏二 小橋 眞 河口 信夫 長谷川泰久 齋藤 永宏 清中 茂樹 丸山 彰一 則永 行庸
医学系研究科・医学部	医学系研究科長・医学部長 附属医学教育研究支援センター長 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター長 工学研究科長・工学部長 附属フライト総合工学教育研究センター長 附属クロスリエン지니어リング研究センター長 生命農学研究科長・農学部長 附属フィールド科学教育研究センター長 附属鳥類バイオサイエンス研究センター長 国際開発研究科長 多元数理科学研究科長 環境学研究科長 附属地震火山研究センター長 附属持続的共発展教育研究センター長 創薬科学研究科長 教養教育院長 博士課程教育推進機構長 アジアサテライトキャンパス学院 環境医学研究所長 附属疾患ゲノム医科学研究センター長 未来材料・システム研究所長 附属未来エレクトロニクス集積研究センター長 附属高度計測技術実践センター長 宇宙地球環境研究所長 附属国際連携研究センター長 附属統合データサイエンスセンター長 附属飛翔体観測推進センター長 アイトーパ総合センター長 遠伝実験施設長 物質科学国際研究センター長 高等教育研究センター長 農学国際教育研究センター長 博物館長 心の発達支援研究実践センター長 法政国際教育協力研究センター長 生物機能開発利用研究センター長 シノクロトロン光研究センター長 滅亡連携研究センター長 細胞生理学研究センター長 脳とこころの研究センター長 ナショナルコンボジットセンター長 ジェンダーダイバーシティセンター長 低温プラズマ科学研究センター長 数理・データ科学・人工知能教育研究センター長 糖鎖生命コア研究所統括所長 糖鎖生命コア研究所長 ディープテック・シリカインノベーションセンター長 安全科学教育研究センター長 X-Manufacturing研究教育センター長 言語教育センター長 デジタル人文社会科学研究推進センター長 情報基盤センター長 総合保健体育科学センター長 国際高等研究機構長 高等研究院長 トランスフォーマティブ生命分子研究所長 素粒子宇宙起源研究所長 学際総合物質科学研究機構長 未来社会創造機構長 モビリティ社会科学研究所長 ナノライフシステム研究所長 マテリアルインノベーション研究所長 量子化学イノベーション研究所長 予防早期疾患創成センター長 脱炭素社会創造センター長 グローバル・マルチキャンパス推進機構 全学技術センター 学術研究・産学官連携推進本部長 情報連携推進本部長 環境安全衛生推進本部長 防災推進本部長 キャンパスマネジメント推進本部長 教育基盤連携本部長 附属図書館長 学生支援本部長 施設・環境計画推進室長 核燃料管理施設長 ハラスメント相談センター長 災害対策室長 PhD登龍門推進室長 動物実験支援センター長 障害者支援室長 IR戦略室長 Development Office室長 Development Office基金担当課長 総長戦略本部長	星野 幸代 周藤 芳幸 河西 秀哉 中村 靖子 服部 美奈 高井 次郎 高井 次郎 横溝 大 花園 誠 清水 克俊 石川 佳治 高田 広章 勝岡田 弘 北 栄輔 田中健太郎 五島 剛太 金田 英宏 木下 尊 勝野 雅央 久場 博司 近藤 豊 丸山 彰一 鈴木 達也 野々村 拓 鳥本 司 中國 幹生 山本 一清 西島 謙一 島田 弦 大平 徹 谷川 寛樹 渡辺 俊樹 加藤 博和 山本 芳彦 北 栄輔 寺崎 一郎 山内 章 林 良敬 益谷 央豪 内山 知実 天野 浩 栗原 真人 堀川 和夫 大塚 雄一 三好 由純 高橋 暢宏 柴田 理尋 打田 直行 斎藤 進 北 栄輔 北原 宏 吉田 英一 金子 一史 村上 正子 榊原 均 高嶋 圭史 齋谷 威 大嶋 篤典 池田 匡志 古村 彰記 山崎真理子 大野 哲靖 大野 哲靖 井手 一郎 門松 健治 佐藤ちひろ 宇治原 徹 富田 賢吾 社本 英二 寺崎 一郎 加藤久美子 森 健策 石田 浩司 山中 宏二 榊原 均 吉村 崇 飯橋 徹 山中 宏二 小橋 眞 河口 信夫 長谷川泰久 齋藤 永宏 清中 茂樹 丸山 彰一 則永 行庸
工学研究科・工学部	工学研究科長・工学部長 附属フライト総合工学教育研究センター長 附属クロスリエン지니어リング研究センター長 生命農学研究科長・農学部長 附属フィールド科学教育研究センター長 附属鳥類バイオサイエンス研究センター長 国際開発研究科長 多元数理科学研究科長 環境学研究科長 附属地震火山研究センター長 附属持続的共発展教育研究センター長 創薬科学研究科長 教養教育院長 博士課程教育推進機構長 アジアサテライトキャンパス学院 環境医学研究所長 附属疾患ゲノム医科学研究センター長 未来材料・システム研究所長 附属未来エレクトロニクス集積研究センター長 附属高度計測技術実践センター長 宇宙地球環境研究所長 附属国際連携研究センター長 附属統合データサイエンスセンター長 附属飛翔体観測推進センター長 アイトーパ総合センター長 遠伝実験施設長 物質科学国際研究センター長 高等教育研究センター長 農学国際教育研究センター長 博物館長 心の発達支援研究実践センター長 法政国際教育協力研究センター長 生物機能開発利用研究センター長 シノクロトロン光研究センター長 滅亡連携研究センター長 細胞生理学研究センター長 脳とこころの研究センター長 ナショナルコンボジットセンター長 ジェンダーダイバーシティセンター長 低温プラズマ科学研究センター長 数理・データ科学・人工知能教育研究センター長 糖鎖生命コア研究所統括所長 糖鎖生命コア研究所長 ディープテック・シリカインノベーションセンター長 安全科学教育研究センター長 X-Manufacturing研究教育センター長 言語教育センター長 デジタル人文社会科学研究推進センター長 情報基盤センター長 総合保健体育科学センター長 国際高等研究機構長 高等研究院長 トランスフォーマティブ生命分子研究所長 素粒子宇宙起源研究所長 学際総合物質科学研究機構長 未来社会創造機構長 モビリティ社会科学研究所長 ナノライフシステム研究所長 マテリアルインノベーション研究所長 量子化学イノベーション研究所長 予防早期疾患創成センター長 脱炭素社会創造センター長 グローバル・マルチキャンパス推進機構 全学技術センター 学術研究・産学官連携推進本部長 情報連携推進本部長 環境安全衛生推進本部長 防災推進本部長 キャンパスマネジメント推進本部長 教育基盤連携本部長 附属図書館長 学生支援本部長 施設・環境計画推進室長 核燃料管理施設長 ハラスメント相談センター長 災害対策室長 PhD登龍門推進室長 動物実験支援センター長 障害者支援室長 IR戦略室長 Development Office室長 Development Office基金担当課長 総長戦略本部長	星野 幸代 周藤 芳幸 河西 秀哉 中村 靖子 服部 美奈 高井 次郎 高井 次郎 横溝 大 花園 誠 清水 克俊 石川 佳治 高田 広章 勝岡田 弘 北 栄輔 田中健太郎 五島 剛太 金田 英宏 木下 尊 勝野 雅央 久場 博司 近藤 豊 丸山 彰一 鈴木 達也 野々村 拓 鳥本 司 中國 幹生 山本 一清 西島 謙一 島田 弦 大平 徹 谷川 寛樹 渡辺 俊樹 加藤 博和 山本 芳彦 北 栄輔 寺崎 一郎 山内 章 林 良敬 益谷 央豪 内山 知実 天野 浩 栗原 真人 堀川 和夫 大塚 雄一 三好 由純 高橋 暢宏 柴田 理尋 打田 直行 斎藤 進 北 栄輔 北原 宏 吉田 英一 金子 一史 村上 正子 榊原 均 高嶋 圭史 齋谷 威 大嶋 篤典 池田 匡志 古村 彰記 山崎真理子 大野 哲靖 大野 哲靖 井手 一郎 門松 健治 佐藤ちひろ 宇治原 徹 富田 賢吾 社本 英二 寺崎 一郎 加藤久美子 森 健策 石田 浩司 山中 宏二 榊原 均 吉村 崇 飯橋 徹 山中 宏二 小橋 眞 河口 信夫 長谷川泰久 齋藤 永宏 清中 茂樹 丸山 彰一 則永 行庸
生命農学研究科・農学部	生命農学研究科長・農学部長 附属フィールド科学教育研究センター長 附属鳥類バイオサイエンス研究センター長 国際開発研究科長 多元数理科学研究科長 環境学研究科長 附属地震火山研究センター長 附属持続的共発展教育研究センター長 創薬科学研究科長 教養教育院長 博士課程教育推進機構長 アジアサテライトキャンパス学院 環境医学研究所長 附属疾患ゲノム医科学研究センター長 未来材料・システム研究所長 附属未来エレクトロニクス集積研究センター長 附属高度計測技術実践センター長 宇宙地球環境研究所長 附属国際連携研究センター長 附属統合データサイエンスセンター長 附属飛翔体観測推進センター長 アイトーパ総合センター長 遠伝実験施設長 物質科学国際研究センター長 高等教育研究センター長 農学国際教育研究センター長 博物館長 心の発達支援研究実践センター長 法政国際教育協力研究センター長 生物機能開発利用研究センター長 シノクロトロン光研究センター長 滅亡連携研究センター長 細胞生理学研究センター長 脳とこころの研究センター長 ナショナルコンボジットセンター長 ジェンダーダイバーシティセンター長 低温プラズマ科学研究センター長 数理・データ科学・人工知能教育研究センター長 糖鎖生命コア研究所統括所長 糖鎖生命コア研究所長 ディープテック・シリカインノベーションセンター長 安全科学教育研究センター長 X-Manufacturing研究教育センター長 言語教育センター長 デジタル人文社会科学研究推進センター長 情報基盤センター長 総合保健体育科学センター長 国際高等研究機構長 高等研究院長 トランスフォーマティブ生命分子研究所長 素粒子宇宙起源研究所長 学際総合物質科学研究機構長 未来社会創造機構長 モビリティ社会科学研究所長 ナノライフシステム研究所長 マテリアルインノベーション研究所長 量子化学イノベーション研究所長 予防早期疾患創成センター長 脱炭素社会創造センター長 グローバル・マルチキャンパス推進機構 全学技術センター 学術研究・産学官連携推進本部長 情報連携推進本部長 環境安全衛生推進本部長 防災推進本部長 キャンパスマネジメント推進本部長 教育基盤連携本部長 附属図書館長 学生支援本部長 施設・環境計画推進室長 核燃料管理施設長 ハラスメント相談センター長 災害対策室長 PhD登龍門推進室長 動物実験支援センター長 障害者支援室長 IR戦略室長 Development Office室長 Development Office基金担当課長 総長戦略本部長	星野 幸代 周藤 芳幸 河西 秀哉 中村 靖子 服部 美奈 高井 次郎 高井 次郎 横溝 大 花園 誠 清水 克俊 石川 佳治 高田 広章 勝岡田 弘 北 栄輔 田中健太郎 五島 剛太 金田 英宏 木下 尊 勝野 雅央 久場 博司 近藤 豊 丸山 彰一 鈴木 達也 野々村 拓 鳥本 司 中國 幹生 山本 一清 西島 謙一 島田 弦 大平 徹 谷川 寛樹 渡辺 俊樹 加藤 博和 山本 芳彦 北 栄輔 寺崎 一郎 山内 章 林 良敬 益谷 央豪 内山 知実 天野 浩 栗原 真人 堀川 和夫 大塚 雄一 三好 由純 高橋 暢宏 柴田 理尋 打田 直行 斎藤 進 北 栄輔 北原 宏 吉田 英一 金子 一史 村上 正子 榊原 均 高嶋 圭史 齋谷 威 大嶋 篤典 池田 匡志 古村 彰記 山崎真理子 大野 哲靖 大野 哲靖 井手 一郎 門松 健治 佐藤ちひろ 宇治原 徹 富田 賢吾 社本 英二 寺崎 一郎 加藤久美子 森 健策 石田 浩司 山中 宏二 榊原 均 吉村 崇 飯橋 徹 山中 宏二 小橋 眞 河口 信夫 長谷川泰久 齋藤 永宏 清中 茂樹 丸山 彰一 則永 行庸
国際開発研究科	国際開発研究科長 多元数理科学研究科長 環境学研究科長 附属地震火山研究センター長 附属持続的共発展教育研究センター長 創薬科学研究科長 教養教育院長 博士課程教育推進機構長 アジアサテライトキャンパス学院 環境医学研究所長 附属疾患ゲノム医科学研究センター長 未来材料・システム研究所長 附属未来エレクトロニクス集積研究センター長 附属高度計測技術実践センター長 宇宙地球環境研究所長 附属国際連携研究センター長 附属統合データサイエンスセンター長 附属飛翔体観測推進センター長 アイトーパ総合センター長 遠伝実験施設長 物質科学国際研究センター長 高等教育研究センター長 農学国際教育研究センター長 博物館長 心の発達支援研究実践センター長 法政国際教育協力研究センター長 生物機能開発利用研究センター長 シノクロトロン光研究センター長 滅亡連携研究センター長 細胞生理学研究センター長 脳とこころの研究センター長 ナショナルコンボジットセンター長 ジェンダーダイバーシティセンター長 低温プラズマ科学研究センター長 数理・データ科学・人工知能教育研究センター長 糖鎖生命コア研究所統括所長 糖鎖生命コア研究所長 ディープテック・シリカインノベーションセンター長 安全科学教育研究センター長 X-Manufacturing研究教育センター長 言語教育センター長 デジタル人文社会科学研究推進センター長 情報基盤センター長 総合保健体育科学センター長 国際高等研究機構長 高等研究院長 トランスフォーマティブ生命分子研究所長 素粒子宇宙起源研究所長 学際総合物質科学研究機構長 未来社会創造機構長 モビリティ社会科学研究所長 ナノライフシステム研究所長 マテリアルインノベーション研究所長 量子化学イノベーション研究所長 予防早期疾患創成センター長 脱炭素社会創造センター長 グローバル・マルチキャンパス推進機構 全学技術センター 学術研究・産学官連携推進本部長 情報連携推進本部長 環境安全衛生推進本部長 防災推進本部長 キャンパスマネジメント推進本部長 教育基盤連携本部長 附属図書館長 学生支援本部長 施設・環境計画推進室長 核燃料管理施設長 ハラスメント相談センター長 災害対策室長 PhD登龍門推進室長 動物実験支援センター長 障害者支援室長 IR戦略室長 Development Office室長 Development Office基金担当課長 総長戦略本部長	星野 幸代 周藤 芳幸 河西 秀哉 中村 靖子 服部 美奈 高井 次郎 高井 次郎 横溝 大 花園

► 東海国立大学機構事務局	
 事務局	 事務局長 事務局事務統括 事務局次長（兼務）
	 監査室長 監査担当課長 寺門 成真 西條 英吾 西條 英吾

 総務部	 総務部長 総務課長 総務課主幹 広報課長 広報課主幹（兼務） 人事企画課長 人事企画課主幹 人事労務課長 人事労務課主幹（兼務） 経営企画部長 経営企画課長 経営企画課主幹 財務部長 財務課長 財務課主幹 資金管理課長 資金管理課主幹（兼務） 経理第一課長 経理第一課主幹（兼務） 経理第二課長 経理第二課主幹（兼務） 教育戦略部長（兼務） 教育基盤統括本部担当監（兼務） 教育戦略課長（兼務） 教育基盤統括本部担当課長（兼務） 研究戦略部長（兼務） 研究安全管理監（兼務） 研究企画課長（兼務） 研究企画課主幹（兼務） 産学官連携課長（兼務） 産学官連携課主幹（兼務） 産学官連携課主幹（兼務） 産学官連携課主幹（兼務） 研究事業課長（兼務） 研究事業課主幹（兼務） 施設統括部長 施設統括部次長 施設企画課長 施設企画課主幹 資産課長 建築課長 建築課主幹（兼務） 設備課長 設備課主幹 設備課主幹（兼務） 環境安全課長 環境安全課主幹（兼務） 情報環境部長 情報企画課長 情報企画課主幹 情報システム運用課長 情報システム運用課主幹（兼務） 図書館情報部長（兼務） 情報管理課長（兼務） 事務部長 事務部次長 総務課長 人事労務課長 経営企画課長 経理課長 施設管理担当課長 医事課長	 奥田 泰史 小出 信吾 鷺見 浩二 長野久美子 鷺見 浩二 柳田 英輝 後藤 康之 成田 吉伸 後藤 康之 村松 哲行 早坂 彩 山田 祐樹 塚本 英則 清水 三晴
--	---	--

教育研究組織

学部

学部	学科	学科目(文学部においては学繁、情報学部においては系)
文学部	人文学科	言語文化、英語文化、文献思想、歴史文化、環境活動
教育学部	人間発達科学科	生涯教育科学、学校教育科学、国際教育文化学、心理行動科学、発達臨床科学
法学部	法律・政治学科	基礎実定法学、基礎政治学、現代基礎法学、紛争処理法制、企業経済法制、公共政策、国際関係、法政情報
経済学部	経済学科	理論経済、応用経済
	経営学科	企業経営、情報会計
情報学部	自然情報学科	数理情報、複雑システム
	人間・社会情報学科	社会情報、心理・認知科学
	コンピュータ科学科	情報システム、知能システム
理学部	数理学科	数学
	物理学科	物理学
	化学科	化学
	生命理学科	生物科学
	地球惑星科学科	地球惑星科学
医学部	医学科	解剖学、生理学、生化学、病理学、微生物学、医動物学、免疫学、法医学、衛生学、公衆衛生学、予防医学、内科学・神経内科学、外科学・胸部外科学、整形外科、産婦人科学、眼科学、精神医学、小児科学、皮膚科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科学、放射線医学、麻酔学、口腔外科学、脳神経外科学、老年科学、救急医学、臨床検査医学
	保健学科	看護学、放射線技術科学、検査技術科学、理学療法学、作業療法学
工学部	化学生命工学科	化学生命工学
	物理工学科	物理工学
	マテリアル工学科	マテリアル工学
	電気電子情報工学科	電気電子情報工学
	機械・航空宇宙工学科	機械・航空宇宙工学
	エネルギー理工学科	エネルギー理工学
	環境土木・建築学科	環境土木・建築学
農学部	生物環境科学科	生物環境科学
	資源生物科学科	資源生物科学
	応用生命科学科	応用生命科学

大学院

研究科	専攻	講座等(人文学研究科においては学繁)
人文学研究科	人文学専攻	言語文化、英語文化、文献思想、超域人文、歴史文化
教育発達科学研究科	教育科学専攻	生涯発達教育学、学校情報環境学、相関教育科学、高等教育学*、生涯スポーツ科学*
	心理発達科学専攻	心理社会行動科学、精神発達臨床科学、スポーツ行動科学*
法学研究科	総合法政専攻	基幹法・政治学、現代法システム論、国際・比較法政、アジア法政*
	実務法曹養成専攻	基幹法学、応用先端法学
経済学研究科	社会経済システム専攻	市場・制度分析、社会経済分析、政策システム分析、社会環境システム
	産業経営システム専攻	企業システム、経営革新、情報創造
情報学研究科	数理情報学専攻	数理情報基礎論、数理情報モデル論
	複雑系科学専攻	多自由度システム情報論、生命情報論、物質情報論、創発システム論、複雑系計算論、情報可視化論*
	社会情報学専攻	情報哲学、情報社会設計論、グローバルメディア論
	心理・認知科学専攻	認知科学、心理学
	情報システム学専攻	計算論、情報プラットフォーム論、ソフトウェア論、情報ネットワークシステム論*
	知能システム学専攻	基盤知能情報学、システム知能情報学、フィールド知能情報学
理学研究科	理学専攻	物理学第一、物理学第二、化学、生命理学、宇宙地球物理学*
	名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻	

医学系研究科	医科学専攻	
	総合医学専攻	生物化学、微生物・免疫学、細胞科学、機能形態学、病理病態学、社会生命科学、病態内科学、高次医用科学、脳神経病態制御学、頭頸部・感覚器外科学、病態外科学、運動・形態外科学、生体管理医学、発育・加齢医学、臨床医薬学、総合管理医学、先端応用医学*、実験動物科学*、神経科学*、腫瘍病態学*、発生・再生医学*、病態医療学*、周産母子医学*、親と子どもの精神医学*、高次神経統御学*、器官系機能調節学*、分子・細胞適応学*、健康増進医学*、分子医薬学*
	名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻	
	名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻	
工学研究科	名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻	
	総合保健学専攻	ヘルスケア情報科学、オミックス医療科学、バイオメディカルイメージング情報科学、看護科学、予防・リハビリテーション科学、脳とこころの科学*
	有機・高分子化学専攻	有機化学、高分子化学
	応用物質化学専攻	応用物理化学、固体化学
	生命分子工学専攻	分子生命化学、生命システム工学
	応用物理学専攻	量子物理工学、構造物性物理学、複合系物性工学
	物質科学専攻	物質デバイス機能創成学、ナノ解析物質設計学
	材料デザイン工学専攻	計算材料設計、先端計測分析、ナノ構造設計
	物質プロセス工学専攻	先進プロセス工学、物質創成工学
	化学システム工学専攻	先進化学工学システム、材料化学
	電気工学専攻	電気エネルギー、先端エネルギー、宇宙電磁環境工学*
	電子工学専攻	未来エレクトロニクス創造、情報デバイス工学、量子システム工学、ナノエレクトロニクス*
	情報・通信工学専攻	情報通信、情報システム
	機械システム工学専攻	機械理工学、機械知能学
	マイクロ・ナノ機械理工学専攻	マイクロ・ナノ機械科学、マイクロ・ナノシステム
	航空宇宙工学専攻	空力・推進、構造・創製、飛行・制御
	エネルギー理工学専攻	エネルギー材料工学、エネルギー量子工学、エネルギー流体工学
	総合エネルギー工学専攻	核融合工学、エネルギーシステム工学、エネルギー安全工学
	土木工学専攻	構造・材料工学、水工学、地盤工学、社会基盤機能学
	名古屋大学・チュラロンコン大学国際連携サステイナブル材料工学専攻	
生命農学研究科	森林・環境資源科学専攻	森林・環境資源科学
	植物生産科学専攻	植物生産科学
	動物科学専攻	動物科学
	応用生命科学専攻	応用生命科学
	名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻	
国際開発研究科	名古屋大学・西オーストラリア大学国際連携生命農学専攻	
	国際開発協力専攻	国際開発協力、開発政策*、経営開発*、教育発達*、比較国際法政システム*、国際文化協力*
多元数理科学研究科	多元数理科学専攻	基幹数理、自然数理、社会数理、数理解析、高次位相
環境学研究科	地球環境科学専攻	地球環境変動論、地球環境システム学、気候科学、物質循環科学、地質・地球生物学、地球化学、地球惑星物理学、生態学、地球惑星ダイナミクス*、地球史学*、地球水循環科学*
	都市環境学専攻	都市持続発展論、環境・安全マネジメント、環境機能物質学、物質環境構造学、地圏空間環境学、地域・都市マネジメント、建築・環境デザイン、建築構造システム
	社会環境学専攻	環境政策論、経済環境論、環境法政論、社会学、地理学
創薬科学研究科	基盤創薬学専攻	創薬有機化学、創薬生物科学、創薬分子構造学

注 *は協力講座等。
寄附講座及び産学協同研究講座を除く。

教養教育院

設置年月	設置目的
平成13年12月	本学における教養教育及び基礎教育の実施について統括するとともに、教育の質を管理する。

博士課程教育推進機構

設置年月	設置目的
平成30年10月	全学的な教学マネジメント及び大学院教育プログラムに係る企画・立案・調整その他卓越した博士人材の養成を図る。

アジアサテライトキャンパス学院

設置年月	設置目的
平成26年 8月	アジア諸国の政府等の幹部、若手リーダーを対象とした博士後期課程プログラムである「アジア諸国の国家中枢人材養成プログラム」を研究科と連携して実施するとともに、海外に設置したサテライトキャンパスの運営を行う。

附置研究所

部局名	設置年月	設置目的
環境医学研究所	昭和21年 3月	環境医学に関する学理及びその応用の研究を行う。
未来材料・システム研究所*1	平成27年10月	地球規模での資源制約及び環境制約の下、人間と自然が調和する豊かな社会の持続的発展を支えるために必要となる未来材料からシステムに至る分野における研究課題について取り組むとともに、当該分野において国内外の産学官の研究者との共同研究を行うことで、環境調和型持続可能社会の実現に寄与する。
宇宙地球環境研究所*2	平成27年10月	地球・太陽・宇宙の一つのシステムとしてとらえ、そこに生起する多様な現象のメカニズム及び相互関係の解明を通じ、地球環境問題の解決及び宇宙にひろがる人類社会の発展に貢献する。

注 *1は共同利用・共同研究拠点として、文部科学省より認定。
*2は国際共同利用・共同研究拠点として、文部科学省より認定。

医学部附属病院

患者安全推進部	
医学研究倫理・臨床倫理推進室	
病院戦略室	
院内法務相談室	
基金推進室	
診療科	血液内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、血管外科、移植外科、 消化器・腫瘍外科（肝胆脾）、消化器・腫瘍外科（消化管）、乳腺・内分泌外科、整形外科、リウマチ科、手の外科、 リハビリテーション科、産婦人科、眼科、精神科、親と子どもの心療科、小児科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、 放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、脳神経外科、老年内科、脳神経内科、呼吸器外科、心臓外科、形成外科、小児外科、 総合診療科、救急科
中央診療施設等	検査部、手術部、放射線部、輸血部、病理部、外科系集中治療部、救急・内科系集中治療部、血液浄化部、中央感染制御部、 光学医療診療部、リハビリテーション部、化学療法部、臨床工学技術部、栄養管理部、医療機器総合管理部、 総合周産期母子医療センター、脳卒中医療管理センター、排泄情報センター、地域連携・患者相談センター、 小児がん治療センター、重症心不全治療センター、ゲノム医療センター、メディカルITセンター、移植連携室、 電子カルテ管理室、難聴支援・治療センター、小児循環器センター、希少がんセンター、難治性疾患診療部、 歯科診療支援室、臨床心理室、先端医療開発部、卒後臨床研修・キャリア形成支援センター
薬剤部	
看護部	
事務部	

令和7年度（病床数は令和8年4月1日現在）		
病床数		1,076
臨床検査件数		8,474,507
手術件数		10,819
放射線検査・治療件数		270,750
分娩件数		540
メディカルソーシャルワーカーケースワーク取扱件数		36,135
一日平均患者数	外来患者数	2,179
	入院患者数	825

注 手術件数は手術台帳から算出。

学内共同教育研究施設等

部局名	設置年月	設置目的
アイソトープ総合センター	昭和51年 5月	アイソトープの基礎知識・安全取り扱いに関わる教育訓練、共同利用、アイソトープの利用法・測定法・廃棄物処理法に関する新技術の研究開発、全学の放射線管理の総括を行う。
遺伝子実験施設	昭和59年 4月	学内における組換えDNA実験の支援や安全確保、関連する大型機器の共同利用を行う。
物質科学国際研究センター	平成10年 4月	物質創造の基礎的研究の我が国最初の中核的拠点として、先導的な新科学概念のもとに豊かな社会を築く有用な新物質の探求と創製を行い、地球環境、エネルギー、食料、健康など現代社会が直面している諸問題の解決を目指す。
高等教育研究センター*1	平成10年 4月	学部及び大学院における教育・研究活動と連携のもとに、高等教育に関する研究・調査を行い、その質的向上に資する。
農学国際教育研究センター	平成11年 4月 (改組:平成30年 4月)	国際農業開発分野における国際共同研究の推進とそれをベースとした農学国際教育の機能を先鋭化させ、他部局・機関との連携深化によるグローバルな農業開発への貢献を高める。
博物館	平成12年 4月	学術標本の収集・研究・保管、本物の学術標本を使った次世代教育と展示の他、大学における異分野交流・学融合の場、大学と社会とのインターフェースとして大学の研究成果を展示・公開する情報発信センター等の役割を担う。
心の発達支援研究実践センター	平成13年 4月 (改組:平成27年 4月)	心の問題が複雑化する現代のニーズに対応し、個人の心の発達支援のみでなく、個と社会のつながり、あるいは組織・集団全体の心理に対する支援研究、実践に取り組む。
法政国際教育協力研究センター	平成14年 4月	アジアの体制移行国を中心とする国々の法と政治に関する研究、法整備支援ニーズの解析と支援方法の開発、法整備に携わる人的養成のためのプロジェクトなど、法整備に関する研究と支援を行う。
生物機能開発利用研究センター	平成15年 4月	高等動植物の生命現象に関わる高次生物機能の解明の研究を発展させるとともに、その成果を有用生物に移植する研究を行うことによって生物系システムの利用に貢献する。
シンクロトロン光研究センター	平成19年 4月	光源加速器の開発からシンクロトロン光利用まで、放射光科学に関わる研究・教育を推進し、愛知県・公益財団法人科学技術交流財団等との地域・産学官連携のもと、当該分野における研究・開発推進の中心的役割を担う。
減災連携研究センター	平成24年 1月	大規模地震、風水害等の自然災害及び自然災害による被害の軽減に関する学問分野間の連携研究を推進し、当該研究の成果を社会に還元するとともに、当該研究及び減災に係る実践活動を推進する人材を育成し、地域協働による減災のための社会連携を実践する。
細胞生理学研究センター	平成24年 4月	基礎生物学的な視点から創薬科学及び先端医療と連携して新しい細胞生理学を一体的かつ先駆的に進めるため、創薬基盤技術開発等を推進する細胞生理学を中心とした基礎生物学分野に係る教育・研究を行う。
脳とこころの研究センター	平成25年12月	脳疾患に関わる研究施設や企業が戦略的かつ学際的に連携し（コンソーシアムの構築）、大規模な脳の多元的データを前方向的に蓄積する（コホートの確立）。コホートとコンソーシアムの二大基盤に基づき、脳疾患を克服する次世代創薬開発拠点の形成を目指す。
ナショナルコンポジットセンター	平成26年 1月	これまで海外でしか実施できなかった航空機や自動車などの実物大の大型の複合材部材の試作・評価等を国内で可能とする大型プレス設備と、耐雷、耐火・耐炎試験装置をパッケージした世界でも類のない拠点として、ものづくり産業の国際競争力強化への貢献を行う。
ジェンダーダイバーシティセンター	平成29年 7月 (改組:令和 4年 4月)	国内外の諸機関及び学内ジェンダー研究者との連携協力体制の下、現状マイノリティである女性研究者の育成に寄与しつつ、多様な人材の活躍を推進することにより、誰もが輝ける大学と社会のために、ジェンダー教育研究機能を兼ね備えたダイバーシティ&インクルージョン推進拠点を目指す。
低温プラズマ科学研究センター*2	平成31年 4月	低温プラズマに関する研究者を集結し、高精度なプラズマ計測装置及び多様なプラズマ発生装置を有するプラズマ科学プラットフォームを基盤として、さらなる研究の深化及び新領域の開拓を進めるとともに、この分野の教育研究を行う大学教員、研究者等の共同利用に供する。
数理・データ科学・人工知能教育研究センター	令和 元年12月 (改組:令和 6年10月)	数理・データ科学に係る教育の強化及び研究の高度化並びに学内外の組織及び研究者との連携を推進する。
糖鎖生命コア研究所*2	令和 3年 1月	名古屋大学と岐阜大学の糖鎖に関する研究の高度化及び教育の強化を推進するとともに、この分野の教育研究を行う大学教員、研究者等の共同利用に供する。
ディーブテック・シリアルイノベーションセンター	令和 5年 4月	学士課程から博士後期課程まで階層的に、大規模かつ学際的にアントレプレナーシップ教育を行い、本学の持つ高度技術シーズの社会実装を加速する土壌を醸成することによって、イノベーションの創出を加速するための基盤となる新しい価値観を生み出すことのできる人材を育成し、もって我が国の意識・活力の底上げに寄与する。
安全科学教育研究センター	令和 7年 4月	環境安全衛生に関する教育研究を推進するとともに、科学的・技術的に裏付けされた合理的な環境安全衛生管理の実務の展開及び効果的な安全教育の実践による環境安全衛生に配慮した人材の育成を行い、当該教育研究の成果を社会に還元することにより、我が国における環境安全衛生水準の向上に貢献し、安全な社会を実現する。
X-Manufacturing研究教育センター	令和 8年 4月	工作機械等の生産機械及び生産加工に関わる工学、情報学、経済・経営学、数理科学等の多分野融合及び産学連携研究による取組を追求することによって高度デジタル生産科学と呼ぶ総合知を創出し、各学術分野が密接に連携・融合することにより、生産計画の高度デジタル化研究を推進し、地域の製造業との産学連携研究を強化するとともに、その研究を通して、新しい高度デジタル生産科学技術の社会実装を実践する人材を育成する。
言語教育センター	令和 5年 4月	語学教育の専門家を擁する組織として、全学的な視野に立った語学教育を教養教育院、大学院人文科学研究科等の関連部局と協力して実施するとともに、言語教育に関連する諸課題について、専門的見地から企画及び提言を行い、東海国立大学機構が設置する国立大学における語学教育の推進及び高度化に貢献する。
デジタル人文社会科学研究推進センター	令和 6年 4月	デジタルデータを活用するデータ駆動型のデジタル人文社会科学研究を戦略的かつ組織的に推進するため、領域横断的な新領域の開拓により人文社会科学系の研究振興を図るとともに、人文社会科学系の主導による新たな総合知の創出によりテクノロジー主体のアプローチでは解決が難しい社会課題の解決に貢献し、これらの取組を理系の取組と組み合わせることにより、名古屋大学の研究力強化を図る。

注 *1は教育関係共同利用拠点として、文部科学省より認定。
*2は共同利用・共同研究拠点として、文部科学省より認定。

共同利用・共同研究拠点

部局名	設置年月	設置目的
情報基盤センター*1	平成21年 4月	高度情報化社会における中核大学として教育・研究情報基盤環境の高度化を図り、名古屋大学の情報化の推進、学際大規模情報基盤の全国利用・共同研究拠点として日本の計算機科学・計算科学の発展に貢献する。
未来材料・システム研究所*1	「附置研究所」の欄を参照。	
宇宙地球環境研究所*2	「附置研究所」の欄を参照。	
低温プラズマ科学研究センター*1	「学内共同教育研究施設等」の欄を参照。	
糖鎖生命コア研究所*1	「学内共同教育研究施設等」の欄を参照。	

注 *1は共同利用・共同研究拠点として、文部科学省より認定。
*2は国際共同利用・共同研究拠点として、文部科学省より認定。

教育関係共同利用拠点

部局名	設置年月	設置目的
理学研究科附属海実験所	昭和17年 4月	主として海洋に関係のある自然科学の基礎研究及び応用研究並びに教育及び実習を行う。
高等教育研究センター	「学内共同教育研究施設等」の欄を参照。	

注 教育関係共同利用拠点として、文部科学省より認定。

総合保健体育科学センター

設置年月	設置目的
昭和50年 4月	健康・スポーツに関する教育・研究を行うとともに、学生・職員の健康管理、健康増進に関する専門的業務を行う。

国際高等研究機構

設置年月	設置目的	
令和元年10月	高等研究院を基盤とする世界最高水準の基礎研究の支援体制の下で、知の創造から国際研究拠点の形成までの統括的マネジメント体制の強化、トランスフォーマティブ生命分子研究所、素粒子宇宙起源研究所等の国際研究拠点の研究支援体制の強化、国際広報・アウトリーチ機能の強化等により、戦略的・組織的な支援体制を強化するとともに、異分野若手研究者の交流及び融合研究を促進し、知の創造から国際展開までに係る各種施策を加速させる。	
構成組織名	設置年月	設置目的
高等研究院	平成14年 4月	文理の壁を越えて世界最高水準の基礎研究を推進し、その成果を学内外に還元するとともに、学際的な視点から若手研究者の組織的な育成・自立支援を行う。
トランスフォーマティブ生命分子研究所	平成25年 4月	生命科学・技術を根底から変える革新的機能分子「トランスフォーマティブ生命分子」を生み出すとともに、化学－生物学の新融合分野を先導する次世代研究者等を育成する。
素粒子宇宙起源研究所	平成22年 4月	素粒子物理学、宇宙物理学の理論及び実験研究、さらには関連する数理論物理学や理論計算物理学の研究を結集し、素粒子及び宇宙の起源を解明する。

学際統合物質科学研究機構

設置年月	設置目的
平成14年 4月	物質創製化学に強みを持つ4大学（名古屋大学、北海道大学、京都大学及び九州大学）の研究組織（名古屋大学物質科学国際研究センター、北海道大学触媒科学研究所、京都大学化学研究所附属元素科学国際研究センター及び九州大学先端物質化学研究所）の組織的連携により、大学の枠を越えた学際連携の研究スタイルを刷新・変革するモデルとなり、当該分野の世界的トップ拠点を形成するとともに、大学院教育を含めた若手人材育成を大学間に広げて推進することにより、我が国の次世代の科学技術を担う人材の輩出を行う。

未来社会創造機構

設置年月	設置目的	
平成26年 4月	産学官連携研究領域を主導し、研究、人材育成及び教育の有機的結合を図り、産学官連携のもと、社会との対話を通し次世代の教育研究を推進し、コミュニティ、社会及び世界の未来を担う新しい価値の創造を行う。	
構成組織名	設置年月	設置目的
モビリティ社会研究所	平成28年 4月 (改組:平成31年 4月)	新たな学域としてのモビリティ学の創造、それに基づくイノベーションの創出及びイノベータティブ人材の育成の循環的かつ持続的な実現を推進する。
ナノライフシステム研究所	平成30年10月	ものづくり、ナノテクノロジー及びライフサイエンスに関する分野融合研究を推進するとともに、社会的価値を創造できる人材を育成する。
マテリアルイノベーション研究所	平成30年10月	マテリアル領域におけるイノベーションに貢献するとともに、産学官連携による社会的価値の創造を行う。
量子化学イノベーション研究所	令和 6年 4月	量子、化学、医療、材料及び情報分野の融合により量子技術のフロンティアを開拓し、国際共同研究の促進、国内外の企業との共同研究の拡大及び量子技術イノベーション創出による新たな量子産業を創出する。
予防早期医療創成センター	平成27年 7月 (改組:令和 4年 4月)	高齢者をはじめとしたすべての人の健康、社会参加寿命の延伸を目指し、異分野連携の研究拠点として、予防早期医療（個人個人に最適化した疾病予防や、疾患の早期の診断・治療等を行うことをいう）に関する新しい価値を創造する。
脱炭素社会創造センター	令和 4年 4月	地球温暖化の主因とされる二酸化炭素排出実質ゼロを目指す脱炭素社会の実現に向けて、地球規模の現状分析、戦略立案及び具体方策の実施に取り組む。

グローバル・マルチキャンパス推進機構

設置年月		設置目的	
令和 4年 4月 (改組:令和 7年 4月)		本学がこれまで蓄積してきた海外大学等とのネットワーク及び海外拠点の展開を結集するグローバル・マルチキャンパス構想を通じて、組織的かつ戦略的に教育研究展開に取り組むとともに、国際的活動を本学の財産として持続的に担保し、最大限に活用する。	
構成組織名		設置年月	設置目的
アジアサテライトキャンパス学院		「アジアサテライトキャンパス学院」の欄を参照。	
農学国際教育研究センター		「学内共同教育研究施設等」の欄を参照。	
法政国際教育協力研究センター		「学内共同教育研究施設等」の欄を参照。	
日本法教育研究センター		令和 4年 4月	本学におけるアジア法整備支援事業の実績に基づき、2005年9月以降、法学研究科と法政国際教育協力研究センターのもとで、アジア諸国の大学と連携し、各国にて法整備を自律的に推進できる人材を育成。2022年4月、組織として独立。

附属図書館

▶蔵書数	令和8年4月1日現在		
図書館・室名	和 書（冊）	洋 書（冊）	合 計（冊）
中央図書館	722,614	517,603	1,240,217
医学部分館（含保健学図書室）	110,297	79,473	189,770
文学図書室	213,874	130,846	344,720
教育発達科学図書室（含附属中・高等学校）	134,874	49,154	184,028
法学図書室	159,223	114,421	273,644
経済学図書室（含国際経済政策研究センター）	167,588	133,297	300,885
情報・言語合同図書室	101,377	80,265	181,642
理学図書室	50,717	180,325	231,042
工学図書室	83,879	100,401	184,280
生命農学図書室	63,133	51,687	114,820
国際開発図書室	39,682	43,706	83,388
その他	39,774	40,479	80,253
合 計	1,887,032	1,521,657	3,408,689

▶雑誌購入受入数（純タイトル数）

令和8年4月1日現在

外国雑誌(種)	国内雑誌(種)	合 計(種)
264	756	1,020

▶電子ジャーナル提供数			令和8年4月1日現在	▶電子ジャーナル利用件数（全文表示件数）		令和7年度
外国雑誌(種)	国内雑誌(種)	合 計(種)		合 計		
16,369	137	16,506		4,764,396		

▶電子ジャーナル利用件数（全文表示件数）	令和7年度
合 計	4,764,396

▶閲覧席数	令和8年4月1日現在	
図書館・室名	閲覧席数	
中央図書館	1,117	
医学部分館・部局図書館	1,047	
合 計	2,164	

▶利用状況（中央図書館）	令和7年度			
閲覧業務		参考調査業務		相互利用業務
入館者数	貸出者数	貸出冊数	取扱件数	取扱件数
581,357	53,834	112,268	1,343	19,156

▶所蔵コレクション一覧	
文庫・特殊コレクション	高木家文書*、岡田家文書、日比家文書、竹田家文書、神宮皇学館文庫、青木文庫、岡谷文庫、内田文庫、伊藤圭介文庫、森本文庫、小林文庫、後藤文庫、長谷川文庫、鈴木橋夫文庫、永井文庫、水田文庫、瀧川文庫、イギリス革命関係文献コレクション、小川文庫、徳重文庫、ベックハルト文庫、池野文庫、石井文庫、岡見文庫、ヒルベルト文庫、スペイン市民戦争関係資料、水田珠枝文庫、勝沼文庫
大型コレクション	ハンサード：英国議会議事録1836－1975、インド立法関係史料集、フランス官報及び議会議事録1869－1968、ホップズ・コレクション第1期、ホップズ・コレクション第2期、18－19世紀ヨーロッパ総合雑誌集成、英国近世初期書籍集成Ⅰ、チベット仏教全書、英国近世初期書籍集成Ⅱ、リトルトン卿収集パンフレット集成、フーパッチュ教授旧蔵書、18世紀フランス自由思想家コレクション、ロシア・ソビエト研究資料集、H.P.イブセン博士旧蔵書、英国貴族院日誌・英国議会古記録、ヨーロッパ中世キリスト教神学及び世俗文学研究コレクション、ヨーロッパ教育史・教育理論研究コレクション、言語哲学コレクション、プロイセンの政治・経済・文化、英国貴族院上訴事件判例集1755－1843、18世紀英語・英語圖刊本集成、ドイツ帝国議会連邦参議院議事録

注 *は附属図書館が所蔵する旧旗本交代寄合西高木家の旧蔵文書群で、一部は令和元年7月に国の重要文化財に指定。

役員・教職員数	
役員	10名
教職員	10名

役員等数

▶名古屋大学執行体制
令和8年5月1日現在
▶東海国立大学機構執行体制
令和8年5月1日現在

区 分	男 性	女 性	合 計
総長	1		1
副総長	7	2	9
総長補佐	4		4
副総長補佐	19	4	23
合 計	31	6	37

▶東海国立大学機構執行体制 令和8年5月1日現在

区 分		男 性	女 性	合 計
機構長		1		1
大学総括理事・副機構長		2		2
理事	(常勤)	1	2	3
	事務局長	1		1
	(非常勤)	1	1	2
監事	(常勤)	1		1
	(非常勤)	1	1	2
副理事		<2>		<2>
機構長補佐		<11>	<2>	<13>
合 計		8 <13>	4 <2>	12 <15>

注 < >は兼務。
役員は機構長、大学総括理事、理事、監事。

教職員数（名古屋大学）

区分	教授			准教授			講師			助教			助手			研究員			小計					
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計			
人文学研究科・文学部	28	15	43	20	23	43	(1)	(1)	(2)	3	3	(2)	3	3	6				(1)	(1)	(2)	51	44	95
教育発達科学研究科・教育学部	13	4	17	4	4	8			1	2	3										18	13	31	
法学研究科・法学部	26	10	36	3	2	5	(1)	(1)	2	3	5	1	1	1		1	1				32	16	48	
経済学研究科・経済学部	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(4)	(4)	(6)	(10)	(1)	(1)	(1)									(6)	(8)	(14)	
	15	1	16	9	4	13	1	1	2	2	2	4									27	8	35	
情報学研究科・情報学部																		(1)		(1)	(1)	(1)	(1)	
	34	2	36	22	1	23	(3)	(1)	4	11	1	12									70	5	75	
理学研究科・理学部																		(15)	(4)	(19)	(21)	(8)	(29)	
	37	3	40	26		26			17	4	21	22	5	27							102	12	114	
医学系研究科・医学部							(1)	(1)				(3)	(2)	(5)				(19)	(3)	(22)	(22)	(6)	(28)	
医学部附属病院	54	7	61	38	16	54			23	16	39	41	23	64							156	62	218	
	(7)	(1)	(8)	(5)	(1)	(6)	(13)	(2)	(15)	(24)	(10)	(34)				(3)	(6)	(9)			(52)	(20)	(72)	
工学研究科・工学部	5	7	12	5	7	12	9	9	32	6	39	55	20	75							100	28	128	
生命農学研究科・農学部	(10)	(1)	(11)	(13)	(2)	(15)	(52)	(14)	(66)	(118)	(36)	(154)				(3)	(3)	(6)			(196)	(56)	(252)	
	89	6	95	67	4	71	(3)	(4)	17	6	23	64	10	74							237	26	263	
国際開発研究科	(3)	(3)	(6)	(4)	(4)	(3)			(3)	(24)	(9)	(33)				(9)	(2)	(11)			(43)	(11)	(54)	
多元数理科学研究科	35	2	37	28	9	37	2	1	3	24	7	31	(3)	(3)		(3)	(7)	(10)			89	19	108	
環境学研究所	8	1	9	5	5	10				1	1	2	(1)	(1)							14	7	21	
創薬科学研究科	25		25	16	3	19	1		1	3	(4)	(1)	(5)			(1)		(1)			45	3	48	
教養教育院	37	5	42	27	8	35	3	2	5	8	5	13	(1)	(4)	(5)	(2)	(1)	(3)			75	20	95	
博士課程教育推進機構	7		7	3	3	3				7	1	8				(2)		(2)			17	1	18	
アジアサテライトキャンパス学院	3		3	2	1	3	2		2												7	1	8	
環境医学研究所	(1)	(1)	(2)	(6)	(2)	(8)															(7)	(3)	(10)	
未来材料・システム研究所	1		1		(1)	(1)					(1)	(1)									1		1	
宇宙地球環境研究所	(2)		(2)	(1)		(1)		(2)	(2)		(1)	(1)									(3)	(3)	(6)	
アイソトープ総合センター	7	1	8	2		2	(1)	(1)	5	2	7	2	2	4		(1)	(3)	(4)			16	5	21	
遺伝子実験施設	18	2	20	13		13			(1)	(1)	(1)	(6)	(7)			(1)					(4)	(9)	(13)	
物質科学国際研究センター	(6)	(6)	(12)	(5)	(5)	(10)		(2)	(2)	(5)	(2)	(7)				(12)	(3)	(15)			41	5	46	
高等教育研究センター	15	1	16	11	2	13	2		2	7	7	7									35	3	38	
農学国際教育研究センター				(2)	(1)	(3)				(12)	(5)	(17)				(6)	(2)	(8)			(20)	(8)	(28)	
博物館	1		1	2		2	1		1												4		4	
心の発達支援研究実践センター	2		2					1	1		1	1				(1)		(1)			2	2	4	
法政国際教育協力研究センター	1	1	2	2		2										(1)		(1)			5	1	6	
生物機能開発利用研究センター																(2)	(3)	(5)			(2)	(5)	(7)	
	1		1	1	1	2						1	1								2	2	4	
	2		2		2	2	1		1												3	2	5	
	2		2	1	2	3					(1)	(1)									(1)	(1)	(1)	
	(1)		(1)				(2)	(2)	(1)	(1)	(2)										3	3	6	
		1	1	1		1															1	1	2	
	4		4	2		2					1	2	3								7	2	9	
																		(1)	(1)		2	(1)	(1)	

教職員数（東海国立大学機構）

教職員数（東海国立大学機構）

区分	専門職			事務職員・技術職員等			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
東海国立大学機構事務局				1		1	1		1
総務部	(2)	(3)	(5)	44	34	78	44(2)	34(3)	78(5)
経営企画部				9	9	18	9	9	18
財務部				47	44	91	47	44	91
教育戦略部				*4		*4	*4		*4
研究戦略部	(5)	(4)	(9)	*22	*25	*47	*22(5)	*25(4)	*47(9)
施設統括部				54	21	75	54	21	75
情報環境部	(4)	1(2)	1(6)	28	5	33	28(4)	6(2)	34(6)
図書館情報部				*3	*10	*13	*3	*10	*13
名大病院事務局				80(1)	62(4)	142(5)	80(1)	62(4)	142(5)
名古屋大学教学事務部門									
教育推進部	(1)	(2)	(3)	33	37	70	33(1)	37(2)	70(3)
研究協力部				23	30	53	23	30	53
附属図書館事務局		1	1	14	35	49	14	36	50
文系事務局				10	28	38	10	28	38
情報学部・情報学研究科事務局				2	7	9	2	7	9
理学部・理学研究科・多元数理科学研究科事務局				12	19	31	12	19	31
医学部・医学系研究科事務局				*55	*40	*95	*55	*40	*95
工学部・工学研究科事務局				13	28	41	13	28	41
農学部・生命農学研究科事務局				5	13	18	5	13	18
環境学研究科事務局				6	2	8	6	2	8
創薬科学研究科・細胞生理学研究センター事務局				2	2	4	2	2	4
研究所事務局				11	10	21	11	10	21
Common Nexus事務局				3	1	4	3	1	4
監査室				4	1	5	4	1	5
法務室	1		1				1		1
イノベーションコアファシリティセンター				*10	*2	*12	*10	*2	*12
合 計	1(12)	2(11)	3(23)	506(1)	475(4)	981(5)	507(13)	477(15)	984(28)

注 () は任期付正職員（育休代替等）を示し、外数。
 ＊は兼務者を含む。
 岐大病院事務部及び岐早大学教学事務部門は省略。

区分	教授			准教授			講師			助教			助手			研究員			小計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
シンクロトロン光研究センター	3		3	2		2				(1)		(1)				(1)	(1)	(3)	5	(1)	5
減災連携研究センター	3	(1)	3	2	(1)	2										(1)	(2)	(3)	5	(2)	(6)
細胞生理学研究センター	1		1	1		1				1		1						(3)	3	(0)	3
脳とこころの研究センター	1		1	2	(1)	2					1	1						(4)	3	1	4
ナショナルコンボジットセンター	1		1	1	(1)	1				(1)		(1)				(1)	(1)	(3)	3	(2)	(3)
ジェンダーダイバーシティセンター		1	1		1	1				(1)		(1)				(1)	(1)	(2)	2	(2)	(2)
低温プラズマ科学研究センター	3	(2)	3	(1)	(2)	(3)	(2)	(1)	(3)	1	(1)	(4)				(8)	(4)	(12)	5	1	6
数理・データ科学・人工知能教育研究センター	(1)		(1)	1		1								(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	1	(1)	1
糖鎖生命コア研究所	2	(3)	3	2	(3)	(1)	(4)	(1)	1	2	(1)	2	(5)	(3)	(8)	7	3	(10)	18	(7)	(25)
ディープテック・シリアルイノベーションセンター	(1)		(1)	1		1										1	(1)	(1)	1	(0)	1
安全科学教育研究センター	1		1	1	(1)	2										2	1	(3)	(1)	(1)	(1)
言語教育センター		1	1	2	3	5	6	1	7							8	5	13			
デジタル人文社会科学研究推進センター	3		3	1	(1)	2										4	1	5	(1)	(1)	(1)
情報基盤センター	4		4	4		4				2	(1)	(2)	2	(3)	(3)	10	(1)	(2)	10	(1)	(3)
総合保健体育科学センター	7	2	9	3	2	5	1		1	1	3	4				12	7	19			
高等研究院					2	2	(1)		(1)	(23)	(8)	(31)				(24)	(8)	(32)	1	2	3
トランスフォーマティブ生命分子研究所	5	(2)	1	6	(10)	(1)	(11)	(3)	(3)	(6)	1	(2)				6	1	7	(21)	(8)	(29)
素粒子宇宙起源研究所	2		2	7	(1)	(1)				2	(8)	(1)	2	(9)		11	(12)	(2)	11	(12)	(14)
学際統合物質科学研究機構	1		1	1		1		(1)	(1)	(3)	(1)	(4)				2	(3)	(2)	(5)	(3)	(5)
未来社会創造機構	16	(7)	16	2	(9)	(3)	(12)	(5)	(2)	(7)	1	(10)	(8)	(18)		19	(37)	(18)	(55)	(37)	(55)
グローバル・マルチキャンパス推進機構	(2)	1	(2)	1	(6)	3	(7)	(3)	(4)	(7)	1	(6)				3	2	5	(6)	(16)	(22)
国際環境人材育成センター																					
リーディング大学院推進機構																					
GaN研究戦略室																					
フューチャー・アース研究センター																					
最先端半導体研究戦略室																					
リカレントプログラム支援室																					
One Medicine 生命・創薬共創プラットフォーム				(1)		(1)				(1)		(1)				(2)		(2)			
研究インテグリティマネジメント室																					
全学技術センター																					
X-Manufacturing研究教育センター	1		1							1	1					1	1	2			
運営支援組織																					
学術研究・産学官連携推進本部	2	(5)	2	2	(5)		(1)		(1)							2	(7)	2	10	(18)	27
情報連携推進本部	1		1	1		1										2		2	2	(1)	(29)
環境安全衛生推進本部																0		0	0	(0)	(1)
防災推進本部																0		0	0	(0)	(0)
キャンパスマネジメント推進本部																0		0	0	(0)	(0)
教育基盤連携本部	1		1	2	(1)	(1)	(2)			(1)		(1)				2	(2)	4	2	(2)	(3)
附属図書館																			0	(0)	(0)
学生支援本部						1	1											1	1	3	4
施設・環境計画推進室	1		1				1		1							2		2	2	(0)	(6)
核燃料管理施設		1	1															1	1	(0)	(0)
ハラスメント相談センター																			0	3	3
災害対策室	1		1													1		1	1	(0)	(0)
PhD登龍門推進室																			0	(0)	(0)
動物実験支援センター	1		1													1		1	1	(0)	(0)
障害者支援室																			0	(0)	(0)
IR戦略室																			0	(0)	(0)
Development Office																			1	4	5
総長戦略本部																			(1)	(0)	(1)
合 計	530	71	601	351	103	454	123	50	173	278	97	375	0	1	1	0	0	0	1,282	322	1,604
	(55)	(6)	(61)	(73)	(27)	(100)	(91)	(39)	(130)	(258)	(119)	(377)	(0)	(0)	(0)	(102)	(57)	(159)	(579)	(248)	(827)

注 () は任期付正職員 (コ・メディカル、育休代替、特任教授、寄附講座教授、病院教授、リサーチ・アドミニストレーター等) を示し、外数。

区分	専門職			リサーチ・アドミニストレーター			附属学校教員			事務職員・技術職員			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
シンクロトロン光研究センター													5	0	5
減災連携研究センター													(2)	(1)	(3)
細胞生理学研究センター													5	0	5
脳とこころの研究センター													(2)	(4)	(6)
ナショナルコンボジットセンター													3	0	3
ジェンダーダイバーシティセンター													(0)	(0)	(0)
低温プラズマ科学研究センター													3	1	4
数理・データ科学・人工知能教育研究センター													(1)	(0)	(1)
糖鎖生命コア研究所													3	0	3
ディープテック・シリアルイノベーションセンター													(2)	(1)	(3)
安全科学教育研究センター													0	2	2
言語教育センター													(2)	(0)	(2)
デジタル人文社会科学研究推進センター	(1)		(1)										5	1	6
情報基盤センター													(8)	(4)	(12)
総合保健体育科学センター										1	4	5	1	0	1
高等研究院	(1)		(1)										(1)	(1)	(2)
トランスフォーマティブ生命分子研究所													7	3	10
素粒子宇宙起源研究所													(18)	(7)	(25)
学際統合物質科学研究機構													1	0	1
未来社会創造機構													(1)	(0)	(1)
グローバル・マルチキャンパス推進機構	(1)	2	2										2	1	3
国際環境人材育成センター													(1)	(0)	(1)
リーディング大学院推進機構													8	5	13
GaN研究戦略室													(0)	(0)	(0)
フューチャー・アース研究センター													4	1	5
最先端半導体研究戦略室													(2)	(0)	(2)
リカレントプログラム支援室													10	0	10
One Medicine 生命・創薬共創プラットフォーム													(1)	(2)	(3)
研究インテグリティマネジメント室													13	11	24
全学技術センター													(0)	(0)	(0)
X-Manufacturing研究教育センター													1	2	3
運営支援組織													(25)	(8)	(33)
学術研究・産学官連携推進本部				8	17	25							6	1	7
情報連携推進本部	(1)		(1)										(21)	(8)	(29)
環境安全衛生推進本部													11	0	11
防災推進本部													(12)	(2)	(14)
キャンパスマネジメント推進本部													2	0	2
教育基盤連携本部													(3)	(2)	(5)
附属図書館													19	0	19
学生支援本部	1	2	3										(37)	(18)	(55)
施設・環境計画推進室		3	3										3	4	7
核燃料管理施設													(7)	(20)	(27)
ハラスメント相談センター													(0)	(0)	(0)
災害対策室													0	0	0
PhD登龍門推進室													0	0	0
動物実験支援センター													0	0	0
障害者支援室													0	0	0
IR戦略室													0	0	0
Development Office	(1)		(1)							1	4	5	1	4	5
総長戦略本部													(1)	(0)	(1)
合 計	1	7	8	8	17	25	18	20	38	338	1,336	1,674	1,647	1,702	3,349
	(6)	(11)	(17)	(11)	(22)	(22)	(0)	(0)	(0)	(33)	(96)	(129)	(629)	(366)	(995)

学 生 数

学部等学生数 令和8年5月1日現在

区 分	学部学生			科目等履修生			聴講生			研究生等			合 計		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
文学部†	240	331	571	3	3	6		1	1	15	21	36	258	356	614
教育学部†	100	203	303		2	2	2	1	3	5	7	12	107	213	320
法学部†	381	303	684	1		1	1		1	16	20	36	399	323	722
経済学部†	613	303	916	1	1	2				13	9	22	627	313	940
情報学部†	503	146	649							13	5	18	516	151	667
理学部	955	240	1,195	2		2				17	7	24	974	247	1,221
医学部*	656	860	1,516							25	10	35	681	870	1,551
工学部†	2,523	401	2,924				2	1	3	43	7	50	2,568	409	2,977
農学部	353	395	748							2	3	5	355	398	753
グローバル・マルチキャンパス推進機構										3	6	9	3	6	9
言語教育センター										12	7	19	12	7	19
総合保健体育科学センター										1	1	2	1	1	2
環境医学研究所											2	2		2	2
宇宙地球環境研究所											1	1		1	1
その他				8	12	20				11	7	18	19	19	38
合 計	6,324	3,182	9,506	15	18	33	5	3	8	176	113	289	6,520	3,316	9,836

注 †は第3年次編入学を行っている学部。
※は第2年次編入学を行っている学部。
言語教育センターの研究生等は日本語研修生を含む。
その他の学生数は、愛知学長懇話会、APRU及びSSHコンソーシアムの科目等履修生を計上。

大学院学生数 令和8年5月1日現在

区 分	博 士 課 程									医学博士課程			専門職学位課程			研究生等			合 計		
	博士前期課程			博士後期課程			小 計														
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
人文学研究科†	88	113	201	97	126	223	185	239	424							9	17	26	194	256	450
教育発達科学研究科†	40	83	123	87	100	187	127	183	310							2	6	8	129	189	318
法学研究科†	35	30	65	31	19	50	66	49	115				75	54	129	23	10	33	164	113	277
経済学研究科†	71	32	103	45	20	65	116	52	168							1	4	5	117	56	173
情報学研究科	316	66	382	142	37	179	458	103	561							7	3	10	465	106	571
理学研究科†	310	88	398	186	64	250	496	152	648							7	3	10	503	155	658
医学系研究科†	64	108	172	21	28	49	85	136	221	508	187	695				20	7	27	613	330	943
工学研究科†	1,241	140	1,381	367	76	443	1,608	216	1,824							23	7	30	1,631	223	1,854
生命農学研究科†	178	175	353	90	50	140	268	225	493							2	4	6	270	229	499
国際開発研究科	35	59	94	46	35	81	81	94	175							1	6	7	82	100	182
多元数理科学研究科†	111	4	115	74	2	76	185	6	191							10		10	195	6	201
環境学研究科†	194	97	291	94	80	174	288	177	465							15	11	26	303	188	491
創薬科学研究科†	48	25	73	24	10	34	72	35	107								1	1	72	36	108
合 計	2,731	1,020	3,751	1,304	647	1,951	4,035	1,667	5,702	508	187	695	75	54	129	120	79	199	4,738	1,987	6,725

注 †は社会人特別選抜を実施している研究科。
医学系研究科博士前期課程は修士課程を含む。

教育学部附属学校生徒数 令和8年5月1日現在

区 分	入学定員	学級数	生徒数
中学校	80	6	240
高等学校	120	9	354
合 計	200	15	594

単位互換制度に基づく交流学生数（国内大学間） 令和7年度

本学大学院	他大学大学院	交流学生数							
		派 遣				受 入			
		修 士		博 士		修 士		博 士	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
法学研究科	南山大学大学院法務研究科	14	9					3	
情報学研究科	南山大学大学院理工学研究科	6							
工学研究科	岐阜大学大学院自然科学技術研究科		5			10	9		
工学研究科	総合研究大学院大学先端学術院	2							
工学研究科	名古屋市立大学大学院理学研究科						1		
国際開発研究科	神戸大学大学院国際協力研究科					1			
環境学研究科	名古屋市立大学大学院芸術工学研究科					2	1		
合 計		22	14	0	0	13	14	0	0

入 学 者 数

学部入学者数 令和8年4月1日現在

学 部	募集人員	志願者数	入学者数		
			男子	女子	計
文学部	125	278 (7)	51 (1)	78 (0)	129 (1)
教育学部	65	174 (10)	22 (0)	44 (0)	66 (0)
法学部	150	454 (19)	74 (2)	82 (1)	156 (3)
経済学部	205	562 (22)	149 (3)	62 (2)	211 (5)
情報学部	149	359 (35)	123 (1)	28 (0)	151 (1)
理学部	270	794 (26)	206 (0)	69 (1)	275 (1)
医学部	308	766 (5)	114 (0)	194 (0)	308 (0)
工学部	700	1,680 (0)	592 (0)	110 (0)	702 (0)
農学部	170	444 (10)	75 (1)	103 (0)	178 (1)
合 計	2,142	5,511 (134)	1,406 (8)	770 (4)	2,176 (12)

注 ()内は外国人留学生を示し、内数。

大学院入学者数 令和8年4月1日現在

研 究 科	博士前期課程・修士課程					博士後期課程・医学博士課程				
	入学定員	志願者数	入学者数			入学定員	志願者数	入・進学者数		
			男子	女子	計			男子	女子	計
人文学研究科	104	264	45 (20)	48 (27)	93 (47)	61	68	17 (6)	26 (13)	43 (19)
教育発達科学研究科	54	192	21 (2)	37 (9)	58 (11)	31	57	22 (1)	17 (5)	39 (6)
法学研究科	35	47	9 (2)	3 (0)	12 (2)	17	10	2 (1)	0 (0)	2 (1)
経済学研究科	50	318	29 (1)	19 (0)	48 (1)					
情報学研究科	44	183	39 (23)	16 (11)	55 (34)	22	19	11 (6)	7 (5)	18 (11)
理学研究科	164	467	150 (29)	27 (11)	177 (40)	43	33	20 (9)	7 (3)	27 (12)
医学系研究科	188	339	148 (2)	40 (0)	188 (2)	72	60	50 (2)	10 (0)	60 (2)
医学系研究科	100	107	26 (0)	53 (4)	79 (4)	181	217	130 (8)	47 (5)	177 (13)
工学研究科	603	840	596 (21)	72 (4)	668 (25)	143	117	92 (19)	17 (5)	109 (24)
生命農学研究科	151	203	77 (7)	87 (1)	164 (8)	42	28	21 (4)	5 (1)	26 (5)
国際開発研究科	44	125	17 (17)	27 (22)	44 (39)	22	12	3 (3)	2 (1)	5 (4)
多元数理科学研究科	47	218	50 (6)	2 (0)	52 (6)	30	20	17 (3)	0 (0)	17 (3)
環境学研究科	127	194	87 (16)	39 (6)	126 (22)	58	32	16 (5)	12 (4)	28 (9)
創薬科学研究科	32	65	19 (2)	13 (0)	32 (2)	10	10	7 (0)	3 (0)	10 (0)
合 計	1,743	3,562	1,313 (148)	483 (95)	1,796 (243)	732	683	408 (67)	153 (42)	561 (109)

注 ()は外国人留学生を示し、内数。
法学研究科の下段は専門職学位課程（法科大学院）。
令和7年10月入学者及び博士前期課程（修士課程）1年・博士後期課程（医学博士課程）1年に原級留置されている学生は除く。

現役・浪人別入学者数

▶一般選抜前期日程令和8年4月1日現在

学部・学科等		入学者数	現 役		浪 人 等		
			人数	割合(%)	人数	割合(%)	
文学部		113	103	91.2	10	8.8	
教育学部		57	53	93.0	4	7.0	
法学部		108	92	85.2	16	14.8	
経済学部		166	137	82.5	29	17.5	
情報学部	自然情報学科	35	28	80.0	7	20.0	
	人間・社会情報学科	29	18	62.1	11	37.9	
	コンピュータ科学科	58	49	84.5	9	15.5	
	小 計	122	95	77.9	27	22.1	
理学部		227	165	72.7	62	27.3	
医学部	医学科(一般枠)	89	52	58.4	37	41.6	
	医学科(地域枠)	5	2	40.0	3	60.0	
	保健学科	看護学専攻	39	34	87.2	5	12.8
		放射線技術科学専攻	28	25	89.3	3	10.7
		検査技術科学専攻	25	21	84.0	4	16.0
		理学療法学専攻	13	10	76.9	3	23.1
		作業療法学専攻	14	12	85.7	2	14.3
		計	119	102	85.7	17	14.3
	小 計	213	156	73.2	57	26.8	
工学部	化学生命工学科	85	63	74.1	22	25.9	
	物理工学科	80	67	83.8	13	16.3	
	マテリアル工学科	95	73	76.8	22	23.2	
	電気電子情報工学科	115	87	75.7	28	24.3	
	機械・航空宇宙工学科	143	99	69.2	44	30.8	
	エネルギー理工学科	38	33	86.8	5	13.2	
	環境土木・建築学科	74	56	75.7	18	24.3	
小 計	630	478	75.9	152	24.1		
農学部	生物環境科学科	28	22	78.6	6	21.4	
	資源生物科学科	45	35	77.8	10	22.2	
	応用生命科学科	67	44	65.7	23	34.3	
	小 計	140	101	72.1	39	27.9	
合 計		1,776	1,380	77.7	396	22.3	

▶一般選抜後期日程令和8年4月1日現在

学部・学科等		入学者数	現 役		浪 人 等	
			人数	割合(%)	人数	割合(%)
医学部医学科		4	3	75.0	1	25.0
合 計		4	3	75.0	1	25.0

出身高等学校所在都道府県別入学者数(学部)

都道府県		男子	女子	計
北海道		15 (1.07%)	10 (1.30%)	25 (1.15%)
東北	青森県	2	0	2
	岩手県	1	0	1
	宮城県	3	1	4
	秋田県	0	3	3
	山形県	1	0	1
	福島県	2	0	2
小 計		9 (0.64%)	4 (0.52%)	13 (0.60%)
関東	茨城県	9	1	10
	栃木県	6	3	9
	群馬県	7	3	10
	埼玉県	11	7	18
	千葉県	9	6	15
	東京都	34	12	46
小 計	神奈川県	25	11	36
		101 (7.18%)	43 (5.58%)	144 (6.62%)
北陸・甲信越	新潟県	6	3	9
	富山県	21	8	29
	石川県	17	15	32
	福井県	17	7	24
	山梨県	11	3	14
	長野県	28	18	46
小 計		100 (7.11%)	54 (7.01%)	154 (7.08%)
東海	岐阜県	106	60	166
	静岡県	109	38	147
	愛知県	694	438	1,132
	三重県	86	46	132
小 計		995 (70.77%)	582 (75.58%)	1,577 (72.47%)

都道府県		男子	女子	計
近畿	滋賀県	8	7	15
	京都府	13	7	20
	大阪府	18	6	24
	兵庫県	23	8	31
	奈良県	13	5	18
	和歌山県	6	3	9
小 計		81 (5.76%)	36 (4.68%)	117 (5.38%)
中国	鳥取県	2	0	2
	島根県	3	1	4
	岡山県	14	8	22
	広島県	8	6	14
小 計	山口県	4	1	5
		31 (2.20%)	16 (2.08%)	47 (2.16%)
四国	徳島県	5	4	9
	香川県	1	4	5
	愛媛県	8	4	12
	高知県	3	0	3
小 計		17 (1.21%)	12 (1.56%)	29 (1.33%)
九州・沖縄	福岡県	9	1	10
	佐賀県	2	0	2
	長崎県	3	1	4
	熊本県	11	0	11
	大分県	2	0	2
	宮崎県	6	1	7
小 計	鹿児島県	7	2	9
	沖縄県	5	2	7
		45 (3.20%)	7 (0.91%)	52 (2.39%)
その他	高卒認定	4	2	6
	高 専	0	0	0
	外国等	8	4	12
小 計		12 (0.85%)	6 (0.78%)	18 (0.83%)
合 計		1,406	770	2,176

卒業・学位授与者数

学部卒業者数

		令和7年度				
区 分		男子	女子	計	累計	旧制
文学部		57 (2)	85 (3)	142 (5)	9,296	185
教育学部		28	52 (2)	80 (2)	4,594	
法学部		94 (3)	66 (5)	160 (8)	11,196	228
経済学部		158 (5)	78 (3)	236 (8)	14,788	310
情報学部		119 (2)	29 (3)	148 (5)	849	
理学部		218 (9)	54 (2)	272 (11)	15,234	349
医学部(医学科)		81	33	114	7,108	1,437
医学部(保健学科)		42	159	201	5,331	
工学部		616 (13)	88 (2)	704 (15)	44,770	1,643
農学部		73 (4)	97 (3)	170 (7)	10,536	
情報文化学部*					2,092	
合 計		1,486 (38)	741 (23)	2,227 (61)	125,794	4,152

注 ()は外国人留学生を示し、内数。
旧制卒業者は名古屋帝国大学創設(昭和14年)以降の累計。
*は平成29年度から学生募集停止。

学位授与者数

区 分	修 士				区 分	専門職学位課程			
	男子	女子	計	累 計		男子	女子	計	累 計
人文学研究科	33 (14)	69 (41)	102 (55)	837	人文学研究科				
教育発達科学研究科	21 (2)	34 (11)	55 (13)	1,811	教育発達科学研究科				
法学研究科	18 (11)	16 (16)	34 (27)	1,592	法学研究科	33 (1)	16	49 (1)	1,092
経済学研究科	38 (24)	17 (15)	55 (39)	1,550	経済学研究科				
情報学研究科	134 (21)	28 (7)	162 (28)	1,210	情報学研究科				
理学研究科	158 (6)	39 (2)	197 (8)	8,091	理学研究科				
医学系研究科	38 (5)	49 (11)	87 (16)	2,027	医学系研究科				
工学研究科	572 (32)	80 (13)	652 (45)	29,108	工学研究科				
生命農学研究科	102 (8)	73 (7)	175 (15)	6,308	生命農学研究科				
国際開発研究科	15 (14)	31 (24)	46 (38)	2,068	国際開発研究科				
多元数理科学研究科	43 (7)	1	44 (7)	1,264	多元数理科学研究科				
環境学研究科	85 (19)	47 (18)	132 (37)	3,242	環境学研究科				
創薬科学研究科	22 (1)	9 (1)	31 (2)	397	創薬科学研究科				
文学研究科*2				2,271	文学研究科*2				
国際言語文化研究科*2				938	国際言語文化研究科*2				
情報科学研究科*2				1,753	情報科学研究科*2				
人間情報学研究科*1				783	人間情報学研究科*1				
合 計	1,279 (164)	493 (166)	1,772 (330)	65,250	合 計	33 (1)	16	49 (1)	1,092

区 分	博 士												旧 制
	課 程				論 文				合 計				
	男子	女子	計	累 計	男子	女子	計	累 計	男子	女子	計	累 計	
人文学研究科	16 (7)	23 (15)	39 (22) <20>	136	2	1	3 <1>	6	18 (7)	24 (15)	42 (22) <21>	142	
教育発達科学研究科	7 (1)	6 (3)	13 (4) <5>	357	1	1	2 <2>	156	8 (1)	7 (3)	15 (4) <7>	513	
法学研究科	9 (8)	6 (3)	15 (11) <3>	168	1		1	71	10 (8)	6 (3)	16 (11) <3>	239	9
経済学研究科	5 (3)	3 (2)	8 (5)	327		1	1	96	5 (3)	4 (2)	9 (5)	423	12
情報学研究科	37 (23)	10 (1)	47 (24) <10>	169		1	1 <1>	5	37 (23)	11 (1)	48 (24) <11>	174	
理学研究科	29 (2)	9	38 (2) <2>	2,093				847	29 (2)	9	38 (2) <2>	2,940	223
医学系研究科	104 (10)	43 (13)	147 (23) <78>	4,972	12	7	19 <12>	3,625	116 (10)	50 (13)	166 (23) <90>	8,597	3,615
工学研究科	79 (30)	16 (14)	95 (44) <9>	3,788				1,793	79 (30)	16 (14)	95 (44) <9>	5,581	211
生命農学研究科	18 (5)	9 (5)	27 (10) <2>	1,476	3		3 <2>	548	21 (5)	9 (5)	30 (10) <4>	2,024	
国際開発研究科	6 (5)	6 (4)	12 (9) <2>	457		2	2 <2>	29	6 (5)	8 (4)	14 (9) <4>	486	
多元数理科学研究科	14 (1)		14 (1)	218	1		1 <1>	12	15 (1)		15 (1) <1>	230	
環境学研究科	19 (7)	12 (6)	31 (13) <3>	587	1	3	4 <3>	104	20 (7)	15 (6)	35 (13) <6>	691	
創薬科学研究科	3 (1)		3 (1)	71				3	3 (1)		3 (1)	74	
文学研究科 *2				490				157				647	6
国際言語文化研究科 *2				241				22				263	
情報科学研究科 *2				264				17				281	
人間情報学研究科 *1				147				25				172	
合 計	346 (103)	143 (66)	489 (169) <134>	15,961	21	16	37 <24>	7,516	367 (103)	159 (66)	526 (169) <158>	23,477	4,076

注 ()は外国人留学生を示し、内数。なお、博士については、博士後期課程・医学博士課程在籍時に外国人留学生であった者を計上。
()は博士後期課程・医学博士課程を満期退学後に学位を取得した者を示し、内数。
旧制学位は名古屋医科大学設置(昭和6年)以降の累計。
*1は平成15年度から学生募集停止。*2は平成29年度から学生募集停止。

卒業・修了後の進路

学部卒業後

令和8年5月1日現在

区 分	進学			就職			その他			合 計		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
文学部	9	12	21	39	68	107	9	5	14	57	85	142
教育学部	9	16	25	18	33	51	1	3	4	28	52	80
法学部	18	9	27	64	49	113	12	8	20	94	66	160
経済学部	11	2	13	141	75	216	6	1	7	158	78	236
情報学部	85	9	94	34	18	52		2	2	119	29	148
理学部	173	45	218	34	6	40	11	3	14	218	54	272
医学部 (医学科)				76	33	109	5		5	81	33	114
医学部 (保健学科)	19	40	59	20	117	137	3	2	5	42	159	201
工学部	559	72	631	43	12	55	14	4	18	616	88	704
農学部	61	80	141	9	10	19	3	7	10	73	97	170
合 計	944	285	1,229	478	421	899	64	35	99	1,486	741	2,227

学部卒業後の産業別就職者数

令和8年5月1日現在

分 類	文学部			教育学部			法学部			経済学部			情報学部			理学部		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
農業・林業																		
漁業																		
建設業		1	1							7	3	10						
製造業	6	13	19	3	7	10	13	10	23	26	15	41	7	3	10	4	1	5
電気・ガス・熱供給・水道業		2	2	1		1	4	3	7	5	4	9						
情報通信業	3	12	15	2	4	6	6	5	11	17	8	25	19	11	30	12	1	13
運輸業・郵便業	2	3	5		4	4	4	3	7		2	2	1		1	1		1
卸売・小売業	5	3	8	3	1	4	4	3	7	3	5	8	1		1			
金融・保険業	4	7	11	1	3	4	9	8	17	39	16	55		1	1	5	2	7
不動産業・物品賃貸業	1	1	2		1	1	1	2	3	3		3						
学術研究・専門技術サービス業	4	3	7		3	3	4		4	22	11	33	3		3	1		1
宿泊業・飲食サービス業		1	1													1		1
生活関連サービス業・娯楽業	1	1	2							5	2	7						
教育・学習支援業	2	2	4	6		6	2	2	4	1	1	2	1	1	2	8	2	10
医療・福祉	1	3	4															
複合サービス事業		1	1															
サービス業	1	6	7		1	1		1	1	1	3	4	2	2	4	1		1
公務	9	9	18	2	9	11	17	12	29	12	5	17				1		1
その他																		
合 計	39	68	107	18	33	51	64	49	113	141	75	216	34	18	52	34	6	40

分 類	医学部(医学科)			医学部(保健学科)			工学部			農学部			合計		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
農業・林業															
漁業							1		1				1		1
建設業							1	2	3				8	6	14
製造業				1	2	3	16	4	20	2	2	4	78	57	135
電気・ガス・熱供給・水道業					1	1	4	2	6				14	12	26
情報通信業				1	1	2	6	2	8	2	4	6	68	48	116
運輸業・郵便業							1		1				9	12	21
卸売・小売業					2	2	3		3	2	1	3	21	15	36
金融・保険業	1		1		1	1	3	1	4	2		2	64	39	103
不動産業・物品賃貸業				1		1							6	4	10
学術研究・専門技術サービス業				2	1	3	3		3	1	1	2	40	19	59
宿泊業・飲食サービス業													1	1	2
生活関連サービス業・娯楽業													6	3	9
教育・学習支援業													20	8	28
医療・福祉	75	33	108	14	99	113							90	135	225
複合サービス事業														1	1
サービス業							1		1				6	13	19
公務				1	10	11	4	1	5		2	2	46	48	94
その他															
合 計	76	33	109	20	117	137	43	12	55	9	10	19	478	421	899

博士前期課程修了後

令和8年5月1日現在

区 分	修了者			進学者			教 員						公務員			企業等			病院			その他		
							大学・短大			左記以外														
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
人文学研究科	33	69	102	12	12	24				1	1	2	1	1	2	12	33	45				7	22	29
教育発達科学研究科	21	34	55	13	5	18				1	2	3	1	2	3	4	16	20				2	9	11
法学研究科	18	16	34	3	2	5		1	1				4	3	7	5	1	6				6	9	15
経済学研究科	38	17	55	7	2	9	1		1	1		1	1		1	20	11	31				8	4	12
理学研究科	158	39	197	58	12	70				1		1		1	1	93	24	117				6	2	8
医学系研究科	38	49	87	9	10	19		2	2				2	5	7	18	15	33	7	11	18	2	6	8
工学研究科	572	80	652	79	13	92							2	1	3	485	61	546				6	5	11
生命農学研究科	102	73	175	18	7	25							9	2	11	70	60	130				5	4	9
国際開発研究科	15	31	46	3	5	8					1	1	4	5	9	3	9	12				5	11	16
多元数理科学研究科	43	1	44	14		14				1		1				23	1	24				5		5
環境学研究科	85	47	132	8	9	17							8	1	9	61	30	91				8	7	15
情報学研究科	134	28	162	13	3	16										114	23	137				7	2	9
創薬科学研究科	22	9	31	7	2	9				1		1				12	7	19				2		2
合 計	1,279	493	1,772	244	82	326	1	3	4	6	4	10	32	21	53	920	291	1,211	7	11	18	69	81	150

博士後期課程・医学博士課程修了後

令和8年5月1日現在

区 分	修了者・単位等認定 による退学者			教 員						公務員			企業等			病院			
				大学・短大			左記以外												
				男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	
人文学研究科	13	19	32	2	4	6							2	2	4				
教育発達科学研究科	17	16	33	5	5	10	2	1	3		1	1	3	4	7	2		2	
法学研究科	10	8	18	1		1					2	2	4		1	1			
経済学研究科	6	4	10		1	1								2	2	4			
理学研究科	33	9	42	1	1	2					1		1	16	4	20			
医学系研究科	120	42	162	9	6	15						1	1	5	3	8	73	13	86
工学研究科	91	18	109	7	3	10								54	7	61			
生命農学研究科	23	12	35		1	1					2		2	2	3	5			
国際開発研究科	10	7	17		1	1					2		2	5	3	8			
多元数理科学研究科	17		17	1		1								4		4			
環境学研究科	21	20	41	1	3	4					1	2	3	6	5	11			
情報学研究科	38	12	50	2	4	6		1	1					26	4	30			
創薬科学研究科	5		5	2		2								2		2			
合 計	404	167	571	31	29	60	2	2	4	8	6	14	127	38	165	75	13	88	

区 分	特別研究員等に 採用			大学院研究生等			外国へ研究留学			帰国した留学生			その他		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
人文学研究科											4	4	9	9	18
教育発達科学研究科		1	1										5	4	9
法学研究科													7	5	12
経済学研究科													4	1	5
理学研究科	9	2	11										6	2	8
医学系研究科	1	2	3		1	1				1	1	2	31	15	46
工学研究科	8	2	10										22	6	28
生命農学研究科	6	3	9								1	1	13	4	17
国際開発研究科													3	3	6
多元数理科学研究科	2		2										10		10
環境学研究科	5	3	8		2	2					3	3	8	2	10
情報学研究科	5	2	7										5	1	6
創薬科学研究科													1		1
合 計	36	15	51		3	3				1	9	10	124	52	176

主な教育・研究プログラム

特色ある教育プログラム、プロジェクト等

▶国際プログラム群(G30)

課程	プログラム	学部(学科)・研究科
学士課程	自動車工学プログラム	工学部（電気電子情報工学科、機械・航空宇宙工学科）
	物理系プログラム	理学部（物理学科）
	化学系プログラム	理学部（化学科）、工学部（化学生命工学科）
	生物系プログラム	理学部（生命理学科）、農学部（応用生命科学科）
	国際社会科学プログラム	法学部（法律・政治学科）、経済学部（経済学科、経営学科）
博士前期課程、医学修士課程	「アジアの中の日本文化」プログラム	文学部（人文学科）
	物理・数理系プログラム	理学研究科、多元数理科学研究科
	化学系プログラム	理学研究科、工学研究科
	生物系プログラム	理学研究科、生命農学研究科、医学系研究科
	経済・ビジネス国際プログラム	経済学研究科
	言語学・文化研究プログラム	人文学研究科
	「アジアの中の日本文化」プログラム	人文学研究科
	自動車工学プログラム	工学研究科
	環境土木工学プログラム	工学研究科、環境学研究科
	地球環境科学プログラム	環境学研究科
	物理工学プログラム	工学研究科
	公衆衛生学プログラム	医学系研究科
	物理・数理系プログラム	理学研究科、多元数理科学研究科
	化学系プログラム	理学研究科、工学研究科
	生物系プログラム	理学研究科、生命農学研究科
博士後期課程、医学博士課程	医学系プログラム	医学系研究科
	環境土木工学プログラム	工学研究科、環境学研究科
	地球環境科学プログラム	環境学研究科
	物理工学プログラム	工学研究科

▶博士課程教育リーディングプログラム

類型・テーマ	プログラム	部局名
複合領域型（環境）	グリーン自然科学国際教育研究プログラム	理学研究科、工学研究科、生命農学研究科
オンリーワン型	法制度設計・国際的制度移植専門家の養成プログラム	法学研究科
オールラウンド型	PhDプロフェッショナル登龍門	全研究科
複合領域型（横断的テーマ）	フロンティア宇宙開拓リーダー養成プログラム	理学研究科、工学研究科
複合領域型（情報）	実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム	情報学研究科、工学研究科、医学系研究科、経済学研究科
複合領域型（多文化共生社会）	「ウェルビーイングinアジア」実現のための女性リーダー育成プログラム	国際開発研究科、教育発達科学研究科、生命農学研究科、医学系研究科

▶ジョイント・ディグリープログラム

専攻名	連携大学所在国	研究科
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻	オーストラリア	医学系研究科
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻	英国	理学研究科
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻	スウェーデン	医学系研究科
名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻	タイ	生命農学研究科
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻	ドイツ	医学系研究科
名古屋大学・西オーストラリア大学国際連携生命農学専攻	オーストラリア	生命農学研究科
名古屋大学・チュロンコン大学国際連携サステイナブル材料工学専攻	タイ	工学研究科

▶卓越大学院プログラム

プログラム	部局名	実施期間
トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム	理学研究科、工学研究科、生命農学研究科、創薬科学研究科	
未来エレクトロニクス創成加速DII協働大学院プログラム	工学研究科	
情報・生命医科学コンボリューション グローカルアライアンス卓越大学院	医学系研究科、生命農学研究科、情報学研究科、創薬科学研究科	
ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム	人文学研究科、法学研究科、経済学研究科、情報学研究科、工学研究科、環境学研究科	令和 2年度～令和 8年度

▶数理データ・サイエンス・AIプログラム

プログラム	部局名	実施期間
名古屋大学数理・データサイエンス・AIリテラシー教育プログラム	全学部	令和 2年度～令和 8年度
名古屋大学数理・データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム	全学部	令和 4年度～令和 9年度

▶次世代研究者挑戦の研究プログラム

プログラム	部局名	実施期間
東海国立大学機構メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業	全研究科	令和 6年度～令和 8年度

▶国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）

プログラム	部局名	実施期間
TokAI BOOST：東海国立大学機構次世代AI人材育成事業	全研究科	令和 6年度～令和10年度

▶履修証明プログラム

プログラム	部局名	開設年度
組込みシステム技術者のための技術展開力育成プログラム（enPiT-Pro Emb）車載組込みシステムコース	情報学研究科	平成30年度
産業データ科学履修プログラム	数理・データ科学・人工知能教育研究センター	令和 2年度
現場で働く教員・指導医のための医学教育学プログラム―基礎編―	医学系研究科	令和 5年度
NAGOYA Clinical Informatics Program（名古屋医療情報学プログラム、NCIP）	医学系研究科	令和 6年度
ものづくりビジネス・経済エグゼクティブプログラム	経済学研究科	令和 7年度

▶大学の世界展開力強化事業

類型	事業名	部局名	実施期間
インド太平洋地域等との大学間交流形成支援 主な交流先：オーストラリア	ポストSDGs時代の経済安全保障に貢献できる自律協働型国際プロフェッショナル人材育成	農学部／生命農学研究科（主幹部局）、文学部／人文学研究科、法学部／法学研究科、経済学部／経済学研究科、情報学部／情報学研究科、理学部／理学研究科、医学部／医学系研究科、工学部／工学研究科、国際開発研究科、多元数理科学研究科、環境学研究科、創薬科学研究科	令和 4年度～令和 8年度
米国等との大学間交流形成支援 タイプA：交流型	微分型成長を重視した分野横断型日米協創人材育成	工学部／工学研究科（主幹部局）、文学部／人文学研究科、教育学部／教育発達科学研究科、法学部／法学研究科、経済学部／経済学研究科、情報学部／情報学研究科、理学部／理学研究科、医学部／医学系研究科、農学部／生命農学研究科、国際開発研究科、多元数理科学研究科、環境学研究科、創薬科学研究科	令和 5年度～令和 9年度

▶ソーシャルインパクト創出のための多文化共修キャンパス形成支援事業

類型	事業名	部局名	実施期間
タイプII：海外展開型	グローバル・マルチキャンパスでの多文化共修を通じた未来社会の創造	全学	令和 6年度～令和11年度

▶スーパーサイエンスハイスクール（文理融合基礎枠）

事業名	部局名	実施期間
サイエンス・エージェンシーを育成するカリキュラムの開発と実践 ～萌えから推し、そしてリアルへ サイエンスエコシステムの構築～	教育学部附属学校	令和 6年度～令和10年度

▶スーパーサイエンスハイスクール（科学人材育成重点枠）

事業名	部局名	実施期間
高大接続による世界に伍する自立した高校生の育成 ～コトモノ TOKAI IMPACT【ときとき】から【とっきんとっきん】へ～	教育学部附属学校	令和 6年度～令和10年度

大型の競争的研究資金

▶科研費を除く継続中のプログラム

令和8年5月1日現在

事業名	担当省庁等	研究課題名	部局名	研究代表者	職名	研究期間
戦略的創造研究推進事業 (CREST)	国立研究開発法人 科学技術振興機構	あいまい性を考慮したRI AI基盤技術の開発	情報学研究科	森 健策	教授	令和2年度～令和8年度
		任意制御コム光源の開発と高感度分光への展開	工学研究科	西澤 典彦	教授	令和3年度～令和8年度
		高分子微粒子の構造・力学ダイナミクスの高速AFM解析	理学研究科	内橋 貴之	教授	令和3年度～令和8年度
		RI AI基盤を利用した内視鏡手術支援AI Robot	未来社会創造機構	長谷川泰久	教授	令和2年度～令和8年度
		計測データ駆動型薄膜プロセス最適化システムの開発	工学研究科	吉田 隆	教授	令和5年度～令和9年度
戦略的創造研究推進事業 (ERATO)		ERATO 山内物質空間テクトニクスプロジェクト	工学研究科	山内 悠輔	教授	令和2年度～令和9年度
未来社会創造事業		CFRPの多軸・繰り返し疲労損傷進展評価と余寿命予測モデル構築	工学研究科	荒井 政大	教授	令和4年度～令和8年度
研究成果展開事業		セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点に関する東海国立大学機構名古屋大学による研究開発	未来社会創造機構	松田亮太郎	教授	令和4年度～令和9年度
		地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点に関する東海国立大学機構名古屋大学による研究開発	未来社会創造機構	森川 高行	教授	令和4年度～令和9年度
先端国際共同研究推進事業		金属マグネシウム層とGaN層の超格子(MiGs)構造の物性とデバイス応用およびウルトラワイドバンドギャップ半導体材料 (AlN、Ga2O3等) への超高濃度ドーピング	未来材料・システム研究所	天野 浩	教授	令和6年度～令和9年度
大学発新産業創出基金事業		Tokai Network for Global Leading Innovation (Tongali)	学術研究・産学官連携推進本部	佐宗 章弘	副総長／ 学術研究・ 産学官連携 推進本部長	令和6年度～令和9年度

國際交流

学生の海外留学者数

令和7年度

学生の海外留学者数

注 海外留学の種類・目的は、学位取得、交換留学、研究のための渡航、語学習得、インターンシップを含む。
令和6年度に出発し、令和7年度に引き続き渡航を継続した者を含む。
地域区分は外務省の基準による。
JASSO留学生調査の区分に基づき、マカオは中国に含め、香港は中国と別集計。

事業名	担当省庁等	研究課題名	部局名	研究代表者	職名	研究期間
グリーンイノベーション基金事業	国立研究開発法人 新エネルギー・ 産業技術総合開発 機構	低圧・低濃度CO2分離回収の低コスト化技術開発・実証／工場排ガス等からの中小規模CO2分離回収技術開発・実証／LNG未利用冷熱を活用したCO2分離回収技術開発・実証	未来社会創造機構	則永 行庸	教授	令和4年度～令和9年度
戦略的イノベーション創造プログラム		地域活性化のためのグローバルインテリバーパス基盤の研究開発	未来社会創造機構	河口 信夫	教授	令和5年度～令和9年度
		先進的モビリティシステムを活用したスマート・ディストリクトの構築	未来社会創造機構	森川 高行	教授	令和5年度～令和9年度
国家課題対応型研究開発推進事業	国立研究開発法人 日本医療研究 開発機構	ALS 多階層病態メカニズムの解明と治療法開発	医学系研究科	勝野 雅央	教授	令和6年度～令和11年度
		間葉系幹細胞治療用中空糸膜カラムの実用化	医学部附属病院	古橋 和拡	病院講師	令和6年度～令和8年度
スマートバイオ創薬等研究支援事業		膝がん間質を標的とした抗体薬物複合体の研究開発	医学系研究科	榎本 篤	教授	令和6年度～令和10年度
ワクチン・新規モビリティ研究開発事業		化学修飾を駆使した次世代型 mRNA 技術の開発と感染症予防ワクチンへの応用	医学系研究科	木村 宏	教授	令和6年度～令和11年度
橋渡し研究プログラム（シーズB）		再発又は難治性のCD19陽性B細胞性急性リンパ芽球性白血病に対する piggyBactトランスポゾン法によるキメラ抗原受容体遺伝子改変自己T細胞 JPCAR019の第I/II相医師主導治験	医学部附属病院	高橋 義行	教授	令和6年度～令和10年度
橋渡し研究プログラム（シーズC）		胃癌腹膜播種に特化したアンチセンス核酸医薬開発	医学部附属病院	神田 光郎	講師	令和6年度～令和8年度
宇宙戦略基金	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発 機構	半永久的Software Defined編隊飛行と宇宙MIMO通信への展開	工学研究科	稲守 孝哉	准教授	令和6年度～令和8年度

注 部局名、研究代表者、職名は採択（決定）当時。

▶令和7年度競争の資金新規採択分

事業名	担当省庁等	研究課題名	部局名	研究代表者	職名	研究期間
宇宙戦略基金	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構	デトネーションエンジン・宇宙推進工学革新研究拠点形成	未来材料・システム研究所	笠原 次郎	教授	令和7年度～令和9年度
水素利用拡大に向けた共通基盤強化のための研究開発事業	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構	フラーレン誘導体ラジカルクエンチャーのメカニズム解明と炭化水素系膜への適用	工学研究科	松尾 豊	教授	令和7年度～令和9年度
		新規炭化水素系酸性ポリマーをベースとした高温・低湿度環境適合次世代電解質材料の開発	工学研究科	野呂 篤史	講師	令和7年度～令和9年度
国家課題対応型研究開発推進事業（脳神経科学統合プログラム）	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	IGF-1受容体作動薬を起点とする自閉スペクトラム症ハイリスクバリアントに基づく層別化法・治療薬開発	医学系研究科	尾崎 紀夫	特任教授	令和7年度～令和12年度

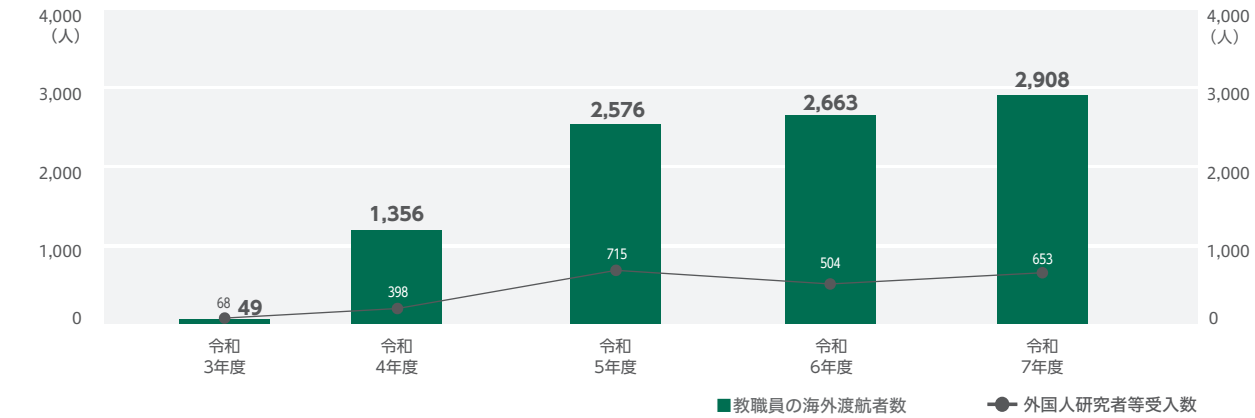
注 部局名、研究代表者、職名は採択（決定）当時。

▶令和7年度科学研究費助成事業新規採択分

事業名	担当官庁等	研究課題名	部局名	研究代表者	職名	研究期間
科学研究費助成事業 (学術変革領域研究(A)・ 総括班)	文部科学省、 独立行政法人 日本学術振興会	π分子複雑性の追究が紡ぐ機能科学	物質科学国際 研究センター (WPI)	山口 茂弘	教授	令和7年度～令和11年度
		マルチスケールミュオンイメージ ングで「見る」：兆候から解明へ	理学研究科	森島 邦博	准教授	令和7年度～令和11年度
		銀河系進化の統一的研究：銀河ハロー ガスと円盤渦状腕の相互作用及び長 期的星形成	理学研究科	犬塚修一郎	教授	令和7年度～令和11年度
新規翻訳誘導技術を用いた環状RNA の分子設計と応用		理学研究科	阿部 洋	教授	令和7年度～令和11年度	
科学研究費助成事業 (基盤研究 (S))		生体内に生じた非自己に対する免疫系 認識ドグマの成立と破綻の機構解析	医学系研究科	西川 博嘉	教授	令和7年度～令和11年度
超大規模行列関数計算法の確立		工学研究科	曾我部知広	准教授	令和7年度～令和11年度	
科学研究費助成事業 (国際共同研究)加速基金 (国際先導研究)		植物の自律的な器官形成を支える情 報分子ネットワークの解明	生命農学研究科	榊原 均	教授	令和7年度～令和13年度

注 部局名、研究代表者、職名は採択（決定）当時。

教職員の海外渡航者数・外国人研究者等受入数の推移



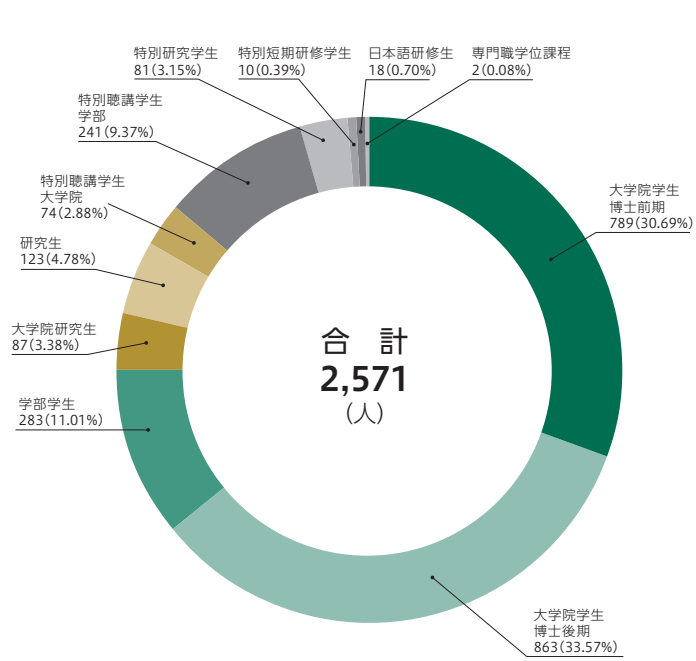
国（地域）別留学生・外国人研究者受入数

▶留学生			令和7年度		
地域区分	国(地域)名	受入人数			
アジア	台湾	53			
	インド	39			
	インドネシア	124			
	カンボジア	30			
	シンガポール	16			
	スリランカ	24			
	タイ	48			
	ネパール	1			
	パキスタン	23			
	バングラデシュ	19			
	フィリピン	58			
	ブータン	8			
	ベトナム	96			
	マレーシア	17			
	ミャンマー	17			
	モルディブ	2			
	モンゴル	50			
	ラオス	8			
	韓国	149			
大洋州	香港	22			
	中国	1333			
	小計	2,137			
	オーストラリア	11			
	トンガ	2			
北米	ニュージーランド	1			
	パプアニューギニア	1			
	パラオ	1			
中南米	小計	16			
	米国	44			
	カナダ	15			
	小計	59			
	アルゼンチン	3			
	グアテマラ	1			
	コロンビア	5			
	スリナム	2			
	チリ	3			
	ドミニカ共和国	1			
	ブラジル	14			
	ペルー	6			
	ボリビア	2			
	ホンジュラス	1			
	メキシコ	11			
	小計	49			
	アイスランド	1			
	アゼルバイジャン	1			
欧州	イタリア	12			
	ウクライナ	4			
	ウズベキスタン	28			
	オーストリア	2			
	オランダ	3			
	カザフスタン	3			
	キプロス	1			
	ギリシャ	1			
	キルギス	1			
	クロアチア	1			
	ジョージア	2			
	スイス	4			
	スウェーデン	5			
	スペイン	7			
	スロバキア	1			
	タジキスタン	1			
	チェコ	1			
	デンマーク	3			
	ドイツ	42			
	ノルウェー	3			

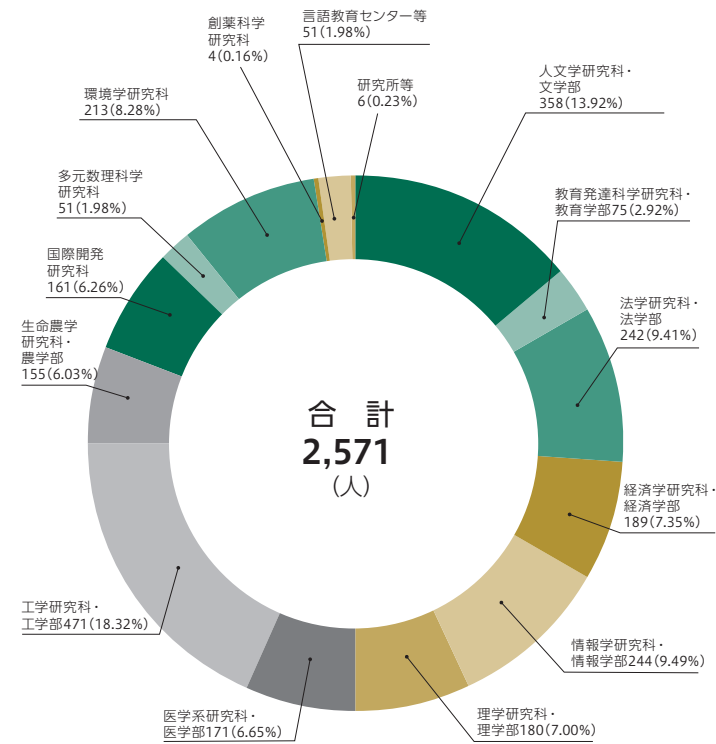
▶外国人研究者等			令和7年度		
地域区分	国(地域)名	受入人数			
欧州	ハンガリー	5			
	フィンランド	4			
	フランス	38			
	ポーランド	4			
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	2			
	ルーマニア	2			
	ロシア	9			
	英国	22			
	北マケドニア共和国	1			
	小計	214			
中東	アフガニスタン	7			
	イエメン	2			
	イスラエル	4			
	イラン	6			
	サウジアラビア	2			
	トルコ	7			
	ヨルダン	3			
	小計	31			
	アルジェリア	1			
	ウガンダ	2			
アフリカ	エジプト	8			
	エチオピア	3			
	ガーナ	7			
	カーボベルデ	1			
	カメルーン	2			
	ケニア	6			
	ジブチ	1			
	ジンバブエ	2			
	スーダン	2			
	セーシェル	1			
大洋州	ソマリア	2			
	タンザニア	1			
	チュニジア	1			
	ナイジェリア	6			
	ブルキナファソ	1			
	ボツワナ	1			
	マダガスカル	1			
	マラウイ	6			
	モーリタニア	1			
	モザンビーク	5			
北米	モロッコ	2			
	リベリア	1			
	南アフリカ	1			
	小計	65			
中南米	合 計	2,571			

▶外国人研究者等			令和7年度		
地域区分	所属機関 国(地域)名	受入人数			
アジア	インド	33			
	インドネシア	7			
	韓国	41			
	カンボジア	2			
	シンガポール	6			
	スリランカ	1			
	タイ	34			
	台湾	23			
	中国	83			
	バングラデシュ	4			
大洋州	東ティモール	1			
	フィリピン	16			
	ベトナム	4			
	香港	1			
	マレーシア	5			
	ミャンマー	1			
	モンゴル	28			
	ラオス	1			
	小計	291			
	オーストラリア	11			
北米	ニュージーランド	3			
	フランス領ポリネシア	2			
	小計	16			
	米国	111			
	カナダ	13			
	小計	124			
	アルゼンチン	1			
	コスタリカ	1			
	ブラジル	2			
	メキシコ	1			
中南米	小計	5			
	イタリア	12			
	ウズベキスタン	19			
	英国	21			
	オーストリア	9			
	オランダ	2			
	ギリシャ	1			
	スイス	9			
	スウェーデン	6			
	スペイン	10			
欧州	チェコ	6			
	ドイツ	25			
	トルコ	5			
	ノルウェー	1			
	ハンガリー	3			
	フィンランド	16			
	フランス	25			
	ベルギー	1			
	ポーランド	11			
	ポルトガル	4			
中東	ルーマニア	2			
	ロシア	1			
	小計	189			
	イラン	2			
	パキスタン	1			
	小計	3			
	エジプト	16			
	ウガンダ	1			
	ジンバブエ	5			
	マラウイ	1			
アフリカ	南アフリカ	1			
	小計	24			
	その他	1			
	合 計	653			

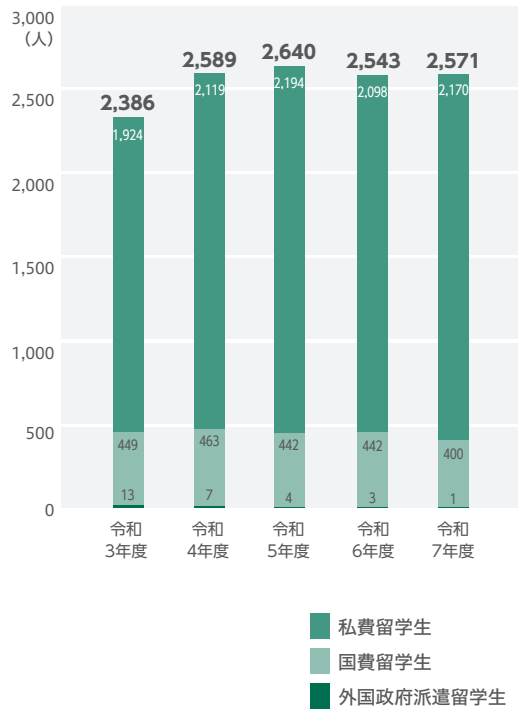
受入区分別留学生数



所属別留学生数

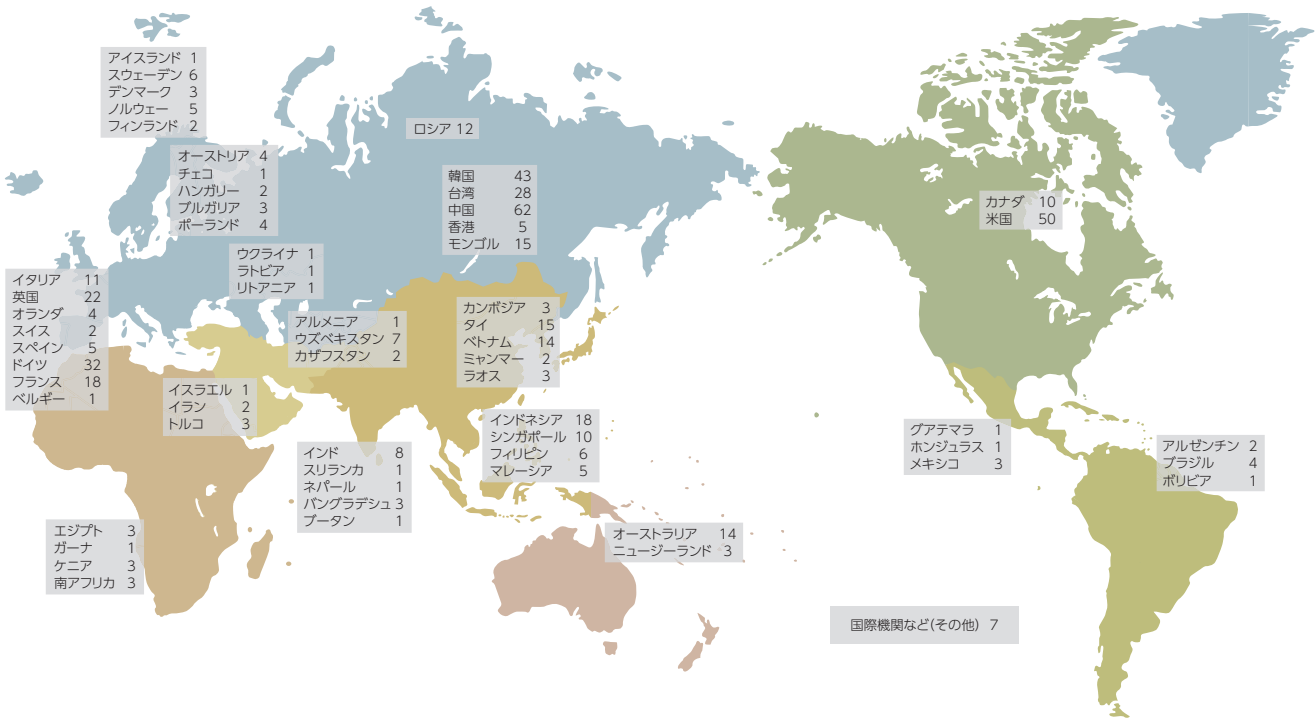


留学生数の推移



外国大学等との学術交流協定

令和8年5月1日現在
509協定（63カ国・地域等）



国(地域)名	協定数	大学間協定	部局間協定
		161協定(授業料不徴収 128協定)	348協定(授業料不徴収127協定)
インド	8	4 (4)	4
インドネシア	18	4 (4)	14 (3)
韓国	46	13 (12)	30 (10)
カンボジア	3	3 (3)	
シンガポール	10	3 (3)	7 (4)
スリランカ	1		1 (1)
タイ	15	5 (4)	10 (3)
台湾	28	4 (4)	24 (10)
中国	62	14 (14)	48 (21)
ネパール	1		1
バングラデシュ	3		3 (1)
フィリピン	6	3 (1)	3 (1)
ブータン	1		1
ベトナム	14	3 (2)	11 (4)
香港	5	4 (4)	1 (1)
マレーシア	5		5
ミャンマー	2	1 (1)	1
モンゴル	15	4 (2)	11 (3)
ラオス	3	1 (1)	2
オーストラリア	14	7 (7)	7 (3)
ニュージーランド	3		3
カナダ	10	7 (6)	3 (1)
米国	50	15 (10)	35 (10)
アルゼンチン	2		
グアテマラ	1		1 (1)
ブラジル	4	2 (2)	2
ホンジュラス	1		1
ボリビア	1		1
メキシコ	3	1 (1)	2
アイスランド	1	1 (1)	
アルメニア	1		
イタリア	11	5 (3)	6 (3)

国(地域)名	協定数	大学間協定	部局間協定
		161協定(授業料不徴収 128協定)	348協定(授業料不徴収127協定)
ウクライナ	1		1
ウズベキスタン	7	5 (4)	2
英国	22	9 (6)	13 (7)
オランダ	4	2 (2)	2 (1)
オーストリア	4	1 (1)	3 (3)
カザフスタン	2		2 (1)
スイス	2	1 (1)	1
スウェーデン	6	1 (1)	5 (3)
スペイン	5	1 (1)	4
チェコ	1	1 (1)	
デンマーク	3	2 (2)	1
ドイツ	32	5 (5)	27 (16)
ノルウェー	5	2 (1)	3 (2)
ハンガリー	2		2
フィンランド	2	1 (1)	1
フランス	18	11 (8)	7 (5)
ブルガリア	3		3
ベルギー	1	1 (1)	
ポーランド	4	2 (1)	2 (2)
ラトビア	1		1
リトアニア	1		1 (1)
ロシア	12	2	10 (1)
イスラエル	1		1
イラン	2		2
トルコ	3	1 (1)	2 (1)
エジプト	3	1	2 (2)
ガーナ	1		1
ケニア	3	2 (1)	1
南アフリカ	3	1 (1)	2
国際機関など(その他)	7	5	2 (1)

産学連携に関する協定

令和8年5月1日現在

国名	協定数	大学間協定		部局間協定	
		大学等名	締結年	大学等名	部局窓口
英国	1			NCCオペレーション社(プリストル大学ナショナルコンボジットセンターの法的機関)	コンボジット
フランス及び日本	1			EMC2 クラスター・IRT ジュール・ベルヌ、岐阜大学複合材料研究センター、金沢工業大学革新複合材料研究開発センター	コンボジット
ウズベキスタン及び日本	1			ウズベキスタン科学アカデミー・ゲノミクスおよびバイオインフォーマティクスセンター、ウズベキスタン稲科学研究所、国立遺伝学研究所(日本)、グランドグリーン株式会社(日本)	生物

インターンシップ派遣に関する協定

令和8年5月1日現在

国名	協定数	大学間協定		部局間協定	
		大学等名	締結年	大学等名	部局窓口
国際機関(タイ)	1			国連教育科学文化機関(UNESCO パンコク)	国開
国際機関(スイス)	1			国際移住機関(IOM)	国開
国際機関(イタリア)	1	国際連合食糧農業機関(FAO)	2010		
米国	1			オレゴン大学	教育

参加している主な国際コンソーシアム等

令和8年5月1日現在

組織名		設立目的		加盟大学
MIRAI	MIRAI - Connecting Swedish and Japanese Universities through Research, Education and Innovation		2015年10月に開催された「日本・スウェーデン学長サミット」をきっかけに、日本・スウェーデン間の学術交流・連携の更なる強化を目指して発足したコンソーシアム。	約20大学
APRU	Association of Pacific Rim Universities		各国の高等教育の相互協力関係を強め、環太平洋地域社会にとって重要な諸問題に対し、教育・研究の分野から協力・貢献することを目的として1997年に設立されたコンソーシアム。	約60大学
UBIAS	University-Based Institutes for Advanced Study		UBIAS大学附置高等研究院連合は、大学の運営下にある世界の高等研究院のネットワーク。フェローシップを通した研究交換や国際・学際的ワークショップの開催などを通して世界のトップレベル研究を牽引することを目的とする。	51大学

グローバルキャンパス設置を含む重要パートナーシップ校

令和8年5月1日現在

国名	大学等名
米国	ノースカロライナ州立大学
シンガポール	シンガポール国立大学
ドイツ	フライブルク大学
英国	エディンバラ大学

設置している国際研究ラボ

令和8年5月1日現在

組織名		設立目的		共同設置機関
IRL GlycoMIRAI	Multidisciplinary International Research for Advancing Innovation in Glycosciences	糖鎖イノベーション国際研究ラボ	フランス全土の糖鎖科学研究コミュニティと、糖鎖科学に特化した糖鎖生命コア研究所(名古屋大学・岐阜大学の共同設置)が持つ卓越した知識・専門性を結集することで、最高水準の糖鎖科学研究へと発展・推進・価値創出する。	フランス国立科学研究センター

注 略号は次のとおり。
文学：人文学研究科・文学部、人文：人文学研究科、教育：教育発達科学研究科・教育学部、法：法学研究科・法学部、経：経済学研究科・経済学部、情報：情報学研究科・情報学部、理：理学研究科・理学部、医：医学系研究科・医学部、医病：医学部附属病院、工：工学研究科・工学部、農：生命農学研究科・農学部、国開：国際開発研究科、多元：多元数理科学研究科、環：環境学研究科、ASCI：アジアサテライトキャンパス学院、環医：環境医学研究所、エコ：旧エコトピア科学研究所、未来材料：未来材料・システム研究所、太陽：旧太陽地球環境研究所、宇地研：宇宙地球環境研究所、物産：物質科学国際研究センター、農産：農学国際教育研究センター（旧農学国際教育協力研究センター）、博：博物館、法政：法政国際教育協力研究センター、生物：生物機能開発利用研究センター、グリモ：旧グリーンモビリティ連携研究センター、減災：減災連携研究センター、コンボジット：ナショナルコンボジットセンター、水：旧地球水循環研究センター、低温プラズマ：低温プラズマ科学研究センター、糖鎖：糖鎖生命コア研究所、情基：情報基盤センター、高等研究：高等研究院、IT&M：トランスフォーマティブ生命分子研究所、素粒子：素粒子宇宙起源研究機構、未来：未来社会創造機構、ASSIA：旧アジア共創教育研究機構、リーディング：リーディング大学院推進機構、教育推進：教育推進部

社会との連携

地域貢献特別支援事業

▶令和7年度事業の概要		
部局名	プロジェクトの名称	連携自治体等
情報学研究科	地域社会DXによる高校生の社会的スキル向上と地域帰属意識の醸成	高山市、岐阜県立飛騨高山高校、岐阜県立斐太高校
医学部附属病院	骨転移医療の質向上を目指す地域連携強化事業	愛知県および近隣県のがん診療連携拠点病院、各自治体の地域包括支援センター
医学系研究科（保健）	住民主体の地域創生プロジェクト ー誰もが役割感を持った社会の実現に向けてー	名古屋市名東区
工学研究科	我が国のものづくりの未来を担う青少年を対象とした科学啓発事業 in 名古屋大学	名古屋大学工学研究科、応用物理学会東海支部、電気学会東海支部、電子情報通信学会東海支部、情報処理学会東海支部、プラズマ・核融合学会、日本アマチュア無線連盟、日本弁理士会東海会、国立豊田工業高等専門学校
工学研究科	XR技術による環境教育と野生動物保全の革新 :東山動植物園との連携プロジェクト	名古屋市・東山動植物園（地方自治体運営施設）、クニア観光局（政府機関）
生命農学研究科	ふれあい農学プロジェクト ー地域と育む未来の食と自然	東郷町、みよし市
宇宙地球環境研究所	中央構造線から読み解く地球 ～断層・岩石・年代測定を通じた地球科学体験プロジェクト～	長野県下伊那郡大鹿村「大鹿村中央構造線博物館」
宇宙地球環境研究所	宇宙地球環境科学に関する地域貢献ネットワーク事業	陸別町・木曽町・名古屋市

寄附講座・寄附研究部門

▶寄附講座			
部局名	名称	設置期間	寄附者
医学系研究科	地域医療教育学	H21.10.1～R11. 3.31	愛知県 公益財団法人愛知県市町村振興協会 名古屋市
	障害児（者）医療学	H23.11.1～R9. 3.31	愛知県
	精神医療学	H23.11.1～R9. 3.31	愛知県
	腎不全システム治療学	H27. 2.1～R11.1.31	バクスター株式会社
工学研究科	オークマ工作機械工学	H27. 4.1～R9. 3.31	オークマ株式会社
医学系研究科	先進循環器治療学	H30. 6.1～R10.5.31	日本メドトロニック株式会社
	分子循環器医学（興和）	H30. 7.1～R8. 6.30	興和株式会社
	循環器先端医療研究学	R4. 4.1～R10.3.31	バイオロニックジャパン株式会社 日本ライフライン株式会社 株式会社スズケン
	統合画像情報解析	R6. 4.1～R9. 3.31	アボットメディカルジャパン合同会社 富士フイルム株式会社 富士フイルムメディカル株式会社

▶寄附研究部門			
部局名	名称	設置期間	寄附者
未来材料・システム研究所 (旧エコトピア科学研究所)	エネルギーシステム（中部電力）	H22. 4.1～R12.3.31	中部電力株式会社
減災連携研究センター	エネルギー防災（中部電力）	H24. 4.1～R9. 3.31	中部電力株式会社
未来材料・システム研究所	トヨタ先端パワーエレクトロニクス	H28. 4.1～R9. 3.31	トヨタ自動車株式会社
未来社会創造機構	名古屋市量子産業創出	R6. 6.1～R9. 3.31	名古屋市

産学協同研究所・産学協同研究センター・産学協同研究講座・産学協同研究部門

※Hは平成、Rは令和を示す。

▶産学協同研究所			
部局名	名称	設置期間（一部、準備期間含む）	協同設置者
環境医学研究所	ラクオリア創業産学協同研究所	R7. 4.1～R12.3.31	ラクオリア創業株式会社

▶産学協同研究センター			
部局名	名称	設置期間（一部、準備期間含む）	協同設置者
未来社会創造機構	Craifバイオアナリティクス産学協同研究センター	R6.10.1～ R9.9.30	Craif株式会社

▶産学協同研究講座			
部局名	名称	設置期間（一部、準備期間含む）	協同設置者
医学系研究科	名古屋大学メナード協同研究講座	H25. 5.1～R13. 3.31	日本メナード化粧品株式会社
	革新的生体可視化技術開発産学協同研究講座	R1.10.1～ R9. 9.30	キヤノンメディカルシステムズ株式会社
	新規細胞療法研究講座	R7. 9.1～ R9. 8.31	株式会社カナデセラピューティクス
	新規低侵襲画像診断法基盤開発協同研究講座	R7.10.1～R10. 9.30	ハイメディック株式会社
情報学研究科	アドヴィックスプレーキシステム計算科学講座	H31. 4.1～ R9. 3.31	株式会社アドヴィックス
生命農学研究科	ブランドグリーン産学協同研究講座	R6.10.1～ R9. 5.31	ブランドグリーン株式会社
環境学研究科	TOWING産学協同研究講座「通称:リジェネラティブ農業ラボ」	R7. 4.1～R10. 3.31	株式会社TOWING
工学研究科	バイオエコ産学協同研究講座	R7. 6.1～R12. 3.31	株式会社フレンドマイクロブ

▶産学協同研究部門			
部局名	名称	設置期間（一部、準備期間含む）	協同設置者
環境医学研究所	レアバリアント疾患ゲノム解析産学共同研究部門	R2. 8.1～ R9. 3.31	レアバリアント株式会社
	ゲノムメンテナンス産学協同研究部門	R6.10.1～ R8. 9.30	Genome Maintenance株式会社
未来材料・システム研究所	豊田合成先端デバイス応用産学協同研究部門	H30. 1.1～ R9.12.31	豊田合成株式会社
	豊田中研GaNパワーデバイス産学協同研究部門	H31. 4.1～ R9. 3.31	株式会社豊田中央研究所
	旭化成次世代デバイス産学協同研究部門	H31. 4.1～ R9. 3.31	旭化成株式会社
	三菱ケミカルGaN基板デバイス産学協同研究部門	R1. 7.1～ R9. 3.31	三菱ケミカル株式会社
	Photo electron Soul GaN電子ビームデバイス産学協同研究部門	R4. 2.1～ R9. 3.31	株式会社Photo electron Soul
	ミライズテクノロジーズ先端パワーエレクトロニクス産学協同研究部門	R4. 4.1～R10. 3.31	株式会社ミライズテクノロジーズ
	UJ-Crystal超高品質SiC半導体産学協同研究部門	R5.10.1～ R9.12.31	株式会社UJ-Crystal
	アイクリスタル半導体プロセスインフォマティクス産学協同研究部門	R6.10.1～ R9. 9.30	アイクリスタル株式会社
	D4原子膜工学産学協同研究部門	R7. 8.1～R12. 3.31	株式会社ディメンジョンフォー
	NGKアドバンストナノマテリアル産学協同研究部門	R7. 9.1～R10. 8.31	日本ガイシ株式会社
減災連携研究センター	ライフライン防災（東邦ガスネットワーク）産学協同研究部門	H29. 4.1～ R9. 3.31	東邦ガスネットワーク株式会社
低温プラズマ科学研究センター	次世代プラズマ加工技術研究開発部門	R5. 8.1～R11. 3.31	株式会社SCREENホールディングス
	半導体ナノプロセス研究部門	H31. 4.1～R10. 3.31	東京エレクトロン株式会社
	先端ドライプロセス研究部門	H31. 4.1～ R9. 3.31	キオクシア株式会社
	低温プラズマ農業・環境新技術開発部門	R4. 4.1～ R9. 3.31	株式会社遠州
	サステナブル技術研究開発部門	R4. 6.1～ R8. 5.31	株式会社荏原製作所
	ナノグラフェン二次電池開発部門	R6. 5.1～ R9. 4.30	NU-Rei株式会社
未来社会創造機構	AGC産学協同研究部門	H26.10.1～R11. 3.31	AGC株式会社
	HMI・人間特性研究部門	H29. 4.1～ R9. 3.31	トヨタ自動車株式会社
	情報通信基盤研究部門	R1. 7.1～ R9. 3.31	KDDI株式会社
	TTDC統合ソリューション研究部門	R3. 4.1～ R9. 3.31	トヨタテクニカルディベロップメント株式会社
	MabGenesis産学協同研究部門	R4.10.1～ R8.10.31	MabGenesis株式会社
	データ社会共創デンソー研究部門	R5. 1.1～R14.12.31	株式会社デンソー
	富士通・名古屋大学ソーシャルデジタルツイン研究部門	R5. 9.1～ R8. 8.31	富士通株式会社
	日本特殊陶業 先進セラミックス材料研究部門	R6. 1.1～ R9. 3.31	日本特殊陶業株式会社
	日本電子 超高速時間分解電子顕微鏡研究開発部門	R7. 4.1～R12. 3.31	日本電子株式会社
	先進パワーエレクトロニクス研究部門	R7. 4.1～R10. 3.31	長岡パワーエレクトロニクス株式会社／株式会社PowerDesignLaboratory
	ブラザー工業共創開発研究部門	R7.10.1～R10.3.31	ブラザー工業株式会社

名古屋大学発ベンチャーの現状

▶名古屋大学発ベンチャー称号の授与企業数					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
称号授与企業数	10	8	6	10	7
現存企業数	64	68	74	82	86
備考	2社称号終了	3社解散 1社称号終了		2社称号終了	3社終了

▶名古屋大学発ベンチャー企業数（起業累積数）				
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
144	164	173	176	213
注 文部科学省の大学発ベンチャーの定義による				

財政

令和7年度予算決算額

▶収入

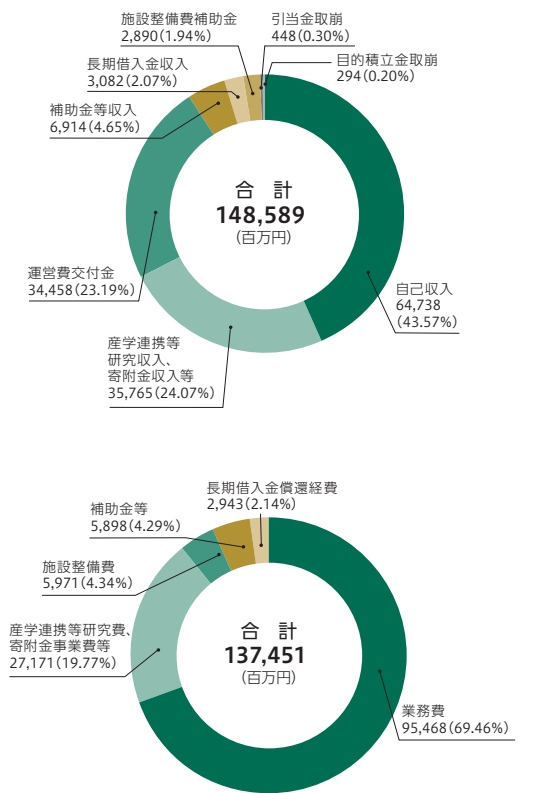
区 分	決算額(百万円)
運営費交付金	34,458
施設整備費補助金	2,890
補助金等収入	6,914
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	0
自己収入	64,738
授業料・入学金・検定料収入	7,942
医学部附属病院収入	53,129
雑収入	3,667
産学連携等研究収入、寄附金収入等	35,765
引当金取崩	448
長期借入金収入	3,082
目的積立金取崩	294
引当特定資産取崩	0
合 計	148,589

▶支出

区 分	決算額(百万円)			
	人件費	物件費	施設費	合 計
業務費	50,980	44,488	-	95,468
教育研究経費	30,485	11,055	-	41,540
診療経費	20,495	33,433	-	53,928
施設整備費	-	-	5,971	5,971
補助金等	1,411	4,487	-	5,898
産学連携等研究費、寄附金事業費等	2,144	25,027	-	27,171
長期借入金償還経費	-	2,943	-	2,943
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	0	-	0
合 計	54,535	76,945	5,971	137,451

注 長期借入金償還経費は大学改革支援・学位授与機構施設費貸付事業に係る償還金。

※各金額単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合がある。



外部資金等

令和7年度外部資金

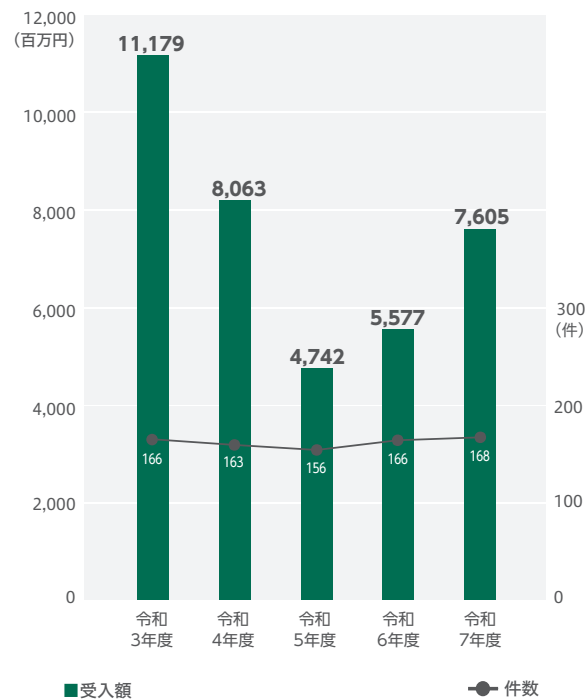
※金額は、決算額ベースの計数。 ※金額には間接経費を含む。 ※各金額単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合がある。
※表とグラフでは金額の桁が異なる。

▶政府補助金等

区 分	件数	金額(千円)
研究拠点形成費等補助金	9	944,172
国際化拠点整備事業費補助金	5	211,870
科学技術人材育成費補助金	3	127,000
授業料等減免費交付金	1	1,038,152
研究開発施設共用等促進費補助金	4	26,811
国立大学改革・研究基盤強化推進補助金	2	240,000
共同利用・共同研究拠点形成事業費補助金	2	100,000
国立大学法人設備整備費補助金	1	378,000
医療施設運営費等補助金	6	25,103
感染症予防事業費等国庫負担(補助)金	4	117,690
保健衛生施設等施設・設備整備費国庫補助金	1	15,488
医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業費補助金	1	289,820
中小企業政策推進事業費補助金	16	63,695
省エネルギー投資促進支援事業費補助金	1	35,952
航空宇宙産業生産技術人材育成・研究開発事業費補助金	1	43,730
愛知県周産期母子医療センター運営費補助金	1	28,164
医療資源適正化連携推進事業費補助金	1	27,750
地域医療勤務環境改善体制整備特別事業費補助金	1	246,316
病院内保育所運営費補助金	1	11,165
愛知県医療機関等物価高騰対策支援金	1	99,255
愛知県医療機関職場環境改善等事業費補助金	1	43,040
愛知県周産期医療施設(施設・設備)整備費補助金	1	10,522
官民による若手研究者発掘支援事業費助成金	13	115,009
医療研究開発推進事業費補助金	3	281,315
革新的研究開発推進基金補助金	1	444,929
次世代研究者挑戦的研究プログラム助成金	1	2,053,200
国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業(博士後期課程学生支援)助成金	1	79,950
RA追加経費支援制度(大学助成型)助成金	1	120,120
グローバル卓越人材招へい研究大学強化事業助成金	1	23,787
研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業支援金	1	111,084
大学・高専成長分野転換支援基金助成金	1	97,418
その他	19	46,629
厚生労働科学研究費補助金等	62	108,192
合 計	168	7,605,328

注 研究分担者による受入件数・金額を含む。件数は前年度からの繰越分を含む。

▶政府補助金等の件数・受入金額の推移



▶科学研究費助成事業

研究種目	件数	金額(千円)
特別推進研究	6	58,331
新学術領域研究(研究領域提案型)	0	0
学術変革領域研究(A)	136	913,122
学術変革領域研究(B)	21	122,450
学術変革領域研究(学術研究支援基盤形成)	4	84,289
基盤研究(S)	51	838,291
基盤研究(A)	242	1,164,643
基盤研究(B)	626	1,670,085
基盤研究(C)	744	729,880
挑戦的研究(開拓)	32	145,220
挑戦的研究(萌芽)	141	308,166
若手研究	312	480,644
研究活動スタート支援	51	66,301
奨励研究	1	480
特別研究促進費	0	0
研究成果公開促進費	4	5,002
特別研究員奨励費	219	234,548
国際共同研究加速基金(国際先導研究)	12	376,090
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)	2	31,070
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))	1	15,470
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	19	30,030
国際共同研究加速基金(海外連携研究)	34	106,408
国際共同研究加速基金(帰国発展研究)	2	65,000
合 計	2,660	7,445,527

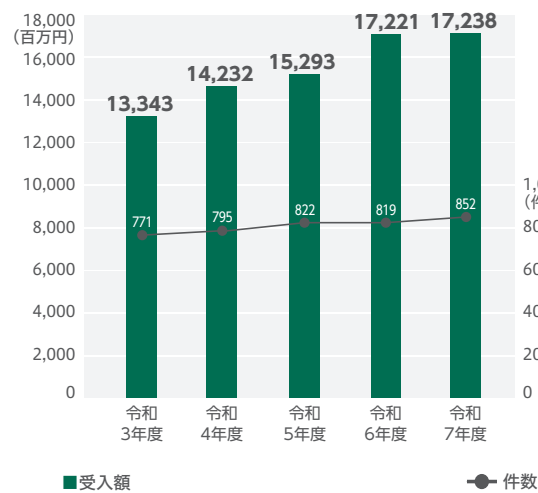
注 研究分担者による受入件数・金額を含む。

▶受託研究

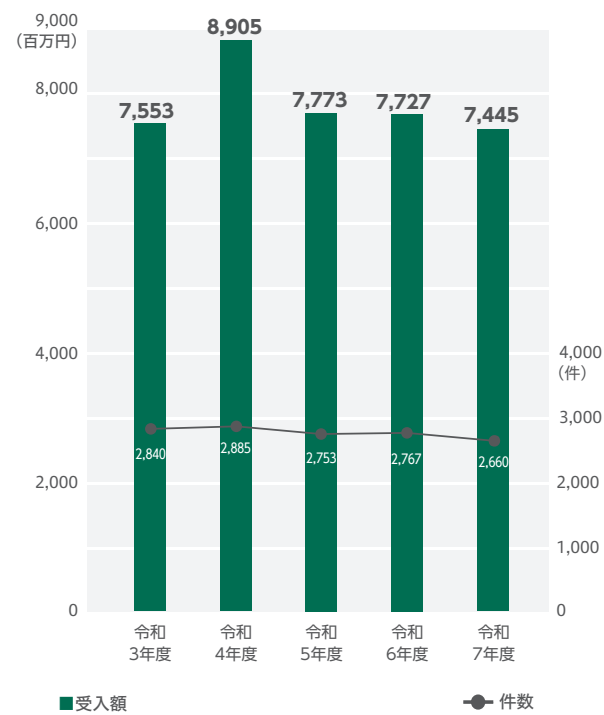
相手方別	件数	金額(千円)
国	15	1,954,203
地方公共団体	22	331,298
独立行政法人	524	12,788,952
国立大学法人	143	805,645
株式会社等	83	1,184,104
その他	65	174,387
合 計	852	17,238,591

注 受入件数は治験・病理組織検査を除く。

▶受託研究の件数・受入金額の推移



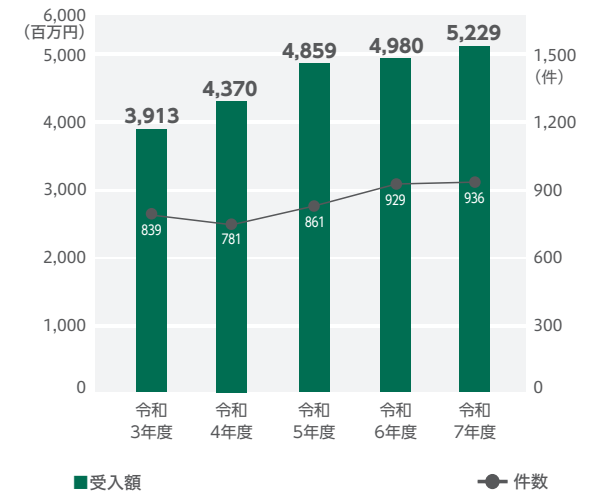
▶科学研究費助成事業の件数・受入金額の推移



▶共同研究

相手方別	件数	金額(千円)
国	2	4,671
地方公共団体	11	26,947
独立行政法人	73	127,913
国立大学法人	30	49,119
株式会社等	738	4,643,808
その他	82	376,837
合 計	936	5,229,297

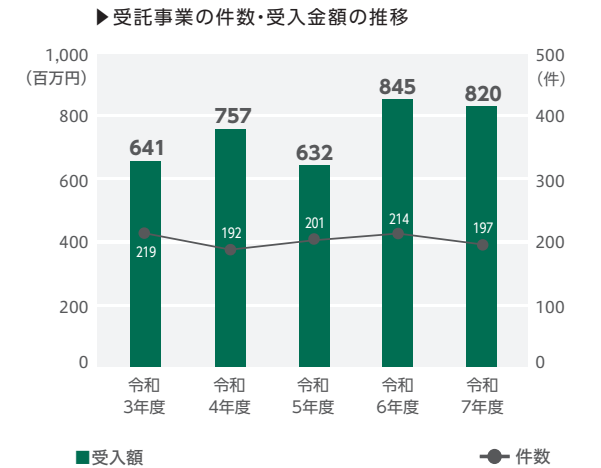
▶共同研究の件数・受入金額の推移



▶受託事業

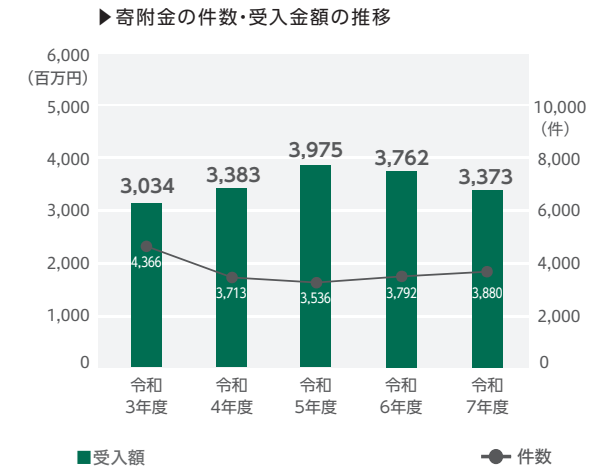
相手方別	件 数	金額(千円)
国	6	50,769
地方公共団体	15	112,489
独立行政法人	53	329,297
国立大学法人	9	25,113
株式会社等	88	139,255
その他	26	163,829
合 計	197	820,755

注 受入件数は治験・病理組織検査を除く。
受入額は決算額ベースの計数。



▶寄附金

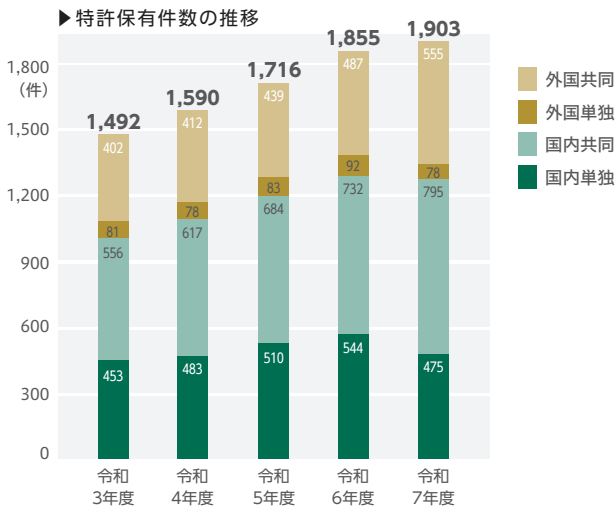
区 分	件 数	金額(千円)
寄附金 (一般)	1,871	2,630,051
寄附金 (名大基金)	2,005	734,714
寄附金 (クラウドファンディング)	4	8,306
合 計	3,880	3,373,071



特許保有件数・知財収入

▶特許保有件数

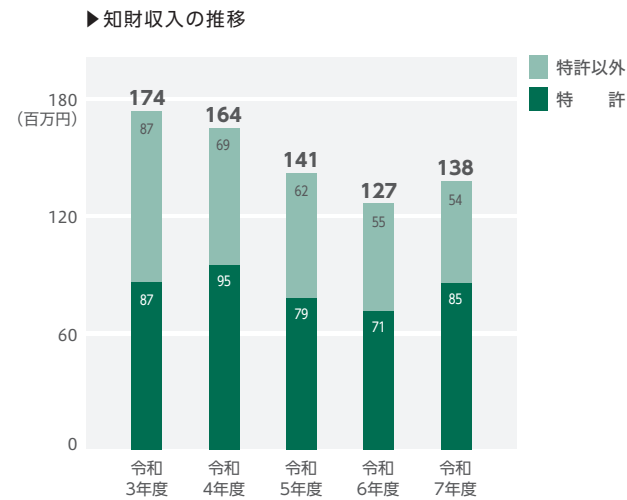
区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国内	単独	453	483	510	544	475
	共同	556	617	684	732	795
外国	単独	81	78	83	92	78
	共同	402	412	439	487	555
合 計		1,492	1,590	1,716	1,855	1,903



▶知財収入

権 利	収入総計(千円)				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
特許	86,838	94,876	78,883	71,363	84,831
特許以外	87,402	68,872	62,156	55,179	53,599
合 計	174,240	163,748	141,039	126,543	138,429

注 特許は、特許権になる前の状態で許諾・譲渡した収入を含む。
特許以外は、意匠権※、商標権※、育成者権※、ノウハウ、著作権、成果有体物、治験の合算。
※は、特許と同様に、権利成立前の状態で許諾・譲渡した収入を含む。



諸 施 設

運動施設・課外活動施設等

地 区	施 設	主な用途	面積(m)
全学教育棟周辺	第1体育館	バドミントン、バスケットボール、バレーボールなど	1,110
	第2体育館	卓球、トレーニングなど	611
	第3体育館	剣道、各種拳法など	369
	第4体育館	柔道、合気道など	308
	第5体育館	ダンス、各種拳法	190
	屋内プール (25m×7コース)	水泳、水球など	853
	弓道場	弓道	155
	相撲道場	相撲	143
	ボクシング練習場	ボクシング	93
	第1課外活動共同棟	体育系・文化系26室	482
総合保健体育科学センター周辺	第2課外活動共同棟	体育系・文化系・名大祭17室	972
	陸上競技場 (トラック、400m×6コース)	陸上競技	14,019
	陸上競技場 (フィールド)	サッカー、ラグビー、アメリカンフットボールなど	
	野球場	野球、ソフトボールなど	12,508
	硬式テニスコート (7面)	硬式テニス	4,678
	軟式テニスコート (4面)	ソフトテニス	2,590
	多目的コート	フットサルなど	1,664
	ゴルフ練習場	ゴルフ	337
	新体育館 (アリーナ)	ハンドボール、バドミントン、バスケットボール、バレーボールなど	1,104
	新体育館 (トレーニング・ルーム)	トレーニングなど	316
	アーチェリー練習場	アーチェリー	440
	ライフル射撃場	ライフル射撃	223
	総合運動場多目的棟(1階)	体育系5室	161
	総合運動場複合棟	更衣室、講義室、音楽練習室、体育系5室	649
	第2体育クラブ棟	陸上競技部・サッカー部	46
	第3体育クラブ棟	自動車部	171
	第4体育クラブ棟	体育系10室	353
	音楽練習共用施設	楽器演奏・合唱8室など	644
	学生会館	集会室9、和室3、談話室1	1,482
学生会館周辺	第1文化サークル棟	文化系18室	387
	第2文化サークル棟	文化系11室	255
体育合宿所周辺	体育合宿所	合宿室3	378
	音楽練習室	楽器演奏・合唱2室など	414
	第1体育クラブ棟	体育系17室	345

福利厚生施設等

地 区	施 設	概 要	面積(m)
東山地区	北部厚生会館	食堂：ホール(483席) 売店・旅行センター	733 492
	南部厚生会館	売店 書籍店舗 相談カウンター	285 200 43
	南部食堂	食堂：1階ホール(428席) 食堂：2階ホール(340席) パン工房	1,066 835 81
	フォレスト	書籍・自習スペース(34席) 食堂：ホール(232席)	572 348
	アメニティハウス	食堂：ホール(236席)	356
	برانソ	売店	70
	グリーンサロン東山	食堂：ホール(80席) 売店	194 66
	IBカフェ	カフェ：ホール(10席)	74
	ラボショップ	売店	97
	ファミリーマート 名古屋大学店	コンビニエンスストア	216
鶴舞地区	ファミリーマート 名古屋大学IB館店	コンビニエンスストア	117
	ユニバーサルクラブ	食堂(100席)	123
	シェ ジロー	レストラン(32席)	120
	シアトルエスプレスカフェ	カフェ(22席)	59
	スターバックス コーヒー 名古屋大学附属図書館店	カフェ(50席)	91
	CAFE BLANC	カフェ(31席)	56
	Cafe de MON CIRFE	カフェ(36席)	27
	regreg	カフェ(15席)	12
	学生食堂	食堂(264席)	411
	医学部書籍店	書籍	124
	医学部売店(Tsuru My Shop)	売店	161
	鶴友会館	食堂・喫茶(112席)	246
	医系研究棟1号館売店	コンビニエンスストア	52
	病棟1階売店	コンビニエンスストア	106
	レストラン花の木(病棟1階)	食堂(100席)	157
大幸地区	福利施設(オアシスクープ)	コンビニエンスストア・カフェ(共有スペース69席、カフェ52席)	484
	リフレッシュルーム	マッサージ施術(ヘルスキーパー 3名)	36
	大幸厚生会館	食堂：ホール(231席) 購買・書籍店	259 45

公開施設等

施 設	開館時間	休館日	問い合わせ先
附属図書館（中央図書館）	平日 8:00～22:00 土曜・日曜・祝日/ 一斉休業日 8:45～22:00	ホームページ参照	052-789-3678
博物館（古川記念館）	10:00～16:00（入館は15:30まで）	日曜、月曜 祝日※ ※令和8年度後期から臨時休館予定。ホームページ参照のこと	052-789-5767
野外観察園	10:00～16:00（入園は15:30まで）	土曜、日曜、祝日、閉校日	052-789-5767
2008ノーベル賞展示室（ES総合館）	10:00～16:00（入館は15:45まで）	日曜、月曜、祝日	052-747-6577
赤崎記念研究館	10:00～16:00	日曜、月曜、祝日	052-789-5969
ケミストリーギャラリー（野依記念物質科学研究館）	10:00～16:00	土曜、日曜、祝日	052-789-5907
広報プラザ	9:00～17:00	土曜、日曜、祝日	052-789-5773
減災館	13:00～16:00（入館は15:30まで） 5名以上の団体は要予約	日曜、月曜、火曜、 第2・最終土曜、祝日	052-789-3468
ジェンダー・リサーチ・ライブラリ	10:00～17:00（金曜は20:00まで）	日曜、月曜、祝日	052-747-6981
AMANO Gallery（天野ギャラリー）	8:30～17:15	土曜、日曜、祝日	052-747-6728
Common Nexus	平日 9:00～21:00 土曜 10:00～18:30	日曜、祝日、その他機構が定める日	https://form.run/@comone-inquiry

注 詳細及び開館日は各施設のホームページ参照。
変更の可能性もあります。

宿舎

令和8年5月1日現在

施 設	概 要	所在地
国際唼鳴館(3棟)	単身室 (13㎡) 日本人学生・留学生用 収容人員291名 (男子179名 (留学生28名含む) 、 女子112名 (留学生32名含む))	〒466-0811 名古屋市昭和区高峯町165
インターナショナルレジデンス東山	夫婦室 (34㎡) 15室 外国人研究者用 家族室 (51.84㎡) 2室 // 単身室 (16㎡) 95室 留学生用 夫婦室 (34㎡) 25室 //	〒464-8601 名古屋市千種区不老町1番
インターナショナルレジデンス山手 ノース	単身室 (15㎡)104室 留学生用	〒466-0811 名古屋市昭和区高峯町165
インターナショナルレジデンス山手 サウス	単身室 (約7㎡) 112室 留学生用	〒466-0811 名古屋市昭和区高峯町165
インターナショナルレジデンス妙見	単身室 (15.1㎡) 93室 留学生用	〒466-0814 名古屋市昭和区妙見町40
インターナショナルレジデンス大幸	単身室 (13㎡) 224室 留学生用 夫婦室 (30㎡) 4室 //	〒461-0047 名古屋市東区大幸南1-1-18
リサーチャーズビレッジ東山	家族室 (76.45㎡・78.33㎡) 2室 外国人研究者用 // (67.5㎡) 4室 //	〒464-8601 名古屋市千種区不老町1番
リサーチャーズビレッジ大幸	単身室 (28㎡) 14室 外国人研究者用	〒461-0047 名古屋市東区大幸南1-1-20
リサーチャーズビレッジ八雲	家族室・夫婦室 (53㎡) 9室 外国人研究者用	〒466-0823 名古屋市昭和区八雲町28
野依記念学術交流館・外国人研究者用居住施設	単身室 (50.98㎡～54.15㎡) 3室 外国人研究者用 夫婦室 (81.01㎡～91.10㎡) 5室 // 家族室 (97.17㎡・107.35㎡) 2室 //	〒464-8601 名古屋市千種区不老町1番
職員宿舎(6棟)	単身・世帯室 (43.84㎡～54.38㎡) 80室 世帯室 (55.48㎡～64.49㎡) 274室	_____

保育園・保育所

施 設	概 要	収容定員	面積(㎡)	所在地
こすもす保育園	保育室6室	60名	456	〒464-8601 名古屋市千種区不老町
あすなろ保育園	保育室5室	80名	584	〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65
学童保育所	学童室1室	45名	121	〒464-8601 名古屋市千種区不老町

土地及び建物

土地及び建物

令和7年4月1日現在

	土 地		建 物	
	資産(㎡)	借入(㎡)	資産(㎡)	借入(㎡)
東山地区	697,365	105	515,621	
豊田講堂 (含シンポジオン)			8,643	
広報プラザ			394	
インキュベーション施設			1,011	
福利厚生施設 (学生会館、アメニティハウス、課外活動施設等)			16,499	
インターナショナルレジデンス			4,959	
保育所			584	
本部建物等			63,382	
附属図書館 (中央図書館)			15,597	
人文学研究科・文学部			8,686	
教育発達科学研究科・教育学部			5,952	
教育学部附属中・高等学校			11,994	
法学研究科・法学部			4,120	
経済学研究科・経済学部			5,907	
法学部及び経済学部共用館			5,481	
全学教育棟・情報学部			20,420	
理学研究科・理学部			64,949	
工学研究科・工学部			99,923	
生命農学研究科・農学部			26,883	
国際開発研究科			6,150	
多元数理科学研究科			4,230	
環境学研究科			10,094	
情報学研究科			8,674	
総合保健体育科学センター			10,798	
環境医学研究所			5,456	
宇宙地球環境研究所			8,076	
未来材料・システム研究所			14,521	
先端技術共同研究施設			2,034	
情報基盤センター			4,231	
アイソトープ総合センター			3,196	
遺伝子実験施設			1,206	
古川記念館 (含博物館)			4,289	
生物機能開発利用研究センター			2,676	
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー			2,039	
文系総合館			7,835	
共同教育研究施設			5,311	
ES総合館			15,265	
グリーンビークル材料研究施設			2,842	
減災連携研究センター			2,898	
ナショナルコンポジットセンター			1,658	
トランスフォーマティブ生命分子研究所			7,471	
アジア法交流館			5,487	
創薬科学研究館			6,720	
研究所共同館Ⅱ			6,240	
ジェンダー・リサーチ・ライブラリ			840	
鶴舞地区	89,137		217,804	
医学部医学科・医学系研究科			67,462	
医学部附属病院 (含看護師宿舎)			149,035	
鶴友会館			1,307	
大幸地区	48,463		30,658	
医学部保健学科・医学系研究科			22,602	
事務局 (リサーチャーズビレッジ大幸)			720	
総合保健体育科学センター (体育館)			1,369	
事務局 (インターナショナルレジデンス大幸 (ゴミ集積場含む))			5,967	

	土 地		建 物	
	資産 (㎡)	借入 (㎡)	資産 (㎡)	借入 (㎡)
名古屋地区				
事務局 (愛知医学校記念碑)		5		
愛知県豊川地区				
宇宙地球環境研究所 (豊川分室)	94,212		1,461	
愛知県犬山地区				
環境学研究科附属地震火山研究センター犬山地震観測所		6,254	0	
愛知県豊橋地区				
環境学研究科附属地震火山研究センター三河地殻変動観測所		1,654	210	
愛知県東郷地区	283,731		4,860	
生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド	283,731		4,386	
馬術部厩舎			474	
愛知県稲武・設楽地区	158,949	1,440,562	2,221	
生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター稲武・設楽フィールド(稲武)		1,440,562	1,051	
生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター稲武・設楽フィールド(設楽)	158,949		1,170	
三重県地区				
理学研究科附属臨海実験所	(地上権) 33,057	568	1,816	
岐阜県地区				
環境学研究科附属地震火山研究センター高山地震観測所		2,486	226	
長野県地区				
宇宙地球環境研究所木曽観測施設		6,240	66	
山梨県地区				
宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター富士観測所	3,500	16,426	174	
鹿児島県地区				
宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター鹿児島観測所	13,203	511	287	
北海道地区	110,534	28,146	375	117
宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター母子里観測所	110,534		325	
宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター陸別観測所		28,146	50	117
その他	75,628	11,999	50,448	2,898
国際唖鳴館、インターナショナルレジデンス山手 (名古屋市昭和区高峯町)	10,691		10,751	
インターナショナルレジデンス妙見 (名古屋市昭和区妙見町)	1,288		2,277	
リサーチーズビレッジ八雲 (名古屋市昭和区八雲町)	731		724	
法人宿舎 (6団地)	56,188		36,131	
ヨット艇庫 (愛知県蒲郡市海陽町)				224
ボート艇庫 (名古屋市中川区大蟻螂町)	2,408		437	
観測施設等 (愛知県豊田市稲武町 他)		11,999	128	2,674
保育所敷地 (東山地区、鶴舞地区)	1,864			
事務局 (朝岡団地、四谷団地、陶生町団地)	2,459		0	
合 計	1,607,780	1,514,956	826,227	3,015
		3,122,736		829,242

キャンパスマップ



キャンパスマップ



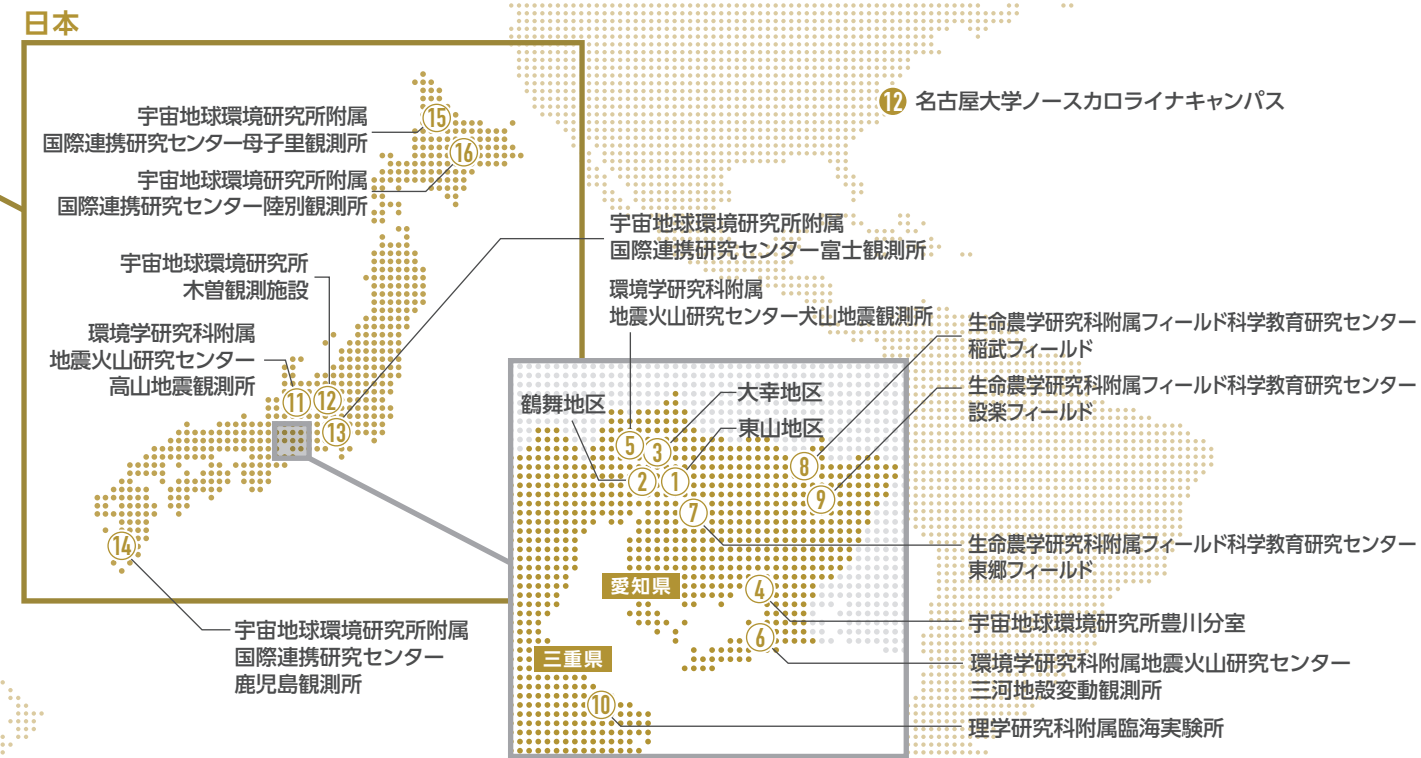
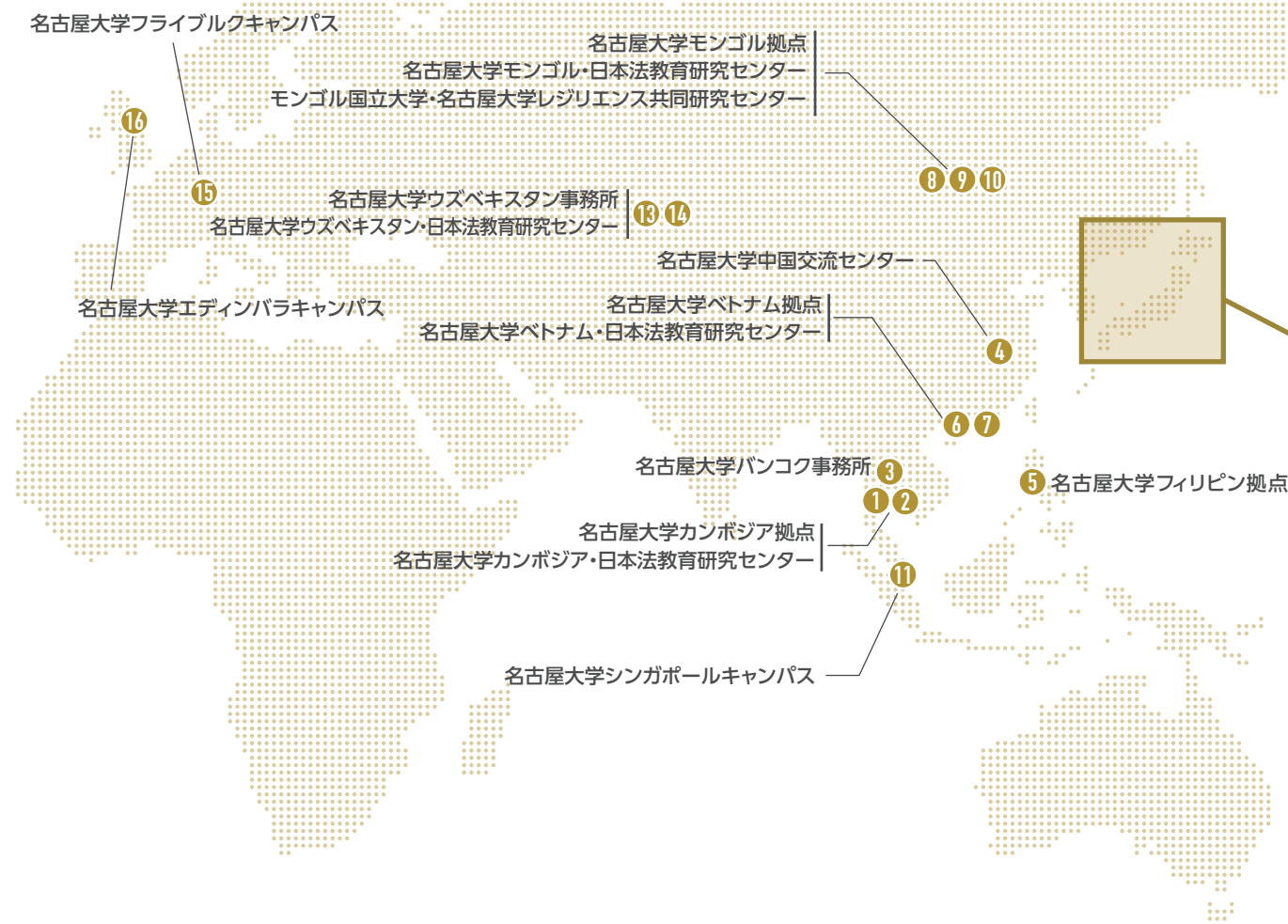
公開施設	
C3 5 Common Nexus (ComoNe)	D2 10 ケミストリーギャラリー(野依記念物質科学研究館)
B3 2 附属図書館(中央図書館)	C2 4 2008ノーベル賞展示室(ES総合館)
D4 1 博物館(古川記念館)	B2 6 赤崎記念研究館
B5 2 博物館野外観察園	F3 10 AMANO Gallery (C-TECs)
C2 5 減災館	D4 2 広報プラザ
C4 6 ジェンダー・リサーチ・ライブラリ	D1 2 大学文書資料室(本部別館)
コンベンション施設	
D3 5 豊田講堂・シンポジオン	C2 1 FUJIホール(EI創発工学館)
E3 1 野依記念学術交流館	C2 1 TEL オーディトリウム(EI創発工学館)
C4 3 経済学部キタンホール(法・経本館共用館)	C5 3 アジアコミュニティフォーラム(アジア法交流館)
D2 7 坂田・平田ホール(理学南館)	C2 7 オークマホール(オークマ工作機械工学館)
C3 1 大講義室(IB電子情報館)	B4 4 カンファレンスホール(文系総合館)
C2 4 ESホール(ES総合館)	
食堂・レストラン	
B5 3 南部食堂	D1 4 レストラン花の木(グリーンサロン東山)
C2 2 北部食堂～Polaris Dining～	D3 5 ユニバーサルクラブ(豊田講堂・シンポジオン)
D1 3 ダイニングフォレスト	C2 4 シェ ジロー (ES総合館)
カフェ	
B3 2 スターバックス コーヒー (中央図書館)	C4 6 CAFE BLANC (ジェンダー・リサーチ・ライブラリ)
C2 6 シアトルエスプレスカフェ(NIC)	
B4 1 レグレグ(全学教育棟本館)	F3 10 カフェ・ドゥ・モン・シェルフエ(C-TECs)
売店	
B5 4 南部購買(南部厚生会館)	F3 7 ラボショップ(創薬科学研究館)
C2 2 北部購買～Polaris Shop～(北部厚生会館)	C3 1 IBカフェ (IB電子情報館)
D1 3 ブックスフロンテ	B4 1 プランゾ(全学教育棟本館)
B4 2 ファミリーマート名古屋大学店	D1 4 理系ショップ(グリーンサロン東山)
C3 1 ファミリーマート名古屋大学IB館店	C3 5 KIOSK (ComoNe)
D2 5 ローソンS名古屋大学理学部棟店	

本部事務局	
D3 7 本部1号館	C4 1 国際開発棟
D4 4 本部2号館	D3 6 学生支援棟
E4 1 本部3号館	C2 6 ナショナルイノベーションコンプレックス(NIC)
D4 9 本部4号館	C3 2 情報基盤センター
部局事務局	
B4 4 文系事務局(文系総合館)	E2 1 農学部・生命農学研究科事務局(農学部管理棟)
B4 1 情報学部・情報学研究科事務局(全学教育棟本館)	D2 2 環境学研究科事務局(環境総合館)
D2 11 理学部・理学研究科・多元数理科学研究科事務局(理学部C館)	F3 7 創薬科学研究科・細胞生理学研究センター事務局(創薬科学研究館)
C2 4 工学部・工学研究科事務局(ES総合館)	F3 3 研究所事務局(研究所共同館I)
	B3 2 附属図書館事務局(中央図書館)
文学部・人文学研究科	
C4 1 国際開発棟	B4 3 文学部本館
A4 2 人文学共用館	B4 4 文系総合館
B4 1 全学教育棟本館	
教育学部・教育発達科学研究科	
A2 1 教育学部附属中学校・高等学校	B4 5 教育学部本館
法学部・法学研究科	
C5 9 アジア法交流館	B5 5 法科大学院(アメニティハウス)
C4 4 法学部・法学研究科(法・経本館共用館)	
経済学部・経済学研究科	
C4 2 経済学部・経済学研究科(法・経本館共用館)	

情報学部・情報学研究科	
C3 1 IB電子情報館	C2 6 ナショナルイノベーションコンプレックス(NIC)
A4 3 情報学研究科棟	
B4 1 全学教育棟本館	D3 3 理学部B館
理学部・理学研究科	
D3 2 A館	D2 6 G館
D3 3 B館	D3 1 極低温実験室
D2 11 C館	D2 8 理学館
D2 9 D館	C3 4 理学部共用館
D2 6 E館	D2 7 理学南館
D2 4 F館	D2 6 理農館
工学部・工学研究科	
B2 5 1号館	C1 2 9号館
B3 3 2号館	C2 1 EI創発工学館
B3 1 3号館	C2 4 ES総合館
C2 3 5号館	C3 1 IB電子情報館
F2 1 6号館	C2 7 オークマ工作機械工学館
C1 3 8号館北棟	B2 2 航空・機械実験棟
C1 4 8号館南棟	
農学部・生命農学研究科	
E1 1 A館	E2 4 講義棟
E2 5 B館	D2 6 理農館
E2 1 管理棟	
国際開発研究科	
C4 1 国際開発棟	
多元数理科学研究科	
	D3 4 多元数理科学棟

環境学研究科	
C2 4 ES総合館	B4 1 全学教育棟本館
F3 1 環境共用館	D2 5 理学部E館
D2 2 環境総合館	
創薬科学研究科	
F2 1 工学部6号館	F3 7 創薬科学研究館
教養教育院	
A4 1 全学教育棟A館	B4 1 全学教育棟本館
博士課程教育推進機構	
D2 11 理学部C館	
附置研究所／共同利用・共同研究拠点	
E3 2 環境医学研究所	F3 6 未来材料・システム研究所(総合研究実験棟)
F3 10 未来材料・システム研究所(エネルギー変換エレクトロニクス研究施設C-TECs)	D1 1 未来材料・システム研究所(超高圧電子顕微鏡施設)
F3 9 未来材料・システム研究所(エネルギー変換エレクトロニクス実験施設C-TF5)	F3 3 宇宙地球環境研究所(研究所共同館I)
F3 8 未来材料・システム研究所(研究所共同館II)	F3 8 宇宙地球環境研究所(研究所共同館II)
B2 1 未来材料・システム研究所(高効率エネルギー変換研究施設)	D4 1 宇宙地球環境研究所(古川記念館)
C1 1 未来材料・システム研究所(先端技術共同研究施設)	C2 6 低温プラズマ科学研究センター(NIC)
	C2 1 糖鎖生命コア研究所(EI創発工学館)
	C3 2 情報基盤センター
総合保健体育科学センター	
E5 1 総合保健体育科学センター	C3 3 保健管理室
国際高等研究機構	
F3 2 高等研究院(高等総合研究館)	C2 4 素粒子宇宙起源研究所(ES総合館)
D2 1 トランスフォーマティブ生命分子研究所(ITbM)	
学際統合物質科学研究機構	
D2 10 野依記念物質科学研究館	
未来社会創造機構	
F3 4 グリーンビーフル材料研究施設	C2 6 ナショナルイノベーションコンプレックス(NIC)
グローバル・マルチキャンパス推進機構	
C5 1 アジアサテライトキャンパス学院(国際棟)	E1 1 農学国際教育研究センター(農学部A館)
C5 3 法政国際教育協力研究センター(アジア法交流館)	C5 3 日本法教育研究センター(アジア法交流館)
その他教育研究施設(学内共同教育研究施設等)	
E2 3 アイントー普総合センター	C1 4 シングロトロン光研究センター(工学部8号館南棟)
D2 4 遺伝子実験施設(理学部F館)	E2 2 生物機能開発利用研究センター
C5 1 言語教育センター(国際棟)	B2 4 ディープテックシリアルイノベーションセンター(ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー)
C2 5 減災連携研究センター(減災館)	B4 4 高等教育研究センター(文系総合館)
B4 4 高等教育研究センター(文系総合館)	E3 4 ナショナルコンボジットセンター(NCC実験棟)
B4 5 心の発達支援研究実践センター(教育学部本館)	D2 10 物質科学国際研究センター(野依記念物質科学研究館)
F2 1 細胞生理学研究センター(工学部6号館)	
D1 2 ジェンダーダイバーシティセンター(本部別館)	
産学官連携関連施設	
E2 6 Tokai Open Innovation Complex NAGOYA	C2 6 ナショナルイノベーションコンプレックス(NIC)
B2 3 インキュベーション施設	B2 4 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
F3 4 グリーンビーフル材料研究施設	
学生支援組織等	
B4 1 アビリティ支援センター(全学教育棟本館)	D3 6 学生相談センター・キャリアサポートセンター(学生支援棟)
C5 1 グローバル・エンゲージメントセンター(国際棟)	C3 1 グローバル・エンゲージメントセンターアドバイジング・カウンセリングサービス(IB電子情報館)
C5 2 ハラスメント相談センター(名大八雲会館)	
スポーツ関連施設	
E5 2 新体育館	F4 1 体育合宿所
F5 1 総合運動場複合棟	B5 1 体育館・屋内プール
その他	
E4 2 インターナショナルレジデンス東山	F2 2 リサーチャーズ・ビレッジ東山
B1 1 学生会館	C5 4 リサーチャーズ・ビレッジ八雲
D1 4 グリーンサロン東山	

海外拠点一覧・キャンパス所在地



アジア	
①	名古屋大学カンボジア拠点(カンボジア・プノンペン)
②	名古屋大学カンボジア・日本法教育研究センター(カンボジア・プノンペン)
③	名古屋大学バンコク事務所(タイ・バンコク)
④	名古屋大学中国交流センター(中国・上海)
⑤	名古屋大学フィリピン拠点(フィリピン・ロスバニヨス)
⑥	名古屋大学ベトナム拠点(ベトナム・ハノイ)
⑦	名古屋大学ベトナム・日本法教育研究センター(ベトナム・ハノイ)
⑧	名古屋大学モンゴル拠点(モンゴル・ウランバートル)
⑨	名古屋大学モンゴル・日本法教育研究センター(モンゴル・ウランバートル)

⑩	モンゴル国立大学・名古屋大学レジリエンス共同研究センター(モンゴル・ウランバートル)
⑪	名古屋大学シンガポールキャンパス(シンガポール)
北米	
⑫	名古屋大学ノースカロライナキャンパス(米国・ノースカロライナ州)
欧州	
⑬	名古屋大学ウズベキスタン事務所(ウズベキスタン・タシケント)
⑭	名古屋大学ウズベキスタン・日本法教育研究センター(ウズベキスタン・タシケント)
⑮	名古屋大学フライブルクキャンパス(ドイツ・フライブルク)
⑯	名古屋大学エディンバラキャンパス(英国・エディンバラ)

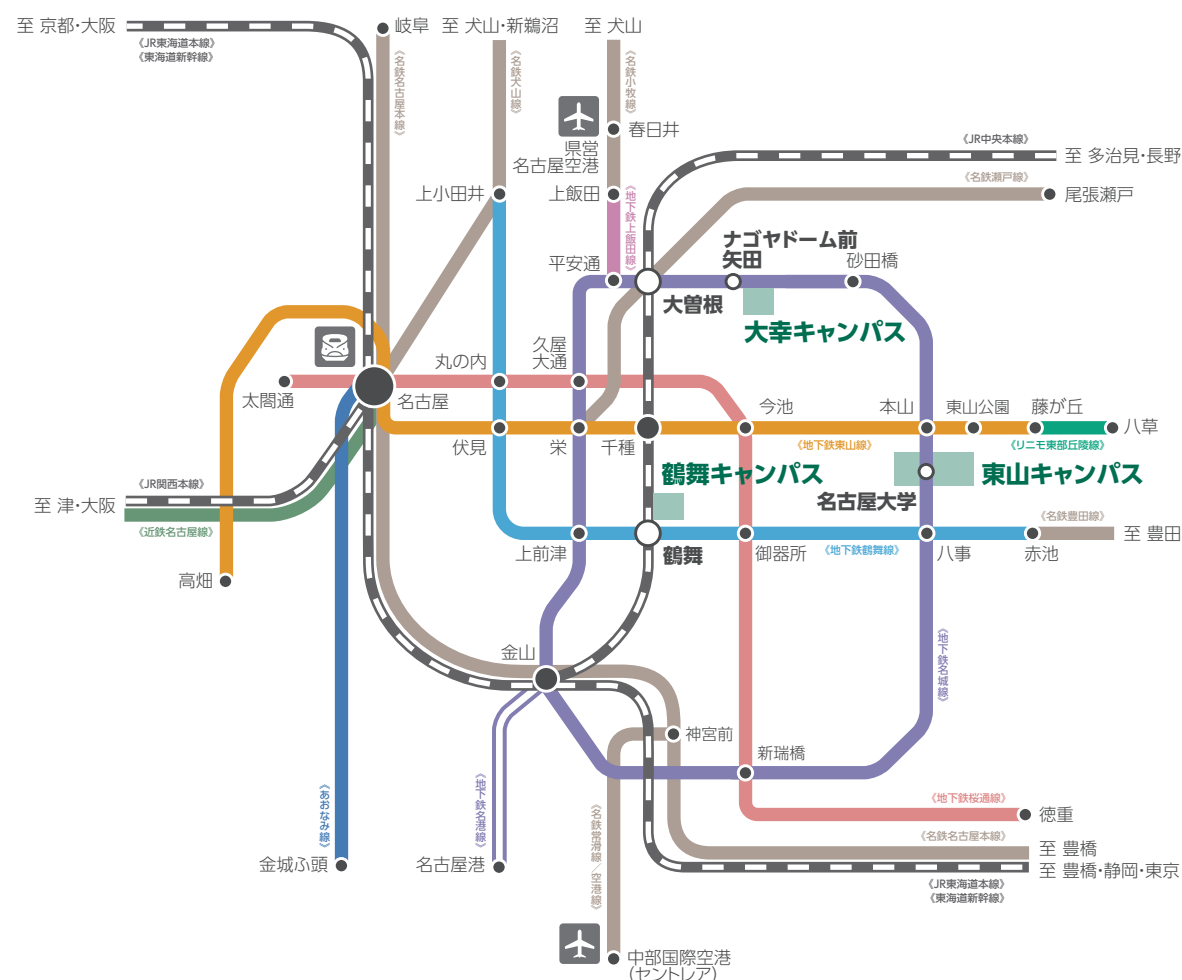
日本	
①	東山地区 〒464-8601 (理、工を除く東山地区) 名古屋市千種区不老町 〒464-8602 (理学部)、〒464-8603 (工学部)
②	鶴舞地区 〒466-8550 (医学部医学科) 名古屋市昭和区鶴舞町65番地 〒466-8560 (医学部附属病院)
③	大幸地区 〒461-8673 名古屋市東区大幸南1丁目1番20号
④	宇宙地球環境研究所豊川分室
⑤	環境学研究科附属地震火山研究センター犬山地震観測所
⑥	環境学研究科附属地震火山研究センター三河地殻変動観測所
⑦	生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド
⑧	生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター稲武フィールド

⑨	生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター設楽フィールド
⑩	理学研究科附属臨海実験所
⑪	環境学研究科附属地震火山研究センター高山地震観測所
⑫	宇宙地球環境研究所木曽観測施設
⑬	宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター富士観測所
⑭	宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター鹿児島観測所
⑮	宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター母子里観測所
⑯	宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター陸別観測所

注 「土地及び建物」における事務局(愛知医学校記念碑)、馬術部厩舎及び「その他」は省略。

アクセスマップ

鉄道路線図



- **東山キャンパス** 地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車 徒歩1分
- **鶴舞キャンパス** JR中央線・地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅下車 徒歩5分
- **大幸キャンパス** JR中央線「大曽根」駅下車 徒歩15分 / 地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅下車 徒歩5分

Move NExT '90

名古屋大学を、次の世代へ



名古屋大学の価値創造を支える基盤

— 名古屋大学基金 —

名古屋大学基金とは

名古屋大学は教育・研究活動を通じて、これまでに多くの研究成果を生み出し、国内外において高い評価を受けてきました。社会や人類の課題に応えるため、分野を横断した研究と人材育成を推進しています。こうした活動を長期的かつ安定的に推進するためには、多様な財源による持続可能な財政基盤の確立が重要です。名古屋大学基金は、その基盤の一つとして、教育・研究活動を支える役割を担っています。

エンダウメント型基金としての機能

名古屋大学基金は寄附金の一部を長期的に運用し、その運用益を教育・研究活動に活用するエンダウメント型基金として運営しています。これにより、単年度に依存しない安定的な支援を実現し、将来にわたって大学の活動を支えています。

創立 90 周年に向けた展開

名古屋大学は、2029年の創立90周年に向け、新たな知を創出し、社会に価値を還元し続ける大学として、教育・研究基盤の強化に取り組んでいます。その実現に向け、創立90周年記念事業「Move NExT '90 募金キャンペーン」を開始しました。変化の激しい社会の中で挑戦を持続するためには、安定した財政基盤が不可欠です。ぜひご支援をお願い申し上げます。

学年暦

4月 1日	学年開始・春学期開始	9月30日	春学期終了
4月 5日	入学式	10月 1日	秋学期開始・秋季入学式
4月10日～8月 5日	春学期授業期間	10月 2日～2月 5日	秋学期授業期間
5月 1日	名古屋大学記念日	12月28日～1月 5日	冬季休業
8月 8日～9月30日	夏季休業	3月25日	卒業式
9月25日	秋季卒業式	3月31日	秋学期終了・学年終了



名古屋大学基金による支援の主な分野

学生支援

経済的支援を必要とする学生への奨学金や、多様な学びの機会の提供を行っています。

研究支援

若手研究者の育成や、先端的・挑戦的な研究の推進を支えています。

国際交流

留学生の受入れや海外派遣など、国際的な教育研究環境の充実に活用されています。

教育研究環境の整備

施設整備や教育研究基盤の高度化を通じて、学びと研究の環境を支えています。

特定基金による支援

特定の分野や事業を対象とした支援も行われています。
寄附金の一部は直接活用され、
各特定基金の推進に役立てられています。

各種特定基金の事業詳細はこちらから▶



寄附のお申込み方法

名古屋大学基金では、さまざまな方法によるご支援を受け付けています。

- インターネットからの寄附
- 銀行振込
- 継続的な寄附
- 有価証券や遺贈による寄附 など

寄附のお申込みはこちら



また、ご寄附については、
税制上の優遇措置が適用されます。



税制上の優遇措置について
詳しくはこちら

関連情報・詳細は
名古屋大学基金ウェブサイト
をご覧ください。

名古屋大学基金



名古屋大学Webサイト
<https://www.nagoya-u.ac.jp/>



広報
名大 広報名大note
<https://note.com/nagoyauniversity/>



名古屋大学X
https://x.com/NagoyaUniv_info



名古屋大学Instagram
<https://www.instagram.com/nagoya.university/>



名古屋大学Facebook
<https://www.facebook.com/Nagoya.Univ.info>



名古屋大学YouTube
<https://www.youtube.com/@NagoyaUniversityPR>

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel.052-789-5111(代表) nuinfo@t.mail.nagoya-u.ac.jp



「名古屋大学プロフィール 2026」は、FSC® 認証紙とベジタブルインキを使用しています。